

能力開発セミナー

2026年度 コース案内

令和8年4月～令和9年3月

確かな技術を短期で学ぶ



機械系

電気・電子系

居住系

生産管理



独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構千葉支部

ポリテクセンター千葉

(千葉職業能力開発促進センター)

らしく、はたらく、ともに /

JEED

CONTENTS

もくじ

能力開発セミナーとは	1
お申し込み方法と受講のご案内	2
Webによる能力開発セミナー情報のご案内	3
オーダーメイドセミナーのご案内	4
施設マップ(案内図)	5
能力開発セミナー日程表	6~15
能力開発セミナー 受講推奨フロー	16~19

コース紹介

機械系

機械設計・製図分野	20
機械加工分野	24
NC工作機械分野	27
計測・測定分野	28
機械保全分野	29
溶接・熱処理技術分野	30

居住系

建築設備施工分野	51
建築設備管理分野	52
給排水衛生設備保全分野	53
防災設備保全分野	54
建築設計 CAD・BIM分野	55
施工管理分野	60

電気・電子系

電気保全・保守点検分野	33
制御技術分野	38
回路設計技術分野	41
ICT分野	43
IoT技術分野	44

生産管理

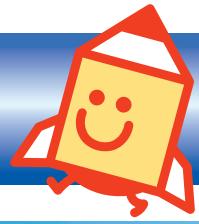
生産管理分野	61
--------	----



ハロートレーニング
—急がば学べ—

よくあるご質問	64
令和8年度 能力開発セミナー受講申込書	66
令和8年度 能力開発セミナー受講取消・受講者変更届	67
生産性向上支援訓練のご案内	68
施設設備貸出サービスのご案内	71
指導員派遣のご案内	72
各種ご案内	73

能力開発セミナーとは



ポリテクセンター千葉とは

独立行政法人高齢・障害・求職者支援機構
千葉支部 千葉職業能力開発促進センターの愛称で厚生労働省が所管する公共職業能力開発施設です。



能力開発セミナーとは

在職者の方を対象に、ものづくりに関する専門知識や技能・技術の向上を目的とした短期間のセミナーです。

従業員一人一人の技術力を高めることで、技術革新、産業構造の変化、生産性向上、新分野展開など、企業が抱える様々な課題に対応できる組織としての基盤が構築されます。従業員のスキルアップにぜひご活用ください。

選べる訓練コース

機械

旋盤、NC旋盤、マシニングセンタ、CADソフト等を用いて金属部品製造の設計・製図・機械加工・機械保全を体系的に学ぶことができます。



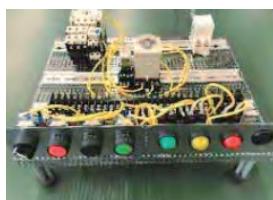
溶接

被覆アーケル溶接、半自動アーケル溶接、TIG溶接等各種溶接手法のほか、浸透探傷試験、溶接理論等を学ぶことができます。



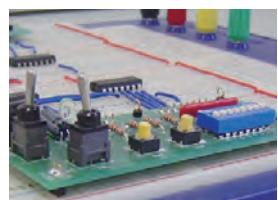
電気

各種電気工事に必要な技能・技術、通信設備の施工技術、高圧電気設備の保全技術を学ぶことができます。



電子

電子回路技術をはじめとし、マイクロコンピュータ制御やシーケンス制御、組込プログラミングなど、幅広い技能・技術を学ぶことができます。



居住

CADによる建築図面の作製技術や建築設備のメンテナンスなど、幅広い分野の技能・技術を学ぶことができます。



生産管理

製造現場に必要な生産管理やコスト換算、原価管理、さらに現場監督者としての技術や知識を学ぶことができます。



お申し込み方法と受講のご案内

受講申込

- 「受講申込書」(P66)に必要事項をご記入ください。受講申込書はホームページからもダウンロードいただけます。
- コース開始日の2週間前までに、**メール、FAXまたは郵送にてお申込みください。**

申込書の受付確認

- 届きましたらお電話にて確認をさせていただきます(定員に達した場合はキャンセル待ちとなります)。
- キャンセル待ちの場合、受講が可能となった時点でご連絡いたします。セミナー開講日前日までに連絡がない場合は、キャンセルが発生しなかったものとしてご了承ください。

請求書・受講票等の発送

- 開講が決定(開講日の14日前までに決定)した後、「受講案内文」及び「請求書」をお送りいたします(キャンセル待ちの方には送付されません)。
- 設定コースについて、受講申込者が一定数に達していない場合等には「実施日の変更」又は「コースの中止」となる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

受講料のお支払い

- 開講日の**14日前**までにお振込ください(振込手数料は受講者負担でお願いいたします)。

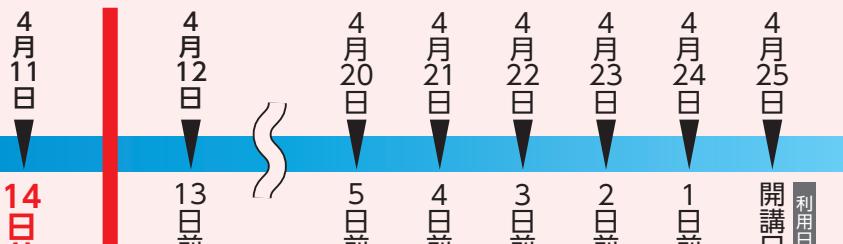
受講

- 当日は、受講票の持参品欄に記載されているものをお持ちの上、各コースの講習開始時間までに各会場へ直接、お越しください。
- 出席時間が全受講時間の**80%以上かつ12時間以上**を満たしており、受講者が修了に値すると認められる場合に修了証書を交付いたします。
- セミナー受講後、担当講師よりアンケートを配布させていただきます。今後のセミナーに役立てて参りますので、ご協力の程よろしくお願ひいたします。

受講の取消、受講者の変更について

「能力開発セミナー受講取消・受講者変更届」(P67)に必要事項をご記入の上、メールまたはFAXにてご連絡ください。なお、受講の取消は下記のとおり開講の**14日前**までにお知らせください。**それ以後の変更やキャンセル又はご連絡がない場合は、受講料をご負担いただきます。**なお、この場合は、セミナーで使用するテキスト等を送付いたします。

期日の考え方の例



※4/11が土・日・祝であれば、その前の開庁日(平日)が期限となります。

※やむを得ない事情によりコースを中止又は日程変更させていただく場合、お支払い済みの中止コースの受講料は返金させていただきます。(宿泊費、交通費に係る費用は、お客様負担となりますのでご了承ください。)

Webによる能力開発セミナー情報のご案内

ポリテクセンター千葉ホームページでは、能力開発セミナーの最新情報と受付状況をご覧いただけます。

今すぐアクセス

<https://www3.jeed.go.jp/chiba/poly/>

ポリテクセンター千葉

検索

生産システム設計

コース番号	コース名	講義日程	実施場所	状況	備考
E3101	Webを活用した生産システム構築技術（Python編）	9/18,19	本館4F 042号室	受付終了	

通信設備・通信システム設計

コース番号	コース名
E2101	製造現場におけるLAN活用技術
E2102	製造現場におけるLAN活用技術

コース番号 E2701 組込みデータベースシステム開発技術 受付中

講義日程	12/11,12
実施時間帯	9:10~16:00
受講料	12,500円(税込)
対象者	SQL言語によるRDBMSの運用、管理を検討している方
講義内容	リレーションナルデータベースを操作する言語である標準SQLを習得します。また、データベースを組み込んだシステムを設計・開発する知識や技術について演習を通して習得します。 ●データベース概要 ●開発環境の構築 ●データベースプログラム(SQL) ●組込みデータベースシステム開発演習

令和6年度12月開催コース

コース番号	コース名	講義日程	実施場所	状況	備考
M1003	旋盤加工技術	12/3,4,5	1号棟2F 127号室	キャンセル待ち	
E1301	電気保安全運営技術	12/4,5	本館4F 040号室	キャンセル待ち	
E2602	オブジェクト指向による組込みプログラム開発技術（Java言語編）	12/4,5	本館4F 042号室	受付中	後期追加コース
			2号棟2F 124号室	受付中	
			イベントホール2F E25	キャンセル待ち	
			6号棟2F 422号室	受付中	
			6号棟1F 414号室	受付中	
			イベントホール1F E11	受付終了	
			6号棟2F 422号室	受付中	

受付状況を確認できます！

能力開発セミナー情報の他にも、当センターの人材情報（受講者・修了者）も定期的に更新しています。

人材不足にお悩みの事業主のご利用をお待ちしています。（詳細はP78）

※令和8年度途中より、全国統一のWeb受付システムが稼働する予定です。

詳細については、ホームページ上で今後お知らせする予定です。

各種助成金のご案内

能力開発セミナーに従業員を派遣する事業主の方で、受給要件を満たす場合は、次の各種助成金をご活用いただけます

「人材開発支援助成金」・「千葉市中小企業人材育成・能力開発推進支援補助金」

人材開発支援助成金については、提出書類が一部省略され、要件が見直されるなど、利用しやすくなりました。また、「人への投資促進コース」や「事業展開等リスクリング支援コース」など事業主を支援するコースが設定されています。（各種助成金については、P77をご確認ください）

オーダーメイドセミナーのご案内

ポリテクセンター千葉では、公開中の能力開発セミナーのほか、事業主や事業主団体の皆様のご要望に応じて、訓練内容・日程・時間帯を個別に相談しながら計画、実施するオーダーメイドセミナーも承っています。

このような課題を抱えている皆様をサポートします！

教育担当者や
機器・場所が不足して
研修が行えない

公開中の
セミナーでは、
日程が合わない

自社の
生産現場に即した研修を
実施したい

メリット
1

生産活動で抱えている
課題の解決や職務内
容に応じたカリキュラム
が編成できます。

メリット
2

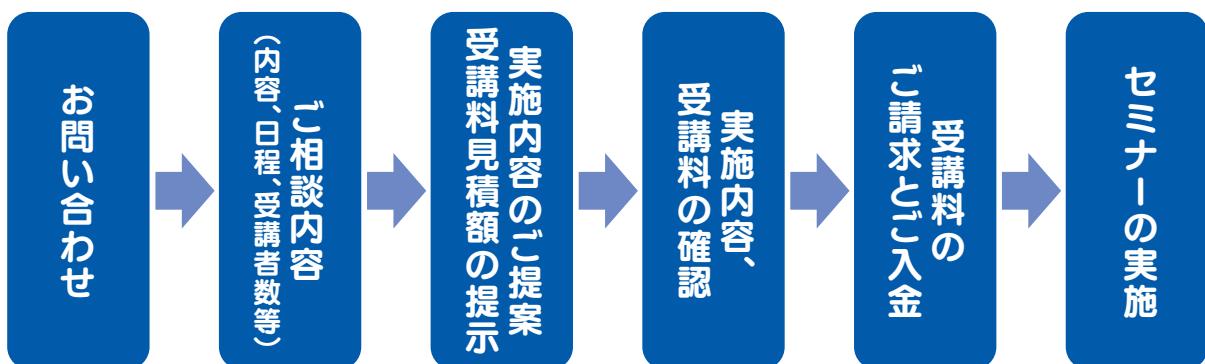
希望する開催日等をご
相談の上、訓練コースを設
定できますので、計画的な
人材育成が行えます。

メリット
3

社員教育に必要な講
師、機材、研修会場等の
ご心配が不要です。

計画のポイント

- ①公開中のコースもオーダーメイドセミナーとして計画できます。
(掲載していないコースについても、ご相談に応じています。)
- ②会場は原則、ポリテクセンター千葉となりますが、実施内容により出張セミナーにも対応できます。
- ③定員5名以上ですが、5名以下でもご相談ください。
- ④訓練時間(12時間以上となります)や訓練日程、受講者数、講習内容等を含め、お気軽にご相談ください。
- ⑤費用(受講料)は、教材や諸経費を含めてご提示します。



※受講料見積額の提示後に受講者人数を変更する場合、お一人当たりの受講料が変わります。

詳細については、下記の部署までお問い合わせください。

お問い合わせ先

ポリテクセンター千葉 訓練第二課
TEL 043-422-4622 FAX 043-304-2132

ポリテクセンター千葉
施設マップ



本館



本館 043教室



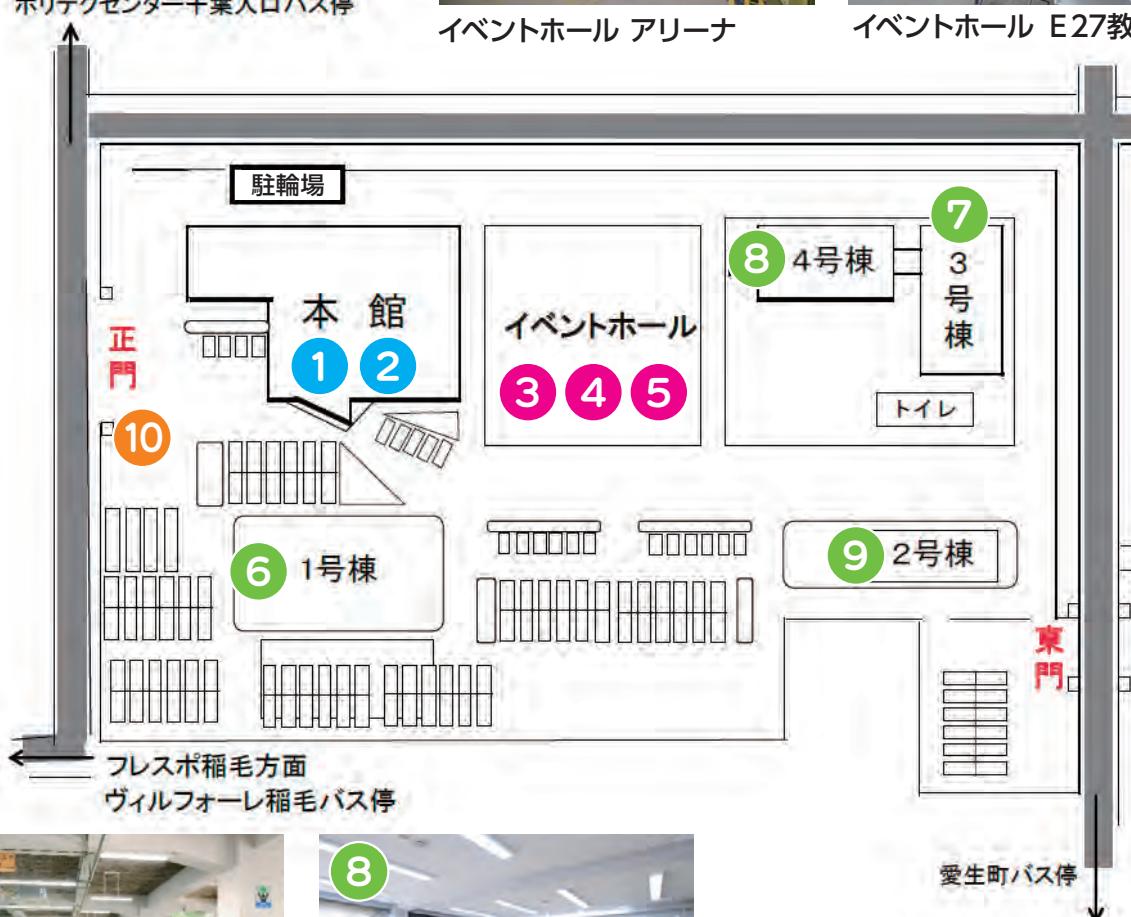
イベントホール E25教室



イベントホール アリーナ



イベントホール E27教室



1号棟 工作機械室



4号棟 414教室



3号棟 溶接実習場



2号棟 木材加工実習場



バス停

機械系 令和8年度 能力開発セミナー日程表

分野	コース番号	コース名	掲載ページ	定員	日数	受講料(税込)	開催回数	4月	5月	6月
機械設計・製図	M0101 M0102 M0103 M0104	実践機械製図 (投影法・図示法編)	20	10名	3日間	15,500円	4回	7(火)～9(木)		
	M0201 M0202 M0203 M0204	実践機械製図 (寸法・公差・表面性状編)	20	10名	2日間	9,000円	4回	21(火)、22(水)		
	M0301 M0302 M0303	2次元CADによる機械製図技術 (作図編)	21	10名	3日間	11,000円	3回	15(水)～17(金)		
	M0401 M0402	2次元CADによる機械製図技術 (環境設定編)	21	10名	2日間	7,500円	2回	23(木)、24(金)		
	M0501 M0502 M0503	3次元CADを活用したソリッドモデリング技術(モデリング編)	22	10名	3日間	20,000円	3回		12(火)～14(木)	
	M0601 M0602 M0603	3次元CADを活用したアセンブリ技術	22	10名	2日間	15,000円	3回		19(火)、20(水)	
	M0701 M0702	3次元CADを活用したソリッドモデリング技術(テクニカルモデリング編)	23	10名	3日間	20,000円	2回			
	M0801 M0802	3次元CADを活用したサーフェスモデリング技術	23	10名	2日間	15,000円	2回			
	M0901	設計者CAEを活用した構造解析	24	10名	2日間	15,000円	1回			
機械加工	M1001 M1002 M1003 M1004	旋盤加工技術	24	8名	3日間	17,000円	4回		26(火)～28(木)	
	M1101	旋盤加工応用技術	25	8名	3日間	17,000円	1回			
	M1201	旋削加工の理論と実際	25	10名	2日間	9,000円	1回			
	M1301 M1302 M1303	フライス盤加工技術	26	8名	3日間	18,000円	3回			23(火)～25(木)
NC工作機械	M1401	フライス盤加工応用技術	26	8名	3日間	18,000円	1回			
	M1501 M1502	NC旋盤プログラミング技術	27	10名	4日間	17,500円	2回			
	M1701 M1702	マシニングセンタプログラミング技術	27	10名	4日間	19,500円	2回			

4月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

5月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24/31	25	26	27	28	29	30

6月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

7月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

8月

日	月	火	水	木	金	土
					1	
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23/30	24/31	25	26	27	28	29

9月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

★訓練コース名を従来より変更しているコースがございます。重複受講にご注意ください。

7月	8月	9月	10月	11月	12月	令和9年1月	2月	3月
1(水)～3(金)		1(火)～3(木)			8(火)～10(木)			
9(木)、10(金)		14(月)、15(火)			22(火)、23(水)			
29(水)～31(金)			28(水)～30(金)					
				5(木)、6(金)				
21(火)～23(木)			19(月)～21(水)					
27(月)、28(火)			26(月)、27(火)					
	19(水)～21(金)						8(月)～10(水)	
	6(木)、7(金)						4(木)、5(金)	
							15(月)、16(火)	
	25(火)～27(木)			25(水)～27(金)			17(水)～19(金)	
		9/29(火)～10/1(木)						
				3(木)、4(金)				
		8(火)～10(木)			15(火)～17(木)			
			6(火)～8(木)					
			13(火)～16(金)			26(火)～29(金)		
28(火)～31(金)				10(火)～13(金)				

10月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

11月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

12月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

令和9年1月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24/31	25	26	27	28	29	30

2月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28						

3月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

分野	コース番号	コース名	掲載ページ	定員	日数	受講料(税込)	開催回数	4月	5月	6月			
計測・測定	M1901	精密測定技術	28	8名	2日間	11,500円	4回		26(火)、27(水)				
	M1902												
	M1903												
	M1904												
機械保全	M2101	三次元測定技術		6名	3日間	19,500円	1回						
	M2102												
	M2103												
	M2201	生産現場の機械保全技術	29				3回		12(火)、13(水)				
溶接・熱処理技術	M2202												
	M2203												
	W0101	被覆アーク溶接技能クリニック	30	10名	2日間	12,000円	1回						
	W0201	半自動アーク溶接技能クリニック	30	10名	2日間	14,000円	2回		8(月)、9(火)				
	W0202												
	W0301	TIG溶接技能クリニック	31	10名	2日間	13,500円	2回		23(火)、24(水)				
	W0302												
溶接・熱処理技術	W0401	金属材料の熱処理技術	31	10名	3日間	14,500円	1回						
	W0501	溶接・品質管理技術に活かす浸透探傷	32	6名	2日間	16,500円	1回						
	W0601												
	W0602	設計・施工管理に活かす溶接技術	32	10名	2日間	11,000円	1回						

電気・電子系 令和8年度 能力開発セミナー日程表

分野	コース番号	コース名	掲載ページ	定員	日数	受講料(税込)	開催回数	4月	5月	6月
電気保全・保守点検	E0101	機械の電気保全技術	33	10名	2日間	9,000円	5回	15(水)、16(木)	20(水)、21(木)	
	E0102									
	E0103									
	E0104									
	E0105									
	E0801	シーケンス制御による電動機制御技術	33	10名	2日間	8,000円	4回	22(水)、23(木)		
	E0802									
	E0803									
	E0804									
	E0301	低圧電気設備の保守点検技術	34	10名	2日間	8,000円	3回			24(水)、25(木)
	E0302									
	E0303									
	E0401	自家用電気工作物の高圧機器技術	34	10名	2日間	8,000円	1回			
	E0601	保護継電器の評価と保護協調	35	10名	2日間	8,000円	2回			
	E0602									

4月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

5月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24/31	25	26	27	28	29	30

6月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

7月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

8月

日	月	火	水	木	金	土
					1	
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23/30	24/31	25	26	27	28	29

9月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

7月	8月	9月	10月	11月	12月	令和9年1月	2月	3月
16(木)、17(金)			22(木)、23(金)			14(木)、15(金)		
						5(火)～7(木)		
	5(水)、6(木)				16(水)、17(木)			
	18(火)、19(水)				9(水)、10(木)			
2(木)、3(金)								
					3(木)、4(金)			
					22(火)、23(水)			
			28(水)～30(金)					
						6(水)、7(木)		
			6(火)、7(水)					

★訓練コース名を従来より変更しているコースがございます。重複受講にご注意ください。

7月	8月	9月	10月	11月	12月	令和9年1月	2月	3月
8(水)、9(木)	4(火)、5(水)		7(水)、8(木)					
22(水)、23(木)			21(水)、22(木)	25(水)、26(木)				
26(水)、27(木)					9(水)、10(木)			
		9(水)、10(木)				20(水)、21(木)		
					16(水)、17(木)			

10月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

11月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

12月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

令和9年1月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24/31	25	26	27	28	29	30

2月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28						

3月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

分野	コース番号	コース名	掲載ページ	定員	日数	受講料(税込)	開催回数	4月	5月	6月
電気保全・保守点検	E0701	高圧電気設備の保守点検技術	35	10名	2日間	8,500円	3回			
	E0702									
	E0703									
制御技術	E0901	実践的PLC制御技術	36	10名	2日間	8,000円	1回			
	E1001									
	E1002									
	E1003	電気系保全実践技術	36	10名	2日間	10,500円	3回			
	E1101									
回路設計技術	E1102	PLC制御の回路技術(三菱Q編)	38	10名	2日間	9,500円	3回	15(水)、16(木)		
	E1103									
	E1201	PLC制御の応用技術(三菱Q応用編・数値処理)	38	10名	2日間	9,000円	2回	22(水)、23(木)		
	E1202									
	E1301	PLC制御の応用技術(A/D・D/A変換技術)	39	10名	2日間	9,000円	1回		13(水)、14(木)	
ICT	E1401	PLCプログラミング技術	39	10名	2日間	12,500円	2回			24(水)、25(木)
	E1501									
	E1502	PLCによるタッチパネル活用技術	40	10名	2日間	10,000円	2回		27(水)、28(木)	
	E1701	トランジスタ回路の設計・評価技術	41	10名	2日間	10,500円	1回			
	E1801	オペアンプ回路の設計・評価技術	41	10名	2日間	11,500円	1回			
IoT技術	E1901	デジタル回路設計技術	42	10名	2日間	10,500円	1回			2(火)、3(水)
	E2001	基板製作に係る鉛フリーはんだ付け技術	42	10名	2日間	12,500円	1回		12(火)、13(水)	
	E2101	製造現場におけるLAN活用技術	43	10名	2日間	9,500円	2回			24(水)、25(木)
	E2201	ルータによるインターネット接続技術	43	10名	2日間	11,000円	2回			
	E2301	VLAN間ルーティング技術	44	10名	2日間	11,000円	2回			
IoT技術	E2401	組込み技術者のためのプログラミング(C言語編)	44	10名	2日間	11,000円	2回	9(木)、10(金)		
	E2501	マイコン制御システム開発技術(IoTデバイス編)	45	10名	2日間	13,000円	2回			
	E2601	IoTセンサシステム構築技術	45	10名	2日間	14,000円	1回			
	E2701	センサを活用したIoTアプリケーション開発技術	46	10名	2日間	12,000円	1回			
	E2801	組込み技術者のためのプログラミング(Python編)	46	10名	2日間	11,000円	2回	16(木)、17(金)		
	E2901	マイコン制御システム開発技術(Raspberry Pi OS編)	47	10名	2日間	12,000円	1回			

4月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

5月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24/31	25	26	27	28	29	30

6月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

7月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

8月

日	月	火	水	木	金	土
					1	
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23/30	24/31	25	26	27	28	29

9月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

7月	8月	9月	10月	11月	12月	令和9年1月	2月	3月
13(月)、14(火)				17(火)、18(水)			16(火)、17(水)	
					23(水)、24(木)			
	26(水)、27(木)		21(水)、22(木)				24(水)、25(木)	
			7(水)、8(木)	11(水)、12(木)				
				18(水)、19(木)				
						20(水)、21(木)		
				25(水)、26(木)				
			15(木)、16(金)					
				25(水)、26(木)				
					10(木)、11(金)			
	5(水)、6(木)					20(水)、21(木)		
		15(火)、16(水)					9(火)、10(水)	
22(水)、23(木)								
	18(火)、19(水)	29(火)、30(水)						
				16(水)、17(木)				
					13(水)、14(木)			
1(水)、2(木)								
				18(水)、19(木)				

10月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

11月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

12月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

令和9年1月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24/31	25	26	27	28	29	30

2月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28						

3月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

分野	コース番号	コース名	掲載ページ	定員	日数	受講料(税込)	開催回数	4月	5月	6月
IoT技術	E3001 E3002	組込みデータベースシステム開発技術	47	10名	2日間	12,000円	2回	27(月)、28(火)		
	E3101	Webを活用した生産支援システム構築技術(Python編)	48	10名	2日間	12,000円	1回			
	E3201	オブジェクト指向による組込みプログラム開発技術(Java言語編)	48	10名	4日間	18,500円	1回	21(火)~24(金)		
	E3401	オープンソースプラットフォーム活用技術(Android/Java言語編)	49	10名	2日間	12,000円	1回			
	E3501	オープンソースによる画像処理・認識プログラム開発 New	49	10名	2日間	12,000円	1回			
	E3601 E3602	PLCによる通信システム構築技術(Python編)	50	10名	2日間	10,000円	2回			

居住系 令和8年度 能力開発セミナー日程表

分野	コース番号	コース名	掲載ページ	定員	日数	受講料(税込)	開催回数	4月	5月	6月
建築設備施工・管理	H0101 H0102 H0103 H0104	冷媒配管の施工と空調機器据付け技術(ルームエアコン編)	51	10名	2日間	8,500円	4回		18(月)、19(火)	
	H0201 H0202	冷媒配管の施工と空調機器据付け技術(パッケージエアコン編)	51	10名	2日間	10,500円	2回			
	H0301	空調熱負荷と空気線図に基づく温熱環境計画手法	52	10名	2日間	7,500円	1回			
	H0401 H0402 H0403 H0404	電気設備のための計測技術	52	10名	2日間	7,500円	4回	9(木)、10(金)		
	H0501 H0502 H0503	有接点シーケンス制御の実践技術	53	10名	2日間	7,500円	3回			
	H0701 H0702	建築設備機器廻りの配管施工・保守技術	53	10名	2日間	11,000円	2回			
防災設備保全	H0601 H0602	自動火災報知設備工事の施工・保守技術【使用機器:P型2級受信機】	54	10名	2日間	7,500円	2回			
	E1601 E1602	自動火災報知設備工事の施工・保守技術【使用機器:P型1級受信機】	54	10名	2日間	10,500円	2回			

4月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

5月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24/31	25	26	27	28	29	30

6月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

7月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

8月

日	月	火	水	木	金	土
					1	
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23/30	24/31	25	26	27	28	29

9月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

7月	8月	9月	10月	11月	12月	令和9年1月	2月	3月
			28(水)、29(木)					
			21(水)、22(木)					
8(水)、9(木)								
29(水)、30(木)								
	20(木)、21(金)					18(木)、19(金)		

★訓練コース名を従来より変更しているコースがございます。重複受講にご注意ください。

7月	8月	9月	10月	11月	12月	令和9年1月	2月	3月
	27(木)、28(金)			9(月)、10(火)			8(月)、9(火)	
		7(月)、8(火)					25(木)、26(金)	
		29(火)、30(水)						
2(木)、3(金)			19(月)、20(火)			5(火)、6(水)		
21(火)、22(水)			1(木)、2(金)			21(木)、22(金)		
27(月)、28(火)			29(木)、30(金)					
	20(木)、21(金)			17(火)、18(水)				
		9(水)、10(木)						10(水)、11(木)

10月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

11月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

12月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

令和9年1月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24/31	25	26	27	28	29	30

2月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28						

3月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

分野	コース番号	コース名	掲載ページ	定員	日数	受講料(税込)	開催回数	4月	5月	6月
建築設計 CAD・BIM	H0801 H0802 H0803 H0804	実践建築設計2次元CAD技術 【使用機器:Jw_cad】	55	10名	2日間	8,500円	4回	15(水)、16(木)		
	H0901 H0902 H0903	実践建築設計2次元CAD技術 【使用機器:AutoCAD2024】	55	10名	2日間	8,500円	3回			
	H1001 H1002	実践建築設計3次元CAD技術 【使用機器:3Dマイホームデザイナー】	56	10名	2日間	8,500円	2回			
	H1101	実践建築設計3次元CAD技術 (3Dオブジェクト作成) 【使用機器:3Dマイホームデザイナー】	56	10名	2日間	10,500円	1回			
	H1201	住宅計画実践技術(共同住宅ボリューム算出)【使用機器:TP-PLANER】	57	10名	2日間	12,000円	1回			
	H1301	BIMを用いた建築設計技術 【使用機器:Autodesk Revit】	57	10名	2日間	11,500円	1回			
	H1401	BIMを用いた積算実践技術 【使用機器:ヘリオス(BIM連携積算システム)】	58	10名	2日間	12,000円	1回			
	H1501	BIMを用いた建築生産設計技術(躯体施工図) 【使用機器:GLOOBE Construction】	58	10名	2日間	8,500円	1回			
	H1601	木造住宅における壁量計算技術 【使用機器:壁量等の基準(令和7年施行)に 対応した表計算ツール(多機能版)ver1.0】	59	10名	2日間	8,500円	1回	22(水)、23(木)		
	H1701	木造住宅における耐震診断技術	59	10名	2日間	9,000円	1回			10(水)、11(木)
	H1801	ARを活用した建築プレゼンテーション技法 (クロスリアリティ)【使用機器:Gyro Eye】	60	10名	2日間	9,000円	1回		13(水)、14(木)	
施工管理	H1901	ネットワーク工程管理実践技術	60	10名	2日間	8,000円	1回			

生産管理 令和8年度 能力開発セミナー日程表

分野	コース番号	コース名	掲載ページ	定員	日数	受講料(税込)	開催回数	4月	5月	6月
生産管理	S0101 S0102 S0103 S0104	仕事と人を動かす現場監督者の育成 ～ものづくり=人づくり～	61	10名	2日間	8,000円	4回			
	S0201 S0202	実践生産性改善～全体最適化視点 からのムダ取りでローコスト体質へ～	61	10名	2日間	9,500円	2回			
	S0301 S0302	原価管理から見た生産性向上 ～製品コストが分かれば削減できる～	62	10名	2日間	9,500円	2回			
	S0401 S0402 S0403 S0404	5Sによるムダ取り・改善の進め方 ～工場現場の改善の基礎5Sと見える化～	62	10名	2日間	8,500円	4回		13(水)、14(木)	
	S0501 S0502 S0503 S0504	安全確保のための現場改善手法	63	10名	2日間	9,500円	4回			
	S0601 S0602 S0603 S0604	生産現場に活かす品質管理ツール ～QC7つ道具を中心にして～	63	10名	2日間	10,000円	4回			

4月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

5月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24/31	25	26	27	28	29	30

6月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

7月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

8月

日	月	火	水	木	金	土
					1	
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23/30	24/31	25	26	27	28	29

9月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

7月	8月	9月	10月	11月	12月	令和9年1月	2月	3月
	19(水)、20(木)			11(水)、12(木)		13(水)、14(木)		
15(水)、16(木)		9(水)、10(木)			9(水)、10(木)			
	26(水)、27(木)		14(水)、15(木)					
8(水)、9(木)								
22(水)、23(木)								
	22(土)、23(日)							
			21(水)、22(木)					
			28(水)、29(木)					
						20(水)、21(木)		

★訓練コース名を従来より変更しているコースがございます。重複受講にご注意ください。

7月	8月	9月	10月	11月	12月	令和9年1月	2月	3月
9(木)、10(金)			1(木)、2(金)		3(木)、4(金)		4(木)、5(金)	
1(水)、2(木)				10(火)、11(水)				
22(水)、23(木)					1(火)、2(水)			
16(木)、17(金)			15(木)、16(金)				2(火)、3(水)	
30(木)、31(金)		17(木)、18(金)		26(木)、27(金)		21(木)、22(金)		
9(木)、10(金)	20(木)、21(金)			19(木)、20(金)		14(木)、15(金)		

10月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

11月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

12月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

令和9年1月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24/31	25	26	27	28	29	30

2月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28						

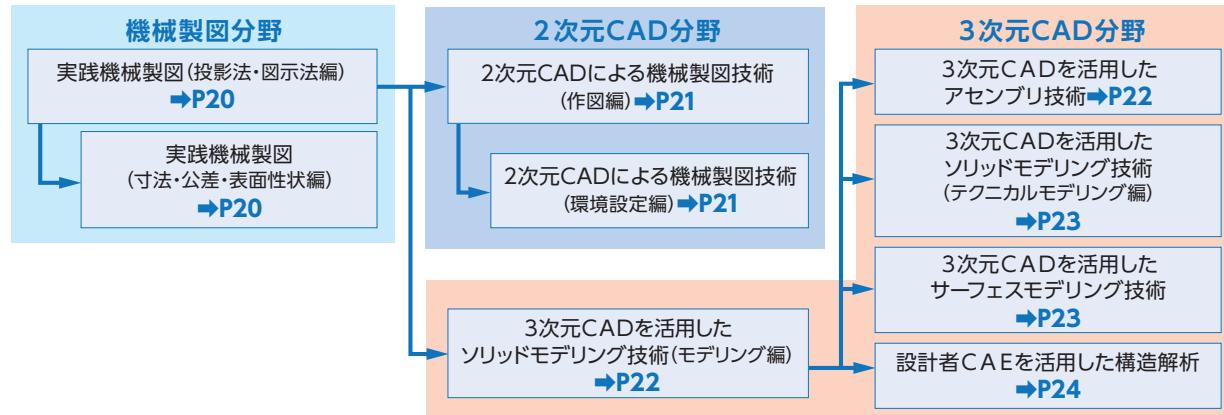
3月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

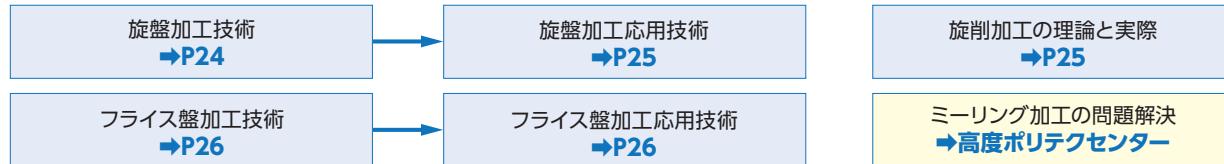
能力開発セミナー 受講推奨フロー

機械系

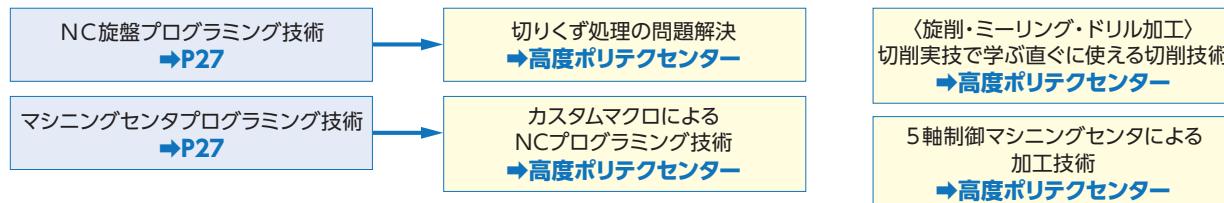
機械設計・製図の技術を習得したい方におすすめ



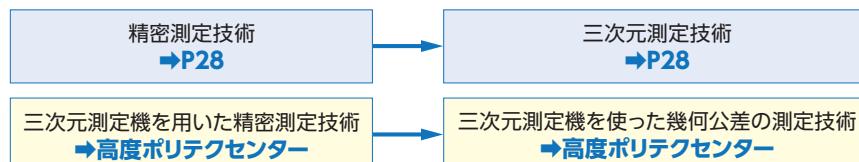
理論に基づく機械加工技術を習得したい方におすすめ



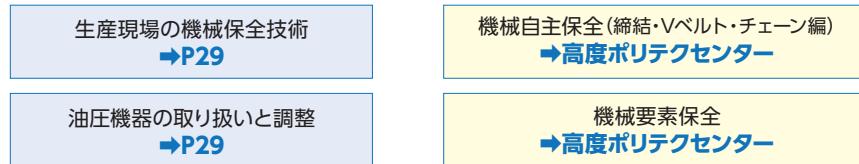
数値制御を用いた機械加工技術を習得したい方におすすめ



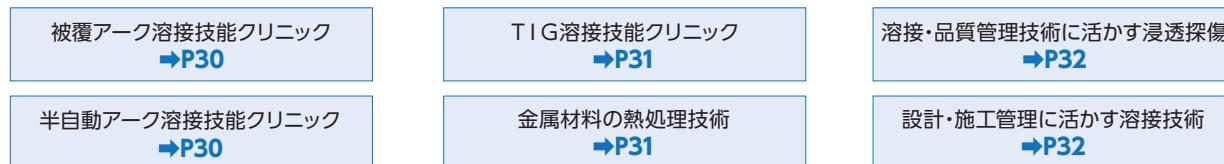
各種計測・測定技術を習得したい方におすすめ



理論に基づく機械保全技術を習得したい方におすすめ



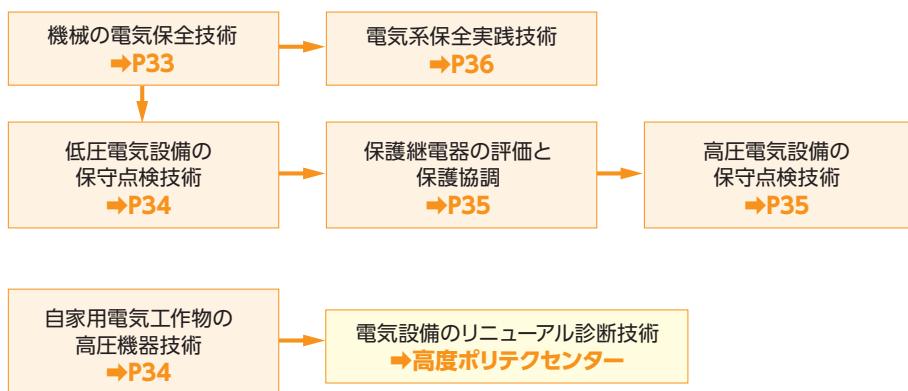
各種溶接法・熱処理の技術を習得したい方におすすめ



電気・電子系

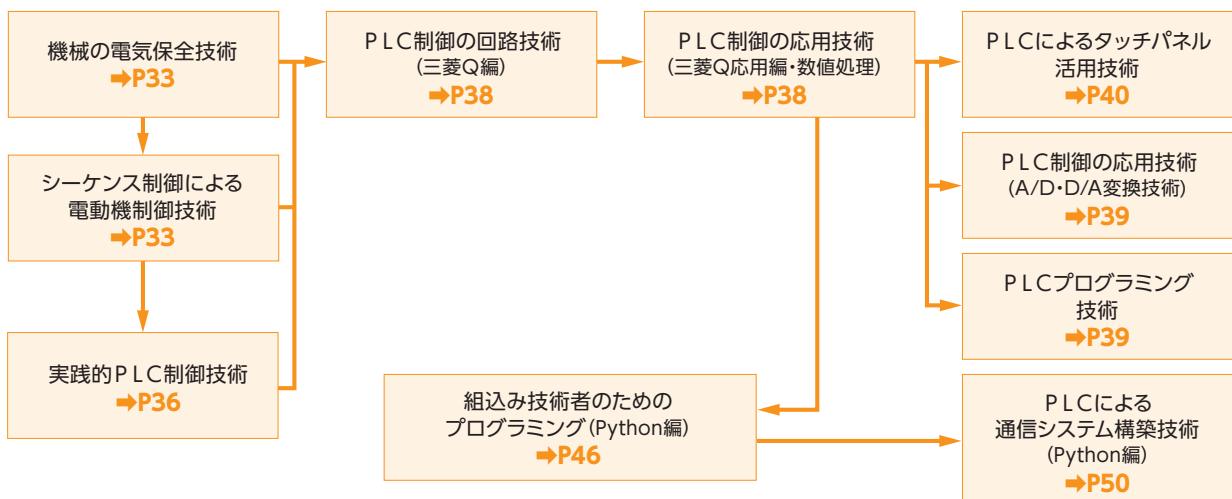
電気保全・保守点検

電気設備の保守・点検・保全に関する技術を習得したい方におすすめ



制御技術

シーケンス、リレー・PLC等による制御関連の技術を習得したい方におすすめ



回路設計技術

アナログ・デジタル回路技術を習得したい方におすすめ



ICT

ネットワーク関連技術を習得したい方におすすめ

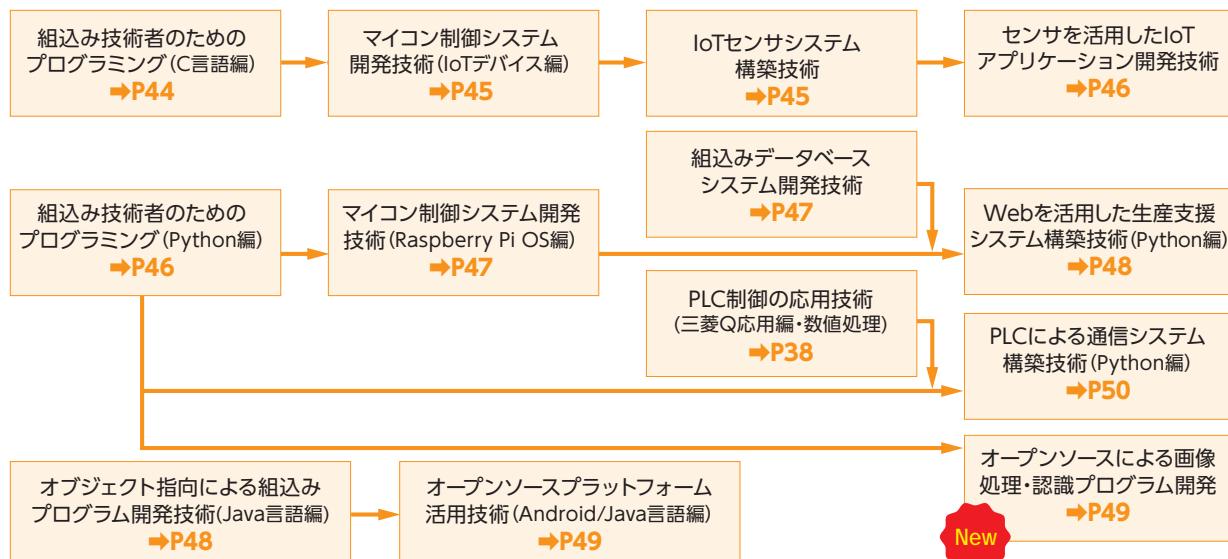


能力開発セミナー 受講推奨フロー

電氣・電子系

IoT
技術

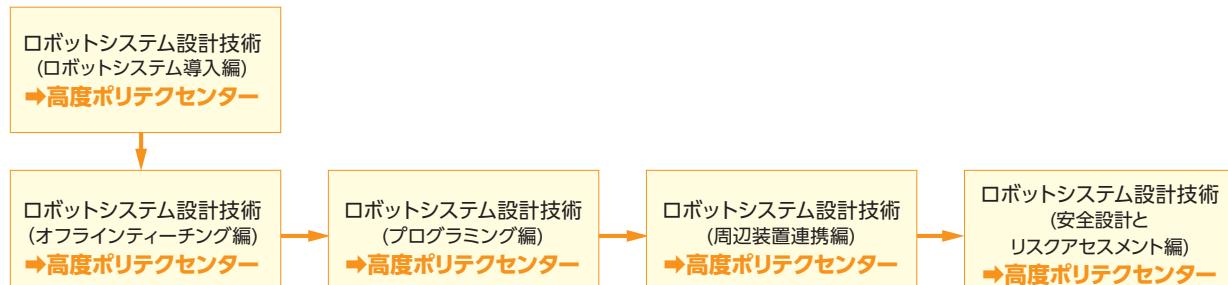
IoTシステム関連技術を習得したい方におすすめ



New

ロボットシステム設計

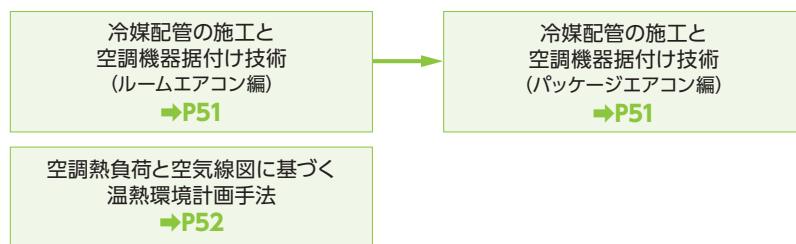
ロボットシステム設計技術を習得したい方におすすめ



居住系

建築設備施工・管理

建築設備の施工に必要な技術を習得したい方におすすめ



建築設備管理

建築設備の管理に関する技術を習得したい方におすすめ



居住系

給排水衛生設備保全

給排水衛生設備の施工・保全に関する技術を習得したい方におすすめ

建築設備機器廻りの配管施工・保守技術
→P53

防災設備保全

防災設備の施工・保全に関する技術を習得したい方におすすめ

自動火災報知設備工事の施工・保守技術
【使用機器:P型2級受信機】
→P54

自動火災報知設備工事の施工・保守技術
【使用機器:P型1級受信機】
→P54

建築設計 CAD・BIM

建築設計・製図・施工管理の技術を習得したい方におすすめ

実践建築設計2次元CAD技術
【使用機器:Jw_cad】
→P55

実践建築設計2次元CAD技術
【使用機器:AutoCAD2024】
→P55

実践建築設計3次元CAD技術
【使用機器:3Dマイホームデザイナー】
→P56

New 木造住宅における壁量計算技術
【使用機器:壁量等の基準(令和7年施行)に対応した表計算ツール(多機能版)ver1.0】
→P59

New ARを活用した建築プレゼンテーション技法(クロスリアリティ)【使用機器:Gyro Eye】
→P60

BIMを用いた建築設計技術
【使用機器:Autodesk Revit】→P57

BIMを用いた積算実践技術
【使用機器:ヘリオス(BIM連携積算システム)】
→P58

BIMを用いた建築生産設計技術(躯体施工図)
【使用機器:GLOOBE Construction】→P58

住宅計画実践技術(共同住宅ボリューム算出)
【使用機器:TP-PLANER】→P57

実践建築設計3次元CAD技術(3Dオブジェクト作成)
【使用機器:3Dマイホームデザイナー】
→P56

New 木造住宅における耐震診断技術 →P59

ネットワーク工程管理実践技術 →P60

生産管理

生産管理

生産計画に基づいた業務管理技術を習得したい方におすすめ

仕事と人を動かす現場監督者の育成
～ものづくり=人づくり～
→P61

5Sによるムダ取り・改善の進め方
～工場現場の改善の基礎 5Sと見える化～
→P62

原価管理から見た生産性向上
～製品コストが分かれれば削減できる～
→P62

安全確保のための現場改善手法
→P63

生産現場に活かす品質管理ツール
～QC7つ道具を中心にして～
→P63

実践生産性改善
～全体最適化視点からのムダ取りでローコスト体質へ～
→P61

DX(デジタルトランスフォーメーション)の進め方と業務改革手法
→高度ポリテクセンター

機械設計・製図

実践機械製図(投影法・図示法編)

受講申込メールアドレス▶chiba-poly02@jeed.go.jp

コースのお問合わせ先▶043-422-4622

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	3日	18時間	9:10~16:00(6時間×3日間)	15,500円

JISの製図規格を理解し、投影法や各種図示を習得するコース

コース概要

機械設計業務の効率化をめざして、機械製図の作成時に求められる読図力と製図力を習得します。

主に投影法・各種図示方法について習得するコースです。

- ◆機械製図概要、JISの製図規格
- ◆投影法及び図の表し方
- ◆寸法の読み方(寸法補助記号等)

対象者

機械設計および製図業務に携わる方

持参品

筆記用具

使用機器

特になし

担当講師(予定)

ポリテクセンター千葉

コース番号	日程
M0101	4/7(火)、4/8(水)、4/9(木)
M0102	7/1(水)、7/2(木)、7/3(金)
M0103	9/1(火)、9/2(水)、9/3(木)
M0104	12/8(火)、12/9(水)、12/10(木)

受講者の声

- ◆専門的な知識を学べるような講習に参加するのは初めてだったので、何となく理解していた内容や間違った知識を改めることができました。
- ◆大学時代に学んだことを今一度、学び直すことができ、知見が深りました。
- ◆会社では図面の描き方はOJTのみだったため、間違いもあったので、規格通りの製図方法を学べてよかったです。



※人材開発支援助成金の「人材育成支援コース」に該当します。

機械設計・製図

実践機械製図(寸法・公差・表面性状編)

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	14時間	9:10~17:00(7時間×2日間)	9,000円

JISの製図規格を理解し、寸法や公差、表面性状について習得するコース

コース概要

機械設計業務の効率化をめざして、機械製図の作成時に求められる読図力と製図力を習得します。

主に寸法・公差・表面性状に関する内容を習得するコースです。

- ◆機械製図概要、JISの製図規格
- ◆寸法記入法
- ◆サイズ公差(寸法公差)及びはめあい方式
- ◆幾何公差、表面性状の図示方法

コース番号	日程
M0201	4/21(火)、4/22(水)
M0202	7/9(木)、7/10(金)
M0203	9/14(月)、9/15(火)
M0204	12/22(火)、12/23(水)

受講者の声

- ◆大変分かりやすく、改めて最新の規格を学ぶのに最適でした。
- ◆公差について深く学んだことがなかったので勉強になりました。
- ◆今まで多くの図面を見る機会があったが、図中の記号など、あいまいな知識で処理してしまっていたが、今後は本受講にて新たに得た知識を活かせると感じた。

※本コースは使用テキスト(3点)を各自ご持参して頂きます。

- 初心者のための機械製図 第6版(森北出版)
ISBN: 9784627664364 定価: 2,860円(税込)
- 機械製図練習ノート(実教出版)
ISBN: 9784407330731 定価: 660円(税込)
- 機械製図問題集(1)(パワー社)
ISBN: 9784827713213 定価: 748円(税込)

※「実践機械製図(投影法・図示法編)」を受講いただいた方は、そちらで使用したテキストをお持ちください。

※人材開発支援助成金の「人材育成支援コース」に該当します。



機械設計・製図

2次元CADによる機械製図技術
(作図編)

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	3日	18時間	9:10~16:00(6時間×3日間)	11,000円

JISの製図規格を理解し、2次元CADによる機械図面作成を習得するコース

コース概要

2次元CADシステム(AutoCAD)を効果的に活用するために、作図手法、図面データの活用技術を習得します。

- ◆2次元CAD概要、JISの製図規格
- ◆基本操作
- ◆CADによる作図(作図機能、編集機能、寸法記入)
- ◆課題演習及びまとめ

対象者

2次元CAD業務に携わる方
または手書き製図からCADへの移行をお考えの方

持参品

筆記用具

使用機器

2次元CADシステム(AutoCAD)

担当講師(予定)

ポリテクセンター千葉

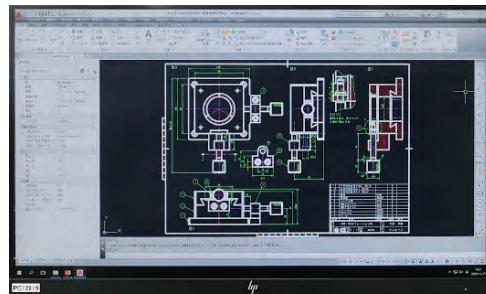
コース番号

日程

M0301	4/15(水)、4/16(木)、4/17(金)
M0302	7/29(水)、7/30(木)、7/31(金)
M0303	10/28(水)、10/29(木)、10/30(金)

受講者の声

- ◆分からなかったコマンドの意味もこの講義のおかげで知れて業務に役立てる事ができます。
- ◆会社でAuto CADソフトを使う機会がなく、知識が無かったが、今回の講習で技術・製図への知識も深まったと感じました。
- ◆全く知識が無かったですが、何とか描けるようになりました。



※人材開発支援助成金の「人材育成支援コース」に該当します。

機械設計・製図

2次元CADによる機械製図技術
(環境設定編)

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:10~16:00(6時間×2日間)	7,500円

2次元CADによる機械図面作成における環境設定を習得するコース

コース概要

2次元CADシステム(AutoCAD)を効果的に活用するために、環境構築や各種設定に関する技術を習得します。

- ◆JISの製図規格
- ◆各種設定作業(テンプレート作成)
- ◆設計と効率化(ブロック登録と利用)
- ◆印刷設定と出力(モデル空間、ペーパー空間)
- ◆課題演習及びまとめ

対象者

「2次元CADによる機械製図技術(作図編)」を受講された方
または同等の技術をお持ちの方

持参品

筆記用具

使用機器

2次元CADシステム(AutoCAD)

担当講師(予定)

ポリテクセンター千葉

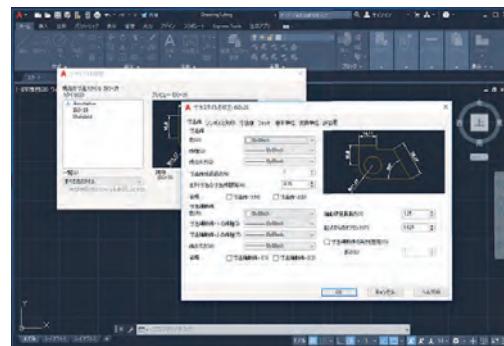
コース番号

日程

M0401	4/23(木)、4/24(金)
M0402	11/5(木)、11/6(金)

受講者の声

- ◆スキルが上がり、CADの苦手意識がなくなりました。
- ◆各コマンド設定について、基本的な意味だったり、どういうことが起こるのかが、よく分かりました。
- ◆設計部署への図面指示等についての知識が深まりました。



※人材開発支援助成金の「人材育成支援コース」に該当します。

機械設計・製図

3次元CADを活用したソリッドモデリング技術(モデリング編)

ソリッドやパラメトリックを理解し、3次元CADによるモデル作成を習得するコース

コース概要

3次元CADシステムを効果的に活用するために、ソリッドモデル作成技術を習得します。

- ◆CADを使用した設計の流れ
- ◆3次元CADの概要
- ◆スケッチ作成(寸法拘束、幾何拘束)
- ◆ソリッドモデリング(フィーチャ作成)(押し出し、回転、シェルなど)
- ◆図面作成
- ◆課題演習及びまとめ

対象者

3次元CAD業務に携わる方
または2次元CADから3次元CADへの移行をお考えの方

持参品

筆記用具

使用機器

3次元CADシステム(SOLIDWORKS2023)

担当講師(予定)

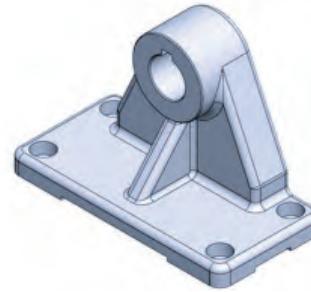
株式会社KreeD

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	3日	18時間	9:10~16:00(6時間×3日間)	20,000円

コース番号	日程
M0501	5/12(火)、5/13(水)、5/14(木)
M0502	7/21(火)、7/22(水)、7/23(木)
M0503	10/19(月)、10/20(火)、10/21(水)

受講者の声

- ◆今後はソリッドモデルの作成をより短い時間で、品質よく行うことができると思いました。
- ◆初めて3DCADを使いましたが、これから業務で使えるようになったと思います。とても分かりやすい講義でした。
- ◆本来、現場で習得しえない専門的な所までの実習と解説、現場で特に必要な機能等を習得できました。



※人材開発支援助成金の「人材育成支援コース」に該当します。

機械設計・製図

3次元CADを活用したアセンブリ技術

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:10~16:00(6時間×2日間)	15,000円

課題演習を通し、3次元CADによるアセンブリ技術を習得するコース

コース概要

3次元CADシステムを効果的に活用するために、アセンブリ構築の考え方やアセンブリ技術を習得します。
(「アセンブリ」とは、部品組立のことです。)

- ◆CADを使用した設計の流れ
- ◆アセンブリの概要
- ◆合致演習
- ◆アセンブリ機能を活用した検証方法
- ◆アセンブリの図面作成
- ◆課題演習及びまとめ

コース番号	日程
M0601	5/19(火)、5/20(水)
M0602	7/27(月)、7/28(火)
M0603	10/26(月)、10/27(火)

受講者の声

- ◆合致の機能を詳しく学ぶことができ、日ごろ仕事で使っていない機能などを学ぶことができた。
- ◆機材トラブルへの対応も的確で、大変勉強になりました。
- ◆製造現場の効率改善に役立てたいと思います。



※人材開発支援助成金の「人材育成支援コース」に該当します。



機械設計・製図

3次元CADを活用したソリッドモデリング技術(テクニカルモデリング編)

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	3日	18時間	9:10~16:00(6時間×3日間)	20,000円

曲面を持ったソリッドなど、より高品質なモデル作成を習得するコース

コース概要

3次元CADシステムを効果的に活用するために、マルチボディや複数スケッチからのモデル作成技術を習得します。

- ◆CADを使用した設計の流れ
- ◆3次元CADの概要
- ◆モデリング(マルチボディ)
- ◆モデリング(曲面を持ったソリッド)
- ◆課題演習及びまとめ

対象者

「3次元CADを活用したソリッドモデリング技術(モデリング編)」を受講された方、または同等の技術をお持ちの方

持参品

筆記用具

使用機器

3次元CADシステム(SOLIDWORKS2023)

担当講師(予定)

株式会社KreeD

コース番号

日程

M0701 8/19(水)、8/20(木)、8/21(金)

M0702 2027年2/8(月)、2/9(火)、2/10(水)

受講者の声

- ◆これまで、SOLIDWORKSの導入教育を受けただけで、自己流で行っていましたが、様々な広範囲のオペレーションを知ることができました。
- ◆効率的に学ぶことができ、早く仕事に活かすことができます。
- ◆非常に分かりやすく、多くのことを学べた3日間でした。ありがとうございました。



※人材開発支援助成金の「人材育成支援コース」に該当します。

機械設計・製図

3次元CADを活用したサーフェスマデリング技術

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:10~16:00(6時間×2日間)	15,000円

サーフェスの特性を理解し、サーフェスマルチボディ作成を習得するコース

コース概要

3次元CADシステムを効果的に活用するために、サーフェスマルチボディ作成技術を習得します。

- ◆CADを使用した設計の流れ
- ◆3次元CADの概要
- ◆自由曲線、自由曲面の特徴
- ◆サーフェスの作成
- ◆サーフェスの編集
- ◆課題演習及びまとめ

対象者

「3次元CADを活用したソリッドモデリング技術(モデリング編)」を受講された方、または同等の技術をお持ちの方

持参品

筆記用具

使用機器

3次元CADシステム(SOLIDWORKS2023)

担当講師(予定)

株式会社KreeD

コース番号

日程

M0801 8/6(木)、8/7(金)

M0802 2027年2/4(木)、2/5(金)

受講者の声

- ◆サーフェス操作の一端を少し理解できました。会社でもサーフェスを使える人が少ないので伝達ができます。
- ◆これまで自己流で操作していたため、非常に狭い範囲のコマンド利用でしたが、それが広くなりました。



※人材開発支援助成金の「人材育成支援コース」に該当します。

機械設計・製図

設計者CAEを活用した構造解析

受講申込メールアドレス▶chiba-poly02@jeed.go.jp

コースのお問合わせ先▶043-422-4622

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:10~16:00(6時間×2日間)	15,000円

有限要素法の特徴を理解し、線形構造解析の活用や評価法などを習得するコース

コース概要

有限要素法の特徴を理解し、解析実習を通して構造設計における線形構造解析の活用、評価法などを習得します。

- ◆CAE概論、有限要素法
- ◆モデル化、線形と非線形
- ◆課題演習及びまとめ

対象者

CADを利用した線形構造解析を習得されたい方
(SOLIDWORKSの操作が可能な方)

持参品

筆記用具

使用機器

3次元CADシステム(SOLIDWORKS2023)

担当講師(予定)

株式会社KreeD

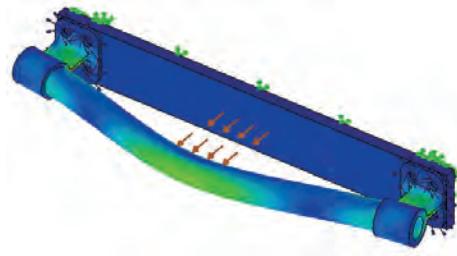
コース番号

日程

M0901 2027年2/15(月)、2/16(火)

受講者の声

- ◆業務で使っていたが、メッシュの自動化など新しい知識が増えました。
- ◆会社内でCAEの知識がある人がいないため、今回の講習で学ぶことができ良かったです。
- ◆経験力ではなく、解析を使い理論的にものづくりできます。



※人材開発支援助成金の「人材育成支援コース」に該当します。

機械加工

旋盤加工技術

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
8名	3日	21時間	9:10~17:00(7時間×3日間)	17,000円

旋盤による加工方法、外径加工、内径加工等の加工方法を習得するコース

コース概要

旋盤の操作方法、切削条件の設定方法及び内・外径加工、溝入れ加工、段付け加工に必要な実践的な知識・技能・技術を習得します。

- ◆旋盤加工の概要
- ◆旋盤加工の切削条件
- ◆旋盤の操作方法
- ◆端面加工、外径加工、段付け加工、溝入れ加工
- ◆ドリル加工、内径加工
- ◆組み合わせ部品のはめあい

対象者

旋盤加工に興味がある方
またはこれから旋盤加工の仕事に従事しようとする方

持参品

筆記用具、作業服、作業帽、安全靴、保護めがね

使用機器

旋盤(滝澤鉄工所TAL-540)

担当講師(予定)

ポリテクセンター千葉

コース番号

日程

M1001 5/26(火)、5/27(水)、5/28(木)

M1002 8/25(火)、8/26(水)、8/27(木)

M1003 11/25(水)、11/26(木)、11/27(金)

M1004 2027年2/17(水)、2/18(木)、2/19(金)

受講者の声

- ◆旋盤作業での重要なポイントを把握でき、作業できるようになった。他業者にお願いしていた仕事内容を実際に体験して把握することができた。
- ◆理論と実技が上手く組み合わされた良いセミナーでした。これまで、いくつもセミナーを受講しましたが、今回のセミナー内容や先生の教え方は最もよかったです。ゆっくり、質問に親切に対応いただけた先生が大変よかったです。
- ◆普段、触れることのない機械を使って、知識を深めることができます。



※人材開発支援助成金の「人材育成支援コース」に該当します。



機械加工

旋盤加工応用技術

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
8名	3日	21時間	9:10~17:00(7時間×3日間)	17,000円

旋盤による加工方法、組み合わせ加工、部品加工に必要な知識・技能を習得するコース

コース概要

旋盤による加工方法、四爪チャックによる心出し作業、切削条件の設定方法及びテーパ加工、ねじ切り加工、組み合わせ部品加工に必要な実践的な知識・技能・技術を習得します。

- ◆切削条件の設定方法
- ◆外径の段付け加工、内径加工
- ◆テーパ加工
- ◆外径ねじ切り加工
- ◆組み合わせ部品のはめあい

対象者

「旋盤加工技術」を受講された方
または汎用旋盤作業の操作経験がある方

持参品

筆記用具、作業服、作業帽、安全靴、保護めがね

使用機器

旋盤(滝澤鉄工所TAL-540)

担当講師(予定)

ポリテクセンター千葉

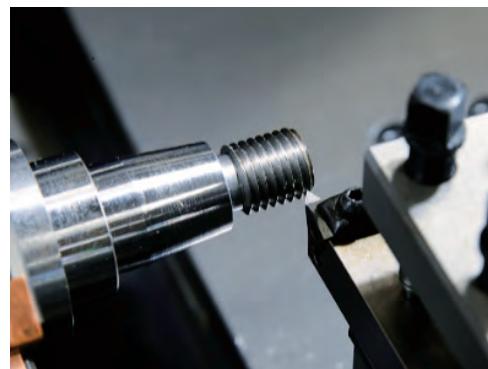
コース番号

日程

M1101 9/29(火)、9/30(水)、10/1(木)

受講者の声

- ◆ねじ加工などはダイスを使っていたので、新しいやり方が覚えられたのはとても良かったです。今後、これらの技術を活かしていきたいです。
- ◆社内で実践していない、テーパ加工、ねじ切り加工を実習できました。



※人材開発支援助成金の「特定訓練コース」に該当します。

機械加工

旋削加工の理論と実際

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:10~16:00(6時間×2日間)	9,000円

旋削加工に関する切削理論、切削条件などについて習得するコース

コース概要

旋削加工の特徴や加工条件設定の考え方を理解し、加工条件等の的確な状況把握と改善をするための知識・技能を習得します。

- ◆切削理論
- ◆切削条件
- ◆切削動力と切削抵抗
- ◆切りくずの状態と加工条件
- ◆理論と実際の分析

対象者

旋盤加工における切削条件に興味がある方

持参品

筆記用具、作業服、作業帽、安全靴、保護めがね

使用機器

旋盤(滝澤鉄工所TAL-540)、切削動力計

担当講師(予定)

ポリテクセンター千葉

コース番号

日程

M1201 12/3(木)、12/4(金)

受講者の声

- ◆実際に旋盤加工をする際に生じる様々な問題への対処法を教わった。
- ◆今まで、何故その加工方法が良いかだったり、何故その数値が良いのか分からなかったが、理解することができた。



※人材開発支援助成金の「特定訓練コース」に該当します。

機械加工

フライス盤加工技術

受講申込メールアドレス▶chiba-poly02@jeed.go.jp

コースのお問合せ先▶043-422-4622

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
8名	3日	21時間	9:10~17:00(7時間×3日間)	18,000円

フライス盤による加工方法、平面加工、溝加工等の加工方法を習得するコース

コース概要

立てフライス盤を用いた加工に関するノウハウを学び、加工課題の製作を通して、正面フライス及びエンドミルを用いたフライス加工に関する知識と技能を習得します。

- ◆フライス盤の概要
- ◆主な使用工具の概要(正面フライス、エンドミル)
- ◆フライス盤の切削作用及び切削条件
- ◆六面体加工(正面フライス)
- ◆段付、直溝加工(エンドミル)

対象者

フライス加工に興味がある方
またはこれからフライス加工の仕事に従事しようとする方

持参品

ひざ形立てフライス盤(大隈豊和STM2V)

使用機器

筆記用具、作業服、作業帽、安全靴、保護めがね

担当講師(予定)

ポリテクセンター千葉

コース番号

日程

M1301 6/23(火)、6/24(水)、6/25(木)

M1302 9/8(火)、9/9(水)、9/10(木)

M1303 12/15(火)、12/16(水)、12/17(木)

受講者の声

- ◆今まで業務の中で何となく加工していたので、専門知識が欲しかった。そのため大変役に立ちました。
- ◆旋盤で加工できなかった角材の加工ができるようになりました。
- ◆加工方法を知ることにより、図面指示をすることに役立ちます。



※人材開発支援助成金の「人材育成支援コース」に該当します。

機械加工

フライス盤加工応用技術

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
8名	3日	21時間	9:10~17:00(7時間×3日間)	18,000円

フライス盤による加工方法、エンドミル加工に必要な知識・技能を習得するコース

コース概要

立てフライス盤を用いたエンドミル加工に関するノウハウを学び、エンドミル加工の基礎である段付・直溝からRボス、R溝加工、こう配加工などの加工課題製作を通じてエンドミル加工の知識・技能を習得します。

- ◆段付、直溝加工
- ◆Rボス、R溝加工
- ◆こう配加工

対象者

「フライス盤加工技術」を受講された方
または汎用フライス盤作業の操作経験がある方

持参品

筆記用具、作業服、作業帽、安全靴、保護めがね

使用機器

ひざ形立てフライス盤(大隈豊和STM2V)

担当講師(予定)

ポリテクセンター千葉

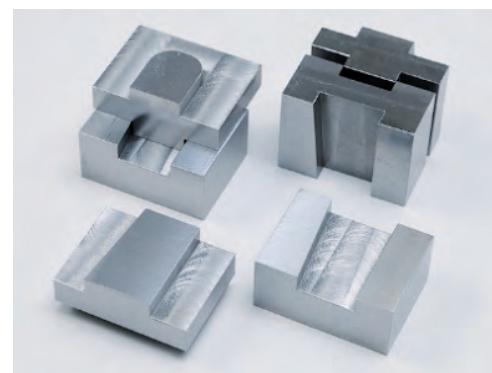
コース番号

日程

M1401 10/6(火)、10/7(水)、10/8(木)

受講者の声

- ◆こう配加工などの技術を高めることができた。今後の加工業務に活用していきたい。
- ◆今後、フライス盤を使用する時に少しでも知識があることで、すんなりと使用することができる、今回の講習はとても役に立ちました。



※人材開発支援助成金の「人材育成支援コース」に該当します。



NC工作機械

NC旋盤プログラミング技術

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	4日	24時間	9:10~16:00(6時間×4日間)	17,500円

NC施盤のプログラム作成から段取り、加工までを習得するコース

コース概要

NC旋盤加工に必要な、NCプログラム作成に関する知識の習得と作成したプログラムを用いて、段取りから加工まで必要な事項を実習を通して習得します。

- ◆NC旋盤プログラムに関する知識
- ◆荒加工と仕上げ加工
- ◆ノーズR補正
- ◆固定サイクル
- ◆機械操作と段取り作業
- ◆課題の加工

対象者

NC旋盤に興味がある方
またはNC旋盤加工に従事しようとする方

持参品

筆記用具、作業服、作業帽、安全靴、保護めがね

使用機器

ターニングセンタ
(中村留SC-250制御装置FANUC21i TB)

担当講師(予定)

ポリテクセンター千葉

コース番号

日程

M1501	10/13(火)、10/14(水)、10/15(木)、 10/16(金)
M1502	2027年 1/26(火)、1/27(水)、 1/28(木)、1/29(金)

受講者の声

- ◆NC旋盤の修理や点検を行う際に、どのコードでどう動作するのかがわからず、1人で作業をすることができずにいたので、今回のセミナーのお陰で大きな一歩を踏み出すことができました。
- ◆講師の指導が大変分かりやすく、参考になりました。学び始める前の不安が軽くなりました。
- ◆プログラム、機械操作の両方をまとめて学べました。



※人材開発支援助成金の「人材育成支援コース」に該当します。
※本コースは、「NC旋盤プログラミング技術(2日間)」と「NC旋盤加工技術(2日間)」のセットコース(4日間)となります。

NC工作機械

マシニングセンタプログラミング技術

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	4日	24時間	9:10~16:00(6時間×4日間)	19,500円

マシニングセンタのプログラム作成から段取り、加工までを習得するコース

コース概要

マシニングセンタのプログラミングを習得するコースです。
演習課題を行うことでNCプログラムの理解を深めます。

また、プログラム作成から加工までの一連の流れを習得し、より深くプログラムを理解していただくことを目的としています。

- ◆プログラミングに関する知識
- ◆直線補間、円弧補間
- ◆各種補正機能(ワーク、工具長、工具径)
- ◆固定サイクル、プログラム作成演習
- ◆段取り加工

対象者

マシニングセンタに興味がある方
またはマシニングセンタ加工に従事しようとする方

持参品

筆記用具、作業服、作業帽、安全靴、保護めがね

使用機器

マシニングセンタ
(静岡鐵工所HSR-7Ⅱ制御装置FANUC31i B5)

担当講師(予定)

ポリテクセンター千葉

コース番号

日程

M1701	7/28(火)、7/29(水)、7/30(木)、 7/31(金)
M1702	11/10(火)、11/11(水)、11/12(木)、 11/13(金)

受講者の声

- ◆今まで独学で覚えてきたのですが、このセミナーでは、Gコードの意味や動きについてしっかりと説明してもらえたので、詳しく学ぶことができました。
- ◆Fusion360等、ソフト側で出力したGコードを見ていたが、一からGコードを作成する手順を知れて良かったです。他の現場作業者との知識ギャップを埋められました。
- ◆忘れていた知識を復習でき、新たに実習を通して理解を深めることができました。



※人材開発支援助成金の「人材育成支援コース」に該当します。
※本コースは、「マシニングセンタプログラミング技術(2日間)」と「マシニングセンタ加工技術(2日間)」のセットコース(4日間)となります。

計測・測定

精密測定技術

受講申込メールアドレス▶chiba-poly02@jeed.go.jp

コースのお問合わせ先▶043-422-4622

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
8名	2日	12時間	9:10~16:00(6時間×2日間)	11,500円

測定に関する知識とノギス・マイクロメータなどの長さ測定器の取扱いを習得するコース

コース概要

測定に関する知識やノギス・マイクロメータ・ダイヤルゲージなどの代表的な長さ測定器の正しい取り扱いなどを学び、信頼性の高い測定をする場合に必要な知識や技能を習得します。

- ◆測定の重要性
- ◆測定誤差の原因
- ◆測定器の正しい取扱い
- ◆各種測定器を用いた測定実習

対象者

これから測定・検査業務に携わる方
または加工・製造の過程で測定を行う方

持参品

筆記用具

使用機器

ノギス、マイクロメータ、ダイヤルゲージ等

担当講師(予定)

ポリテクセンター千葉

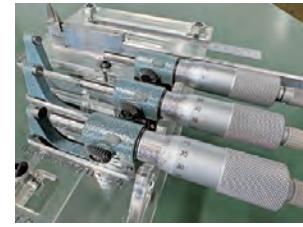
コース番号

日程

M1901	5/26(火)、5/27(水)
M1902	7/16(木)、7/17(金)
M1903	10/22(木)、10/23(金)
M1904	2027年 1/14(木)、1/15(金)

受講者の声

- ◆測定に関しては、OJTの研修だけだったので、それら技術の伝承となったときに難しいと感じていたが、今回のコースでいろいろなポイントをどのように伝えていくかも学ぶことができました。
- ◆会社で進めているIATFにとても役立つセミナーでした。
- ◆検査員の測定するデータを扱う身として、それらがどのように得られているか、実践することにより理解することができて良かったです。



※人材開発支援助成金の「人材育成支援コース」に該当します。

計測・測定

三次元測定技術

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
6名	3日	18時間	9:10~16:00(6時間×3日間)	19,500円

三次元測定(寸法測定)に関する知識および取り扱いを習得するコース

コース概要

三次元測定に関する知識や取り扱いなどを学びます。誤差の一例を提示することで、信頼性の高い測定を行うために必要な知識や技能を習得します。

- ◆測定の重要性、三次元測定概論
- ◆各種測定(線測定、円測定、面測定等)
- ◆座標系設定
- ◆測定誤差の要因の例
- ◆三次元測定実習(寸法測定)

対象者

これから三次元測定業務に携わる方
または製造過程で三次元測定機を使用される方

持参品

筆記用具

使用機器

三次元測定機
(ミツトヨCRYSTA-ApexS574 Geopak V.5.2)

担当講師(予定)

ポリテクセンター千葉

コース番号

日程

M2001	2027年 1/5(火)、1/6(水)、1/7(木)
-------	----------------------------

受講者の声

- ◆社内に三次元測定機はあるが、使用されておらず宝の持ち腐れになっているので、それを有効活用できると考えています。
- ◆図面の見方に疎い所があったが測定を通して総合的に学べて大変勉強になりました。
- ◆測定データの活かし方を知らなかったので、新しい視点を教わりました。



※人材開発支援助成金の「人材育成支援コース」に該当します。



機械保全

生産現場の機械保全技術

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:10~16:00(6時間×2日間)	14,000円

工具の取り扱い方や組立調整の仕方、空気圧機器の点検を習得するコース

コース概要

設備点検や組付けなどに必要となる、ねじの締結方法や工具の正しい取り扱い方、機器を組付ける際の点検ポイントについて、実習を通じて習得します。

- ◆各種締結工具の安全な取り扱い
(ドライバ、六角レンチ、スパナなど)
- ◆巻きかけベルト(Vベルトやチェーン)の取り扱いと適切な調整方法
- ◆空気圧機器の点検箇所
- ◆エア漏れ箇所の改善方法

対象者

設備の管理・保守に携わる方

持参品

筆記用具、作業服、作業帽、安全靴

使用機器

締結工具(各種工具)、Vベルト、チェーン、グリスガン(グリス注油)、空気圧機器

担当講師(予定)

ポリテクセンター千葉

コース番号 日 程

M2101 5/12(火)、5/13(水)

M2102 8/5(水)、8/6(木)

M2103 12/16(水)、12/17(木)

受講者の声

- ◆とてもわかりやすい内容で、工具は点検からが重要だとわかった。ここで習ったことを職場でも役立てたい。



※人材開発支援助成金の「人材育成支援コース」に該当します。

機械保全

油圧機器の取り扱いと調整

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:10~16:00(6時間×2日間)	13,000円

基礎知識から実機制御回路の動作特性までのスキルを習得するコース

コース概要

油圧システムを安全に運用するために、図記号の理解、機器の取り扱いや調整方法について実習を通じて習得します。

- ◆油圧回路の図記号と回路構成
- ◆油圧機器の構造と作動原理
- ◆機器の取り扱いと調整方法
- ◆配管接続実習による回路構成の確認
- ◆油圧機器(研削盤など)の回路構成の理解

コース番号 日 程

M2201 6/3(水)、6/4(木)

M2202 8/18(火)、8/19(水)

M2203 12/9(水)、12/10(木)

受講者の声

- ◆油圧回路の読み方や、各機器をつなげていく上でのルールなど理解が深まりました。
- ◆油圧機器の扱いは、業務上長く行っていたが、それぞれの役割や回路記号の意味はよく分からぬままだったので、日々の作業の質を上げるきっかけとなる良い機会でした。
- ◆油圧回路の読み方や、各機器をつなげていく上でのルールなど理解が深まりました。



※人材開発支援助成金の「人材育成支援コース」に該当します。

対象者

油圧設備の管理・保守に携わる方

持参品

筆記用具、作業服、作業帽、安全靴

使用機器

油圧機器、油圧トレーニング装置

担当講師(予定)

ポリテクセンター千葉

溶接・熱処理技術

被覆アーク溶接技能クリニック

被覆アーク溶接の技能を習得するコース

コース概要

被覆アーク溶接の基本的な座学と水平すみ肉溶接・突合せ溶接などの実技作業を行います。溶接後の材料に対しては溶け込みを調べるマクロ検査や突合せ溶接部に対する曲げ試験(板厚9mm及び3.2mmに対応)を実施して溶接部の品質を確認し、受講者の疑問の解消や課題解決を目指します。

- ◆被覆アーク溶接法と機器
- ◆溶接棒の種類と特徴
- ◆溶接施工法
- ◆溶接欠陥とその対策

対象者

アーク溶接作業にこれから従事する方、または現在従事している方

持参品

筆記用具、作業服、安全靴、作業帽(ヘルメット可)、保護めがね、保護具(溶接面、防塵マスク、前掛け、革手袋等)
※保護具は、貸出用の準備もあります。

使用機器

交流アーク溶接機、安全保護具、器具一式

担当講師(予定)

ポリテクセンター千葉

受講申込メールアドレス▶chiba-poly02@jeed.go.jp

コースのお問合せ先▶043-422-4622

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:10~16:00(6時間×2日間)	12,000円

コース番号	日程
W0101	7/2(木)、7/3(金)

受講者の声

- ◆業務でアーク溶接を使用する場面があるので、その時に役立つと思いました。
- ◆先輩が現場で作業していることの理解を深めることができ、職場で活かせると思いました。
- ◆アーク溶接の知識が深まり、改善活動に活かすことが出来ます。



※人材開発支援助成金の「人材育成支援コース」に該当します。

溶接・熱処理技術

半自動アーク溶接技能クリニック

半自動アーク溶接の技能を習得するコース

コース概要

半自動アーク溶接の基本的な座学と水平すみ肉溶接・突合せ溶接などの実技作業を行います。溶接後の材料に対しては溶け込みを調べるマクロ検査や突合せ溶接部に対する曲げ試験(板厚9mm及び3.2mmに対応)を実施して溶接部の品質を確認し、受講者の疑問の解消や課題解決を目指します。

- ◆各種溶接法の特徴
- ◆ワイヤの知識(種類、特徴)、安全の知識
- ◆電流・電圧条件の設定、トーチ操作
- ◆下向き溶接、水平すみ肉溶接(T継手)
- ◆施工上のポイント

対象者

半自動アーク溶接作業にこれから従事する方、または現在従事している方

持参品

筆記用具、作業服、安全靴、作業帽(ヘルメット可)、保護具(溶接面、防塵マスク、前掛け、革手袋等)
※保護具は、貸出用の準備もあります。

使用機器

半自動アーク溶接機、安全保護具、器具一式

担当講師(予定)

ポリテクセンター千葉

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:10~16:00(6時間×2日間)	14,000円

コース番号	日程
W0201	6/8(月)、6/9(火)
W0202	12/3(木)、12/4(金)

受講者の声

- ◆今まで独学に近いかたちで学習していたので、体系的に学べたので勉強になりました。
- ◆会社では簡潔に説明を受けただけなので、1から100まで細かく知ることが出来ました。



※人材開発支援助成金の「人材育成支援コース」に該当します。



溶接・熱処理技術

TIG溶接技能クリニック

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:10~16:00(6時間×2日間)	13,500円

TIG溶接の技能を習得するコース

コース概要

TIG溶接の基本的な座学と各種すみ肉溶接・突合せ溶接などの実技作業を行います。
実技作業では主に薄板(板厚1mm~3mm)を取り扱い、各種の溶接条件の説明や溶接後の突合せ溶接部に対する曲げ試験(板厚3mmに対応)を行い、受講者の疑問の解消や課題解決を目指します。

- ◆TIG溶接機の機能
- ◆電極の知識、安全の知識
- ◆ステンレス鋼の知識
- ◆電流調整
- ◆下向き溶接、水平すみ肉溶接(T 継手)

対象者

TIG溶接作業にこれから従事する方、
または現在従事している方

持参品

筆記用具、作業服、安全靴、作業帽(ヘルメット不可)、
保護具(溶接面、防塵マスク、前掛け、革手袋等)
※保護具は、貸出用の準備もあります。

使用機器

TIG溶接機、安全保護具、器工具一式

担当講師(予定)

ポリテクセンター千葉

コース番号	日程
W0301	6/23(火)、6/24(水)
W0302	12/22(火)、12/23(水)

受講者の声

- ◆今まで何となくでやっていたTIGだが、講習で細かなことを教わり知識が深まりました。
- ◆「こういった場合はどうやればいいんだろう?」という場面が現場で多々あり、かなり困っていましたが、今回のセミナーでそれを払拭できました。



※人材開発支援助成金の「人材育成支援コース」に該当します。

溶接・熱処理技術

金属材料の熱処理技術

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	3日	18時間	9:10~16:00(6時間×3日間)	14,500円

代表的な熱処理法を習得するコース

コース概要

熱処理工程の最適化をめざして、各種熱処理技術に必要な鉄鋼材料の知識及び熱処理後に発生する割れなどのトラブルの解決法を習得します。

- ◆熱処理の概論
- ◆平衡状態図の見方・使い方
- ◆各種材料の機械的性質
- ◆鉄鋼材料の熱処理
- ◆材料の硬さ試験
- ◆材料の組織の観察

対象者

機械設計・各種熱処理作業に従事している方

持参品

筆記用具、作業服、安全靴、作業帽(ヘルメット可)

使用機器

電気炉、金属顕微鏡、硬さ試験機

担当講師(予定)

ポリテクセンター千葉

コース番号	日程
W0401	10/28(水)、10/29(木)、10/30(金)

受講者の声

- ◆学生の時に習ったことや忘れていたことについて、実際に実技等があったことで納得することができた。
- ◆同じ材料でも熱処理の仕方で様々な用途に変化することが分かりました。
- ◆焼入れも実際に行うケースがあるので自信がつきました。



※人材開発支援助成金の「人材育成支援コース」に該当します。

溶接・熱処理技術

溶接・品質管理技術に活かす浸透探傷

受講申込メールアドレス▶chiba-poly02@jeed.go.jp

コースのお問合せ先▶043-422-4622

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
6名	2日	14時間	9:10~17:00(7時間×2日間)	16,500円

浸透探傷試験を習得するコース

コース概要

溶接・検査の技能高度化をめざして、浸透探傷技術を理解し、課題を通して溶接・検査の技術を補い、実際に起これり得る品質上の問題点の把握及び解決手法を習得します。

- ◆非破壊検査の概要
- ◆溶剤除去性浸透探傷試験
- ◆水洗性浸透探傷試験
- ◆後乳化性浸透探傷試験

※非破壊試験技術者資格試験の受験申請に必要な訓練時間には含まれません。

対象者

溶接・検査作業にこれから従事する方、または現在従事している方

持参品

筆記用具、作業服

使用機器

各種浸透探傷剤、対比試験片、各種計測器等

担当講師(予定)

ポリテクセンター千葉

コース番号	日程
W0501	2027年 1/6(水)、1/7(木)

受講者の声

- ◆経験として持っていた知識を理論的に指導することができそうです。
- ◆検査業務が発生した場合の試験方法の選択肢を増やすことができました。
- ◆PTの試験方法がわかり、会社でも行えると思います。



※人材開発支援助成金の「人材育成支援コース」に該当します。

溶接・熱処理技術

設計・施工管理に活かす溶接技術

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:10~16:00(6時間×2日間)	11,000円

設計に必要な溶接に関する知識を習得するコース

コース概要

座学による溶接関連知識の習得、及び溶接の実体験を通じて溶接技術の要点を理解し、適切な設計、溶接指示、トラブル対処、品質改善などができる技術を習得します。

- ◆溶接法及び溶接機器
- ◆金属材料の溶接性ならびに溶接部の特徴
- ◆溶接構造の力学と設計
- ◆溶接施工実習

対象者

溶接・検査作業にこれから従事する方、または現在従事している方

持参品

筆記用具、作業服、安全靴、作業帽(ヘルメット可)、保護めがね、保護具(溶接面、防塵マスク、前掛け、革手袋等)
※保護具は、貸出用の準備もあります。

使用機器

交流アーケ溶接機、半自動アーケ溶接機、TIG溶接機

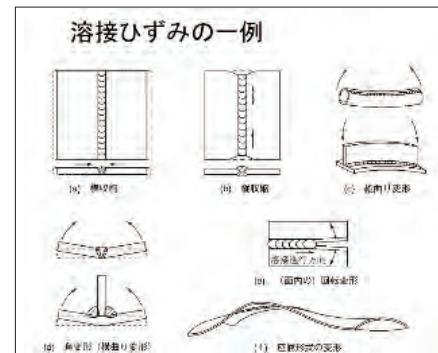
担当講師(予定)

ポリテクセンター千葉

コース番号	日程
W0601	10/6(火)、10/7(水)

受講者の声

- ◆今まで以上に溶接を意識したものを設計できそうです。
- ◆強度の計算方法がエクセルに組み込まれている場合があり、根拠が分からなかったが、明確になりました。
- ◆溶接の割れ、許容の計算など修得できました。溶接品質の確保のヒントが得られました。



※人材開発支援助成金の「人材育成支援コース」に該当します。

電気保全・保守点検

受付状況の確認はWebサイト▶

ポリテクセンター千葉

検索



機械の電気保全技術

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	14時間	9:10~17:00(7時間×2日間)	9,000円

電気の知識とマグネットやサーマルの使い方を習得するコース

コース概要

電気や電気保全に関する用語の解説と電磁接触器(MC:マグネット)や熱動継電器(THR:サーマルリレー)の使い方を習得し、機械を動かすための電気の配線を学びます。実際に基本的な電動機(モーター)の運転回路を作成して動作させます。
※機械設備に関する内容ではありません。

- ◆直流、交流、電圧、電流、抵抗、電力、力率、短絡、漏電、接地、単相、三相など用語の解説
- ◆ブレーカー、漏電遮断器などの保護装置の種類
- ◆シーケンス図(展開接続図)の読み方、書き方
- ◆マーク(a)接点、マーク(b)接点の動作
- ◆MC、THR、BSなど各種制御機器の構造と動作原理
- ◆裸圧着端子、ワイヤーストリッパ、圧着工具の使い方
- ◆シーケンス制御回路の配線と動作確認

対象者

これからシーケンス制御や電気設備を担当する方

持参品

筆記用具

使用機器

電磁接触器、熱動継電器、タイマー、押しボタンスイッチ、表示灯、テスター、圧着工具、ワイヤーストリッパ等

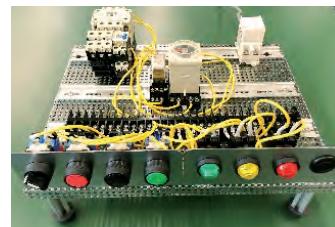
担当講師(予定)

ポリテクセンター千葉

コース番号	日程
E0101	4/15(水)、4/16(木)
E0102	5/20(水)、5/21(木)
E0103	7/8(水)、7/9(木)
E0104	8/4(火)、8/5(水)
E0105	10/7(水)、10/8(木)

受講者の声

- ◆設備のメンテナンス時に分からぬことが多い多かったので、今回の受講で学んだことを活かせば、前よりも早くメンテナンスができ、稼働率が良くなります。
- ◆我流で行っていた作業の裏付けになったり、足りていない知識の補填になりました。
- ◆メンテナンス業務で主に機械的な部分を行っていたが、電気の部分も出来るようになれそうです。



※人材開発支援助成金の「人材育成支援コース」に該当します。

電気保全・保守点検

シーケンス制御による電動機制御技術

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:10~16:00(6時間×2日間)	8,000円

電気・設備担当者のためのシーケンス制御

コース概要

電磁開閉器を使った制御回路について、各機器の使い方、シーケンス図(展開接続図)の読み方、基本回路の動作を理解し、配線を行います。実習では実際に電動機の制御回路を作成して動作させます。

- ◆シーケンス図の読み方と書き方
- ◆ON-OFF、AND、OR回路
- ◆自己保持回路、インターロック回路
- ◆タイマーの使い方と基本回路
- ◆断線やリレーの故障を見つける方法

対象者

シーケンス図の読み方、配線方法とマグネットやリレー、タイマーを使った実際の制御回路を学びたい方

持参品

筆記用具

使用機器

電磁接触器、熱動継電器、タイマー、押しボタンスイッチ、表示灯、テスター、圧着工具、ワイヤーストリッパ等

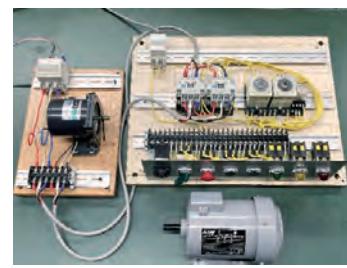
担当講師(予定)

ポリテクセンター千葉

コース番号	日程
E0801	4/22(水)、4/23(木)
E0802	7/22(水)、7/23(木)
E0803	10/21(水)、10/22(木)
E0804	11/25(水)、11/26(木)

受講者の声

- ◆非常にわかりやすく教えてくださったので、理解度が深まりました。実際に回路を組んだり、基本はこうだけど、現場ではこうやる等の知識も教えていただいたため、大変参考になりました。シーケンスを学びたい人がいたら、ぜひオススメしたいと思いました。
- ◆生産設備の修理・メンテナンスに必要な知識を学べました。



※人材開発支援助成金の「人材育成支援コース」に該当します。

電気保全・保守点検

低圧電気設備の保守点検技術

受講申込メールアドレス▶chiba-poly02@jeed.go.jp

コースのお問合わせ先▶043-422-4622

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:10~16:00(6時間×2日間)	8,000円

測定器の使い方と測定法を習得するコース

コース概要

検電器、テスター、クランプメーター、絶縁抵抗計(メガー)などの各種測定器を使って分電盤の点検・測定実習を行います。測定器の使い方、実際の測定方法、測定のコツを解説します。1人につき1台の分電盤と測定器を用意していますので、実機に触りながら測定の練習ができます。

- ◆検電器を使った検電
- ◆テスターを使ったケーブル断線の確認
- ◆テスターを使った電圧測定
- ◆クランプメーターを使った負荷電流測定
- ◆リーグクランプメーターを使った漏れ電流測定
- ◆メガーを使った絶縁抵抗測定

対象者

電気設備の点検や測定の業務を行う方、または今後行う予定の方

持参品

筆記用具 ※普段使用している測定器を持参しても差し支えありません

使用機器

電灯用単相分電盤、検電器、テスター、リーグクランプメーター、絶縁抵抗計

担当講師(予定)

ポリテクセンター千葉

コース番号

日程

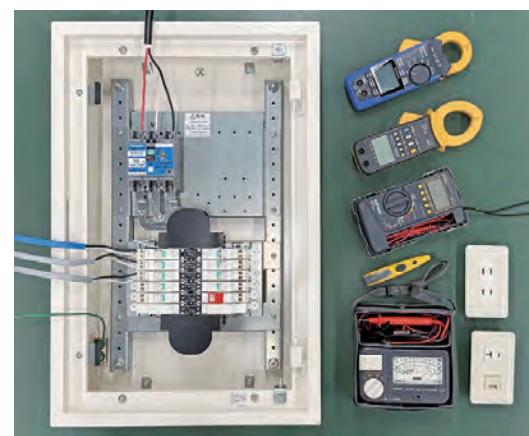
E0301 6/24(水)、6/25(木)

E0302 8/26(水)、8/27(木)

E0303 12/9(水)、12/10(木)

受講者の声

- ◆講義が具体的でわかりやすい。又、現場のノウハウを教えてくれたのは貴重。



※人材開発支援助成金の「人材育成支援コース」に該当します。

電気保全・保守点検

白家用電気工作物の高圧機器技術

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:10~16:00(6時間×2日間)	8,000円

キュービクルの仕組みや高圧機器の操作法を習得するコース

コース概要

高圧受変電設備の構成と单線結線図(スケルトン図)の読み方、高圧機器の操作法と点検のポイントを習得します。

- ◆高圧受変電設備单線結線図(スケルトン図)
- ◆高圧機器の操作法と点検のポイント
スイッチ・遮断器類(PAS、LBS、VCB、DS)
変圧・変流器類(T、VT、CT、ZCT)
その他高圧機器類(SC、SR、LA)
保護繼電器類(OCR、GR、DGR)
- ◆高圧絶縁抵抗測定(E方式・G方式)
- ◆絶縁耐力試験

対象者

高圧受電設備の知識がなく、これからキュービクルの点検に携わる方

持参品

筆記用具

使用機器

実習用キュービクル、各種測定器

担当講師(予定)

ポリテクセンター千葉

コース番号

日程

E0401 2027年 1/20(水)、1/21(木)

受講者の声

- ◆理論的な事と実践的な事が両方分かった。
- ◆理解が不十分だった部分や新たに得られた知識などが多く、充実した2日間でした。
- ◆電気管理技術者を目指している初心者なので、大変有益でした。



※人材開発支援助成金の「人材育成支援コース」に該当します。



電気保全・保守点検

保護継電器の評価と保護協調

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:10~16:00(6時間×2日間)	8,000円

高圧受変電設備で使用される保護継電器の試験法を習得するコース

コース概要

保護継電器試験(リレー試験)を習得したい方のためのコースです。継電器試験器の使い方と代表的な継電器の試験法を習得します。

- ◆高圧受変電設備の保護継電器の概要
- ◆動作特性試験実習 ◆OCR(OMRON、三菱)
- ◆GR(OMRON、三菱) ◆DGR(三菱)、UVR(三菱)
- ◆継電器試験器の使い方
- ◆VCBとOCRの連動試験
- ◆方向性PAS・SOGの動作試験

対象者

高圧受電設備の知識があり、電気主任技術者や電気管理技術者を目指されている方、継電器や継電器試験を学びたい方

持参品

筆記用具

使用機器

実習用キュービクル、高圧用保護継電器、継電器試験器、位相特性試験器

担当講師(予定)

ポリテクセンター千葉

コース番号

日程

E0601 9/9(水)、9/10(木)

E0602 12/16(水)、12/17(木)

受講者の声

- ◆試験機の操作練習時間が多く、勉強になりました。
- ◆高圧の保護協調の測定方法が理解できてよかったです。
- ◆測定の原理、回路図が読めるようになってよかったです。



※人材開発支援助成金の「人材育成支援コース」に該当します。

電気保全・保守点検

高圧電気設備の保守点検技術

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:10~16:00(6時間×2日間)	8,500円

高圧受変電設備の保全管理実務を習得する総合的なコース

コース概要

高圧受変電設備のほか、太陽光発電設備特有の保全技術を実習により習得します。

- ◆事故の要因とその現象、最近の事故例
- ◆VCBとOCRの連動試験
- ◆方向性PAS・SOGの動作試験
- ◆方向性UGS・SOGの動作試験
- ◆太陽光発電の使用前自己確認
(RPR試験、負荷遮断試験等)

対象者

高圧受変電設備の保守管理をされている方、電気主任技術者や電気管理技術者を目指されている方

持参品

筆記用具

使用機器

実習用キュービクル、各種保護継電器、PAS・UGS試験器

担当講師(予定)

公益社団法人 東京電気管理技術者協会 鈴 裕之 氏

コース番号

日程

E0701 7/13(月)、7/14(火)

E0702 11/17(火)、11/18(水)

E0703 2027年 2/16(火)、2/17(水)

受講者の声

- ◆RPRのリレー試験は初めて知ったので、大変勉強になりました。
- ◆RPRの使い方を学ぶことが出来たのが良かったです。
- ◆現場を模擬した実験をやりながら、授業してくださいさったので、最後まで楽しみながら授業を受けることができました。



※人材開発支援助成金の「人材育成支援コース」に該当します。

電気保全・保守点検

実践的PLC制御技術

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:10~16:00(6時間×2日間)	8,000円

PLCの使い方と配線を習得し、コンベアの制御回路を作るコース

コース概要

PLCとラダープログラム使ってベルトコンベアの制御回路を作るコースです。PLCの基礎知識や配線方法を学び、基本的なラダープログラムの作成を行います。実際にベルトコンベアの制御回路を作って動かします。使用するのは、三菱電機のPLC FX3G、GX-Works2と技能検定[シーケンス制御作業]でも使用される作業盤です。

- ◆PLCの使い方
- ◆ラダー図の読み方、ラダープログラムの書き方
- ◆入出力の割付と配線
- ◆ベルトコンベアの制御プログラム

対象者

PLCを使ったことがない方、これからラダープログラムを勉強する方

持参品

筆記用具

使用機器

FX3G、GX-Works2、シーケンス制御作業盤、工具等

担当講師(予定)

ポリテクセンター千葉

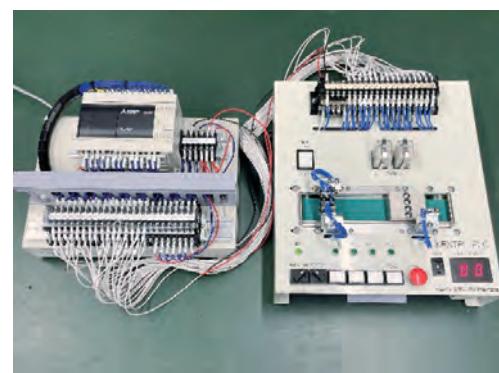
コース番号

日程

E0901 12/23(水)、12/24(木)

受講者の声

- ◆シーケンス制御を深く理解できたことで、現場での不具合対応に役立てます。
- ◆職場の既存の装置が非常に古いが、更改の際は、問題等の議論が出来そうです。
- ◆生産技術の仕事に活用できます。



※人材開発支援助成金の「人材育成支援コース」に該当します。

電気保全・保守点検

電気系保全実践技術

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:10~16:00(6時間×2日間)	10,500円

シーケンス制御機器の保全技術について実習を通して習得するコース

コース概要

シーケンス制御機器(リレー、タイマ)の保全技術、復旧作業について、配線作業・点検作業等の実習を通して習得します。

- ◆シーケンス制御回路の概要
- ◆リレー、タイマの良否判定
- ◆タイムチャートによる回路作成、変更
- ◆回路計の使用方法と制御回路の故障の発見とその復旧

対象者

「機械の電気保全技術」または「シーケンス制御による電動機制御技術」を受講された方、または同等の知識をお持ちの方

持参品

筆記用具

使用機器

シーケンス制御実習装置、テスタ、工具等

担当講師(予定)

ポリテクセンター千葉

コース番号

日程

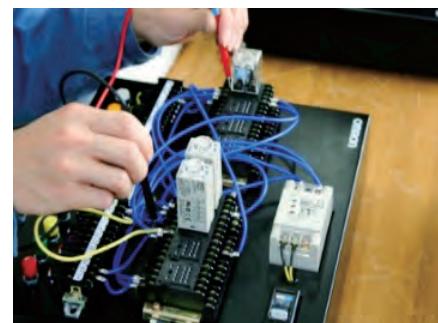
E1001 8/26(水)、8/27(木)

E1002 10/21(水)、10/22(木)

E1003 2027年 2/24(水)、2/25(木)

受講者の声

- ◆従業員教育を行う上で知識を深めることができた。



※人材開発支援助成金の「特定訓練コース」に該当します。



セミナー一覧

受講フロー

機械系

電気・電子系

居住系

生産管理系

Q & A

受講取消
受講者変更
履歴

各種ご案内



制御技術

PLC制御の回路技術(三菱Q編)

受講申込メールアドレス▶chiba-poly02@jeed.go.jp

コースのお問合わせ先▶043-422-4622

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:10~16:00(6時間×2日間)	9,500円

PLCの入出力機器配線からラダープログラミングまで、実習を通して習得するコース

コース概要

実習を通してPLCを扱う上での配線方法やラダープログラミング等を習得します。

- ◆PLCの概要とシステム構成
- ◆PLCと入出力機器(スイッチ、ランプ等)の接続方法
- ◆ラダーサポートソフトによるプログラミング方法
- ◆基本命令を使ったプログラミング
(タイマ回路、カウンタ回路など)

対象者

「機械の電気保全技術」または「実践的PLC制御技術」を受講された方、または有接点シーケンスの知識を有し、これからPLCを扱った業務に携わる方

持参品

筆記用具

使用機器

三菱PLC(Q02)、ラダーサポートソフト(GX Works2)、入出力機器(スイッチ、ランプ等)、工具等、パソコン

担当講師(予定)

ポリテクセンター千葉

コース番号

日程

E1101 4/15(水)、4/16(木)

E1102 10/7(水)、10/8(木)

E1103 11/11(水)、11/12(木)

受講者の声

- ◆シーケンス・PLCについて、より知識を付けることができました。
- ◆シーケンスは苦手意識がありましたが、やってみると面白く装置を思い通りに動かす醍醐味があります。
- ◆ラダー図が読めるようになりました。ありがとうございました。



※人材開発支援助成金の「特定訓練コース」に該当します。

制御技術

PLC制御の応用技術
(三菱Q応用編・数値処理)

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:10~16:00(6時間×2日間)	9,000円

応用命令を使用したプログラミングを習得するコース

コース概要

PLCの数値処理命令などを用いた制御技術を習得します。

- ◆数値データの転送命令、比較演算命令、四則演算命令などを活用したシーケンスプログラム
- ◆ディジタルスイッチ、ディジタル表示器とPLCの接続について

対象者

「PLC制御の回路技術(三菱Q編)」を受講された方、または同等の知識をお持ちの方

持参品

筆記用具

使用機器

三菱PLC(Q02)、ラダーサポートソフト(GX Works2)、ディジタルスイッチ、ディジタル表示器等、パソコン

担当講師(予定)

ポリテクセンター千葉

コース番号

日程

E1201 4/22(水)、4/23(木)

E1202 11/18(水)、11/19(木)

受講者の声

- ◆なんとなく使っていたPLCがどのように動いているか少し理解ができました。ラダーが少し読めるようになりました。
- ◆自動で動く機械がどういった命令処理をしているのか理解できました。
- ◆PLCで今まで知らなかった機能を学び、身につけることができました。



※人材開発支援助成金の「特定訓練コース」に該当します。



制御技術

PLC制御の応用技術(A/D・D/A変換技術)

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:10~16:00(6時間×2日間)	9,000円

A/D・D/A変換ユニットを用い、PLCによるアナログデータの取り扱い手法を習得するコース

コース概要

PLC制御においてディジタルデータとアナログデータの取り扱いを理解し、特殊ユニットを用いた制御技術を習得します。

- ◆データの取り扱い
- ◆A/D・D/A変換ユニットの概要
- ◆PLCによるA/D・D/A変換プログラミング

対象者

「PLC制御の応用技術(三菱Q応用編・数値処理)」を受講された方、または同等の知識(数値データの取扱い)をお持ちの方

持参品

筆記用具

使用機器

三菱PLC(Q02)、A/D変換ユニット(Q64AD)、D/A変換ユニット(Q64DAN)、アナログ制御機器、パソコン、ラダーサポートソフト(GX Works2)

担当講師(予定)

ポリテクセンター千葉

コース番号

日程

E1301 5/13(水)、5/14(木)

受講者の声

- ◆今までA/D、D/A変換を利用したことがありませんでしたが、仕組み、設定方法を学ぶことができ、今後の業務に活かせそうだと思いました。
- ◆工場内にPLCは多々あるが、何となくわかっているつもりだった動作を理解することができました。
- ◆具体的にA/DまたはD/Aを使用でき、実機で確認できたため。



※人材開発支援助成金の「特定訓練コース」に該当します。

制御技術

PLCプログラミング技術

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	14時間	9:10~17:00(7時間×2日間)	12,500円

模擬自動機を使用して制御方法を習得するコース

コース概要

自動化設備の効率化をめざして、PLC制御の回路設計技術及び稼動ラインのプログラム保守に係る能力を課題を通して習得します。

- ◆概要、プログラミング技法
- ◆安全設計(一時停止、原点復帰、非常停止等の対応)
- ◆自動化プログラミング実習
- ◆動作確認・デバッグ

対象者

「PLC制御の回路技術(三菱Q編)」を受講された方、または同等の知識をお持ちの方

持参品

筆記用具

使用機器

三菱PLC(Q02)、ラダーサポートソフト(GX Works2)、実習装置、パソコン

担当講師(予定)

ポリテクセンター千葉

コース番号

日程

E1401 6/24(水)、6/25(木)

E1402 2027年1/20(水)、1/21(木)

受講者の声

- ◆業務が忙しい先輩に教わるのは難しいし、実際に機器で練習することはできないので、大変にありがとうございました。
- ◆自分でラダーコードを作成し、装置を動かす面白さが身につきました。
- ◆実際にコンベアを動かし、プログラムの間違いが分かり、修正が出来、動くことを確認することで、理解することができました。



※人材開発支援助成金の「特定訓練コース」に該当します。

制御技術

PLCによるタッチパネル活用技術

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:10~16:00(6時間×2日間)	10,000円

タッチパネルの作画方法からタッチパネルの使用方法を実習を通して習得するコース

コース概要

タッチパネルを使用するための知識をタッチパネル画面の作画や設定をしながら学びます。また、実習を通してタッチパネルの画面作成の知識と技術を習得します。

- ◆タッチパネルの概要(システム構成、基本操作)
- ◆タッチパネル画面作成ツールの操作方法
- ◆作画実習(スイッチ、ランプ、数値表示・入力、コメント、アラーム、部品表示)

対象者

PLCの基礎知識をお持ちの方で、これからタッチパネルを扱った業務に携わる方

持参品

筆記用具

使用機器

三菱製タッチパネル、三菱製PLC(Q02)、パソコン、ラダーサポートソフト(GX Works2)、画面作成ツール(GT Designer3)

担当講師(予定)

ポリテクセンター千葉

コース番号

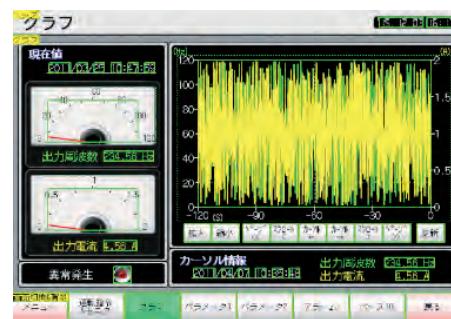
日程

E1501 5/27(水)、5/28(木)

E1502 11/25(水)、11/26(木)

受講者の声

- ◆GOTの扱いについて学ぶことができた。
- ◆独学では知りえない知識が得られました。
- ◆今回の講義を活かして、タッチパネルを使用した設備の設定や作成方法を変更等できると考えました。



※人材開発支援助成金の「特定訓練コース」に該当します。





回路設計技術

トランジスタ回路の設計・評価技術

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:10~16:00(6時間×2日間)	10,500円

トランジスタの特性を理解し、トランジスタ回路の設計方法を習得するコース

コース概要

トランジスタの基本から、トランジスタの特性、データシートの見方、及びトランジスタを用いた回路の設計に必要な知識と技能を習得します。

- ◆トランジスタ回路の用途とトランジスタ増幅回路
- ◆トランジスタの直流電圧電流特性(静特性)
- ◆トランジスタ・スイッチング回路
- ◆スイッチング回路の設計実習
- ◆電流帰還バイアス回路
- ◆MOS-FET回路

対象者

電子機器の回路設計・開発・メンテナンス等に従事する技能・技術者の方

持参品

筆記用具

使用機器

テスター(回路計)、オシロスコープ、ファンクション・ジェネレータ、ブレッドボード等

担当講師(予定)

ポリテクセンター千葉

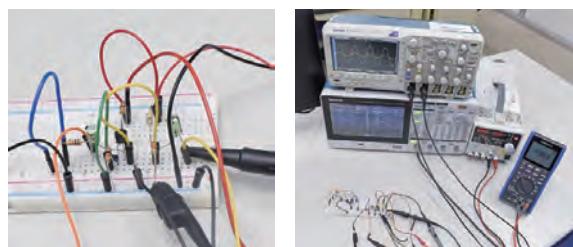
コース番号

日程

E1701 10/15(木)、10/16(金)

受講者の声

- ◆トランジスタの知識と基本的な役割を学ぶことができました。
- ◆なんとなく使っていたトランジスタについて、データシートの見方を知ることが出来ました。
- ◆トランジスタの構造についての理解が深まり、エミッターコレクタで電流が流れる理屈を納得できました。



※人材開発支援助成金の「人材育成支援コース」に該当します。

回路設計技術

オペアンプ回路の設計・評価技術

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:10~16:00(6時間×2日間)	11,500円

オペアンプの特性を理解し、オペアンプ回路の設計方法を習得するコース

コース概要

オペアンプの基本から、オペアンプの特性、データシートの見方、及びオペアンプを用いた増幅回路の設計に必要な知識と技能を習得します。

- ◆オペアンプ回路の用途とオペアンプ増幅回路
- ◆オペアンプの特性とデータシートの見方
- ◆反転増幅回路、非反転増幅回路、ボルテージフォロワ回路
- ◆加算回路、差動増幅回路、電圧比較回路(コンパレータ)・オペアンプ回路設計・製作・測定実習

対象者

電子機器の回路設計・開発・メンテナンス等に従事する技能・技術者の方

持参品

筆記用具

使用機器

テスター(回路計)、オシロスコープ、ファンクション・ジェネレータ、ブレッドボード等

担当講師(予定)

ポリテクセンター千葉

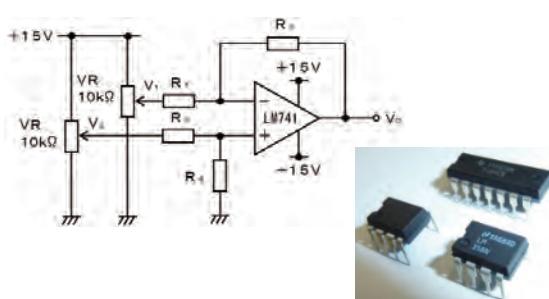
コース番号

日程

E1801 11/25(水)、11/26(木)

受講者の声

- ◆自身の業務(検査装置製作)に活かせそうです。
- ◆自身の課題(回路分析)に役立ちそうです。
- ◆オシロ操作や名称などは知っていたが、仕組みそのものは知らなかった。



※人材開発支援助成金の「人材育成支援コース」に該当します。

回路設計技術

ディジタル回路設計技術

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:10~16:00(6時間×2日間)	10,500円

ディジタルICを用いた論理回路設計技術を習得するコース

コース概要

電子機器の制御や機械の自動制御、通信機などに使用されるディジタル回路の設計方法を学びます。論理回路の設計手順、ディジタルICの特性、組合せ回路、順序回路、計数回路などの知識と技術について演習と実習により習得します。

- ◆論理回路設計(ブール代数、真理値表、論理式、カルノー図)
- ◆ディジタルICの特性(TTL、C-MOS)
- ◆組合せ回路(各種ゲート回路)
- ◆順序回路(フリップフロップ、シフトレジスタ、カウンタ)

対象者

電子機器の回路設計・開発・メンテナンス等に従事する技能・技術者の方

持参品

筆記用具

使用機器

ブレッドボード、ディジタルIC等

担当講師(予定)

ポリテクセンター千葉

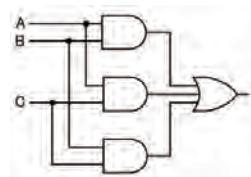
コース番号

日程

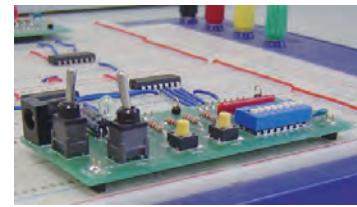
E1901 6/2(火)、6/3(水)

受講者の声

- ◆電子回路・ディジタル回路について、どこから勉強すればよいか迷っていたので、良いキッカケになりました。
- ◆電子回路の知識が身につきました。
- ◆知らない知識も多いため、1から勉強できました。



審査員	判定
A	F
0	0
0	0
0	0
0	0
0	1
1	0
1	0
1	1
1	1



※人材開発支援助成金の「人材育成支援コース」に該当します。

回路設計技術

基板製作に係る鉛フリーはんだ付け技術

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:10~16:00(6時間×2日間)	12,500円

鉛フリーはんだを使用した手はんだ作業の知識、技術を習得するコース

コース概要

鉛フリーはんだを使用した手はんだ作業に必要な知識、はんだ付け作業の実践技術を習得します。

- ◆はんだ付け作業の概要
- ◆共晶はんだと鉛フリーはんだの違い
- ◆鉛フリー手はんだ作業のポイント
- ◆手はんだ付け実習

対象者

これから電子機器の製造・はんだ付け作業に従事される方

持参品

筆記用具

使用機器

各種はんだ付け工具等

担当講師(予定)

ポリテクセンター千葉

コース番号

日程

E2001 5/12(火)、5/13(水)

受講者の声

- ◆技術に合わせて知識も身につけることが出来るよう講義内容が構成されていました。
- ◆試験片に取り付けるセンサーのはんだ付けを独学でやっていたが、教育に参加して、改めて、道具の選定から間違っていたことが分かった！
- ◆はんだ付けの詳しいやり方を習得できました。



※人材開発支援助成金の「人材育成支援コース」に該当します。

ICT

受付状況の確認はWebサイト▶

[ポリテクセンター千葉]

[検索]



製造現場におけるLAN活用技術

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:10~16:00(6時間×2日間)	9,500円

EthernetとTCP/IP(IPv4)によるLANを設定、構築する技術を習得するコース

コース概要

インターネット標準プロトコルであるTCP/IP(IPv4)によるLANを設定、構築するために必要な基礎知識を習得します。またアクセスポイントを用いた無線LANの設定、セキュリティの設定に必要な知識や技術について実習を通じて習得します。

- ◆Ethernet概要、OSI参照モデル概要
- ◆IP (IPv4)、TCP、UDP
- ◆有線LAN設定、構築実習
- ◆無線LAN設定、構築実習

対象者

LAN導入、運用を検討している方

持参品

筆記用具

使用機器

パソコン、SW-HUB、無線LAN、アクセスポイント

担当講師(予定)

ポリテクセンター千葉

コース番号

日程

E2101 6/24(水)、6/25(木)

E2102 12/10(木)、12/11(金)

受講者の声

- ◆今まで不明な所がクリアになりました。業務でも、独学でも手を出す機会が少なかったので良かったです。
- ◆ネットワークの構成、仕組みの概要を理解することができました。
- ◆自社製品の障害対応に役立つことができます。



※人材開発支援助成金の「人材育成支援コース」に該当します。

ICT

ルータによるインターネット接続技術

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:10~16:00(6時間×2日間)	11,000円

Cisco社製ルータによる企業向けLANとインターネット回線との接続技術を習得するコース

コース概要

企業向けインターネット回線への接続に必要なルーティング技術、アクセス制御技術、アドレス変換技術について、Cisco社製ルータを用いた構築実習を通じて習得します。

- ◆Cisco IOSとコマンドによる設定方法
- ◆静态ルーティング、ダイナミックルーティング(RIP)
- ◆ACL(パケットフィルタリング)
- ◆NAT/NAPT(アドレス変換)
- ◆ルータメンテナンス

対象者

「製造現場におけるLAN活用技術」の受講修了者もしくはそれと同等の知識、技能を有する方でLANの構築、運用に携わろうとする方

持参品

筆記用具

使用機器

パソコン、SW-HUB、ルータ(Cisco社製)

担当講師(予定)

ポリテクセンター千葉

コース番号

日程

E2201 8/5(水)、8/6(木)

E2202 2027年1/20(水)、1/21(木)

受講者の声

- ◆これまで断片的に得ていた知識を体系的に整理できました。
- ◆ルータの役割や接続方法の知らない知識を図や実践にて深めることができました。
- ◆ネットワーク構築社内グループの業務が少しは理解できました。今後のコミュニケーションも円滑になると思います。



※人材開発支援助成金の「人材育成支援コース」に該当します。

ICT

VLAN間ルーティング技術

受講申込メールアドレス▶chiba-poly02@jeed.go.jp

コースのお問合せ先▶043-422-4622

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:10~16:00(6時間×2日間)	11,000円

Cisco社製スイッチ及びルータによる企業向けLANの構築技術を習得するコース

コース概要

製造現場や事業所向けのセグメントを分けたLAN構築に必要な知識や技術について、Cisco社製スイッチを用いた構築実習を通じて習得します。また、VLAN環境をルーティングするため必要なスイッチ及びルータの設定技術について習得します。

- ◆VLAN、タギング・スパニングツリー
- ◆VLAN環境ルーティング実習

※ルーティング (RIP) の知識およびCisco社製ルータの基本的な設定方法について、すでに習得済みの方を対象とします。

対象者

「ルータによるインターネット接続技術」の受講修了者もしくはそれと同等の知識・技能を有する方で、LANの構築・運用に携わろうとする方

持参品

筆記用具

使用機器

パソコン、SW-HUB、L3スイッチ (Cisco社製)、ルータ (Cisco社製)

担当講師(予定)

ポリテクセンター千葉

コース番号

日程

E2301 9/15(火)、9/16(水)

E2302 2027年 2/9(火)、2/10(水)

受講者の声

- ◆セキュリティ対応の知識が身につきました。
- ◆VLAN間ルーティングについて、実際にコマンド入力を試しながら学ぶことができました。
- ◆ルータ、ハブの役割が明確に分かるようになりました。



※人材開発支援助成金の「人材育成支援コース」に該当します。

IoT技術

組込み技術者のためのプログラミング
(C言語編)

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:10~16:00(6時間×2日間)	11,000円

C言語によるプログラミングから、実用的なプログラムの開発技術を習得するコース

コース概要

C言語によるプログラム開発で必要となる知識から実用的なプログラムを開発するために必要となる関連知識と技術について、実習を通じて習得します。

- ◆開発環境の知識と構築
- ◆変数とメモリ (RAM/ROM) の知識と活用技術
- ◆制御構造/配列/ポインタの知識と活用技術
- ◆応用実習 (LED制御等)

対象者

これから組込みシステム開発のためにC言語を習得したい方

持参品

筆記用具

使用機器

パソコン、Arduino Uno、Arduino IDE開発環境、その他

担当講師(予定)

ポリテクセンター千葉

コース番号

日程

E2401 4/9(木)、4/10(金)

E2402 7/22(水)、7/23(木)

受講者の声

- ◆従業員にプログラムを習得させるにあたって、概観を掴むことができました。
- ◆C言語の経験はあったが、組み込みとして使用したことではなく、基本的なところの復習から、組み込みで必要な知識を習得できました。
- ◆C言語については独学で学んでいたことも多く、理論的に考えることが出来るようになりました。



※人材開発支援助成金の「人材育成支援コース」に該当します。



IoT技術

マイコン制御システム開発技術
(IoTデバイス編)

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:10~16:00(6時間×2日間)	13,000円

マイコンを使ったIoTデバイス開発技法を習得するコース

コース概要

マイコンのプログラム開発環境を構築、回路図を見ながら周辺回路を製作、アナログセンサからのデータ収集など、IoTデバイスを開発する上で必要な知識・技術を習得します。

使用するマイコンにはArduino互換機(Seeed Studio XIAO ESP32C3)を使用。Arduino IDEによる開発技法を、実習を通して習得します。

- ◆ IoTデバイス概要
- ◆ 開発環境構築
- ◆ マイコン入出力プログラム
- ◆ IoTデバイス開発実習

対象者

マイコンを使ってモノの制御やIoTデバイスの開発を考えている方「組込み技術者のためのプログラミング(C言語編)」を受講された方、または同等のC言語の知識がある方

持参品

筆記用具

使用機器

Seeed Studio XIAO ESP32C3、XIAO Groveシールド、Groveユニット、パソコン、Arduino IDE開発環境

担当講師(予定)

ポリテクセンター千葉

コース番号

日程

E2501 8/18(火)、8/19(水)

E2502 9/29(火)、9/30(水)

受講者の声

- ◆マイコンプログラミングの概略が良く理解できました。
- ◆インターネットでの情報を実際に試せたので、より理解が深まりました。
- ◆説明が分かりやすく、試作などに活用したいと思います。



※人材開発支援助成金の「特定特訓コース」に該当します。

IoT技術

IoTセンサシステム構築技術

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:10~16:00(6時間×2日間)	14,000円

各種センサとマイコンを使って、センサデータを取得・表示する技術を習得するコース

コース概要

製造現場などで使うためのセンサシステム構築実習を通して、IoT通信モジュールの仕様やセンサシステムの構築手法を習得します。

- ◆センサの動作原理と特性
- ◆インターフェース回路
- ◆IoT通信モジュール仕様
- ◆センサシステム構築実習

対象者

マイコンを使ってセンサからのデータを収集するシステムを構築したいと考えている方

「マイコン制御システム開発技術(IoTデバイス編)」を受講された方、または同等の知識がある方

持参品

筆記用具

使用機器

Seeed Studio XIAO ESP32C3、XIAO拡張ボード、センサ類、パソコン、Arduino IDE開発環境

担当講師(予定)

ポリテクセンター千葉

コース番号

日程

E2601 12/16(水)、12/17(木)

受講者の声

- ◆データロガー的な仕様の装置を作りたいため、役に立ちました。
- ◆IoTの概要をイメージすることができました。
- ◆工場の見える化(電力や位置情報の出力)に活かせそうと思いました。



※人材開発支援助成金の「人材育成支援コース」に該当します。

IoT技術

センサを活用した
IoTアプリケーション開発技術

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:10~16:00(6時間×2日間)	12,000円

センサからのデータを送信・蓄積し、データを可視化する技術を習得するコース

コース概要

製造現場などからセンサデータを取得し、インターネット技術を使用してデータを蓄積します。データはクラウドサービスなどをを利用して可視化します。実習を通してIoTアプリケーション開発技術を習得します。

- ◆クラウド技術とIoT
- ◆IoTの活用事例
- ◆センサネットワーク技術
- ◆センサデバイスのデータ活用

対象者

センサから収集したデータを可視化するシステムを構築したいと考えている方
「IoTセンサシステム構築技術」を受講された方、または同等の知識がある方

持参品

筆記用具

使用機器

Seed Studio XIAO ESP32C3、XIAO拡張ボード、センサ類、パソコン、Arduino IDE開発環境

担当講師(予定)

ポリテクセンター千葉

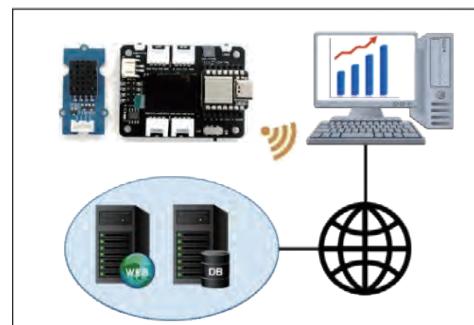
コース番号

日程

E2701 2027年 1/13(水)、1/14(木)

受講者の声

- ◆システムを構築する上で、必要とされるものを知ることができました。
- ◆専門業者に依頼するにあたり、IoTシステムを理解するのに役に立ちました。
- ◆現場の日報や作業内容の入力は手入力のため、正確性に欠けていて可動率を正しく求められながら、センサーを利用すれば入力時間の省略にもなるし、正しいデータが取れると考えました。



※人材開発支援助成金の「人材育成支援コース」に該当します。

IoT技術

組込み技術者のためのプログラミング
(Python編)

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:10~16:00(6時間×2日間)	11,000円

Pythonによるプログラミングから、実用的なプログラムの開発技術を習得するコース

コース概要

Python言語によるプログラム開発で必要となる知識から実用的なプログラムを開発するために必要となる関連知識と技術について、実習を通じて習得します。

- ◆開発環境の知識と構築
- ◆Python言語の特徴
- ◆制御構文による標準I/O制御実習
- ◆応用実習(LED制御等)

対象者

Python言語でのプログラミング技法を習得したい方

持参品

筆記用具

使用機器

パソコン、Python開発環境、Raspberry Pi、その他LED等

担当講師(予定)

ポリテクセンター千葉

コース番号

日程

E2801 4/16(木)、4/17(金)

E2802 7/1(水)、7/2(木)

受講者の声

- ◆今までやろうと思っていたが、手をつけられていなかった。今回、学ぶことができて、とても参考になりました。
- ◆Pythonに興味がわきました。他のセミナーも受けたいです。
- ◆以前から気になっていたPythonでのプログラミングについて知ることができました。



※人材開発支援助成金の「人材育成支援コース」に該当します。



IoT技術

マイコン制御システム開発技術
(Raspberry Pi OS編)

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:10~16:00(6時間×2日間)	12,000円

PythonによるRaspberry Piの活用方法を習得するコース

コース概要

Raspberry Pi OS (Linux)のセットアップとPython言語を用いた入出力デバイスの利用方法を習得します。

- ◆Raspberry Piの概要
- ◆Raspberry Pi OSのセットアップ(初期環境構築)
- ◆PythonによるGPIOデバイスの利用

対象者

「組込み技術者のためのプログラミング(Python編)」を受講された方または同等のプログラミング知識がある方で、Pythonを用いてRaspberry Piを活用したい方

持参品

筆記用具

使用機器

Raspberry Pi、パソコン、Python開発環境、各種入出力デバイス類

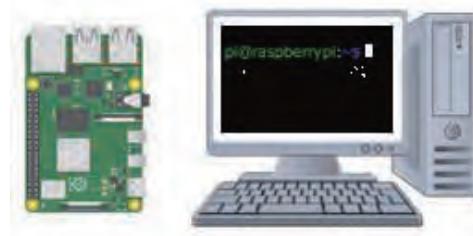
担当講師(予定)

ポリテクセンター千葉

コース番号	日程
E2901	11/18(水)、11/19(木)

受講者の声

- ◆自学ではなかなか取り組めなかったことを効率的に学べました。
- ◆新たな知識につながりました。
- ◆GPIOについて勉強していなかったため、とても参考になりました。



※人材開発支援助成金の「人材育成支援コース」に該当します。

IoT技術

組込みデータベースシステム開発技術

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:10~16:00(6時間×2日間)	12,000円

SQL言語によるデータベースの設定、構築を習得するコース

コース概要

リレーショナルデータベースを操作する言語である標準SQLを習得します。また、データベースを組み込んだシステムを設計・開発する知識や技術について演習を通して習得します。

- ◆データベース概要
- ◆開発環境の構築
- ◆データベース、プログラム(SQL)
- ◆組込みデータベースシステム開発演習

対象者

SQL言語によるRDBMSの運用、管理を検討している方

持参品

筆記用具

使用機器

パソコン、データベース開発環境(MySQL)、マイコンボード(ESP32-DevkitC-32E)

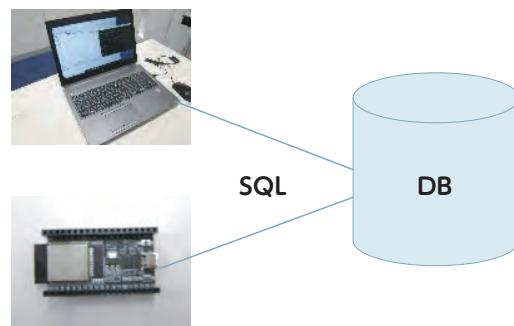
担当講師(予定)

ポリテクセンター千葉

コース番号	日程
E3001	4/27(月)、4/28(火)
E3002	10/28(水)、10/29(木)

受講者の声

- ◆これまで独学でRDBMSを使用してきたので、自分の知識の確認と現在の業務で疑問に思っていたことが解決できそうです。
- ◆初めてからでもデータベースの操作の仕方がよく分かりました。
- ◆会社でも使用しているが、しっかり教わったのは初めてでした。



※人材開発支援助成金の「人材育成支援コース」に該当します。

IoT技術

Webを活用した生産支援システム構築技術
(Python編)

受講申込メールアドレス▶chiba-poly02@jeed.go.jp

コースのお問合わせ先▶043-422-4622

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:10~16:00(6時間×2日間)	12,000円

Python(Flask)を利用したWebアプリケーションの開発手法を習得するコース

コース概要

Python言語によるFlaskフレームワークを用いたWebアプリケーションの開発手法を習得します。

- ◆Flaskの概要とWebページの生成・遷移方法
- ◆Jinja2テンプレートエンジンの利用方法
- ◆フォーム送信と画像アップロード
- ◆SQLiteデータベースとの連携

対象者

「組込み技術者のためのプログラミング(Python編)」を受講された方または同等のプログラミング知識がある方で、PythonにおけるWebアプリケーション開発手法を学びたい方

持参品

筆記用具

使用機器

Raspberry Pi、Python開発環境、Flaskフレームワーク、SQLite3、他

担当講師(予定)

ポリテクセンター千葉

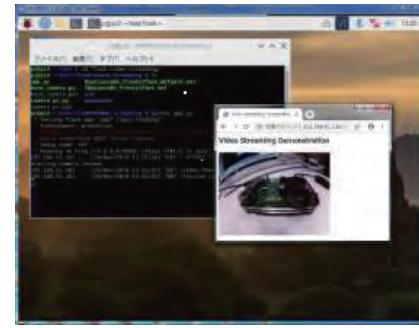
コース番号

日程

E3101	10/21(水)、10/22(木)
-------	-------------------

受講者の声

- ◆現在の試作プログラムに組み込んで利用が可能であると思えます。
- ◆全く知らない知識を習得することができました。



※人材開発支援助成金の「人材育成支援コース」に該当します。

IoT技術

オブジェクト指向による組込みプログラム開発技術(Java言語編)

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	4日	24時間	9:10~16:00(6時間×4日間)	18,500円

Java言語によるオブジェクト指向プログラミングから、プログラムの開発技術を習得するコース

コース概要

オブジェクト指向言語の1つであるJava言語の開発環境構築、文法をプログラム開発実習を通して習得します。

- ◆Java言語の特徴
- ◆開発環境の構築
- ◆Java言語によるプログラム開発
- ◆プログラム開発実習

対象者

Java言語の文法とプログラミング技法を習得したい方

持参品

筆記用具

使用機器

パソコン、統合開発環境

担当講師(予定)

ポリテクセンター千葉

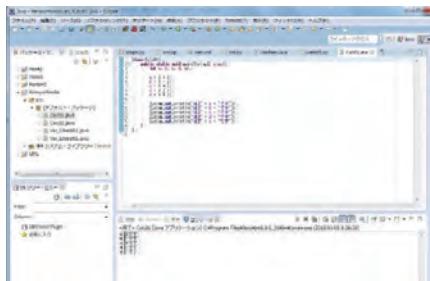
コース番号

日程

E3201	4/21(火)、4/22(水)、4/23(木)、4/24(金)
-------	---------------------------------

受講者の声

- ◆抽象的だったクラスの考え方が深まったのは非常に役に立ちました。
- ◆同じ訓練指導の熟練者の方に指導のポイントを教えて頂けたため。大変役に立ちました。
- ◆サンプルデータもあり、後で復習する際にも分かりやすい内容でした。



※人材開発支援助成金の「人材育成支援コース」に該当します。

※本コースは、「オブジェクト指向による組込みプログラム開発技術(Java言語編)」(2日間)とオブジェクト指向編(2日間)の計4日間のセットコースとなります。



IoT技術

オープンソースプラットフォーム活用技術
(Android/Java言語編)

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:10~16:00(6時間×2日間)	12,000円

Android端末向けアプリケーションの開発手法を習得するコース

コース概要

Android OSを搭載したスマートフォン/タブレット向けのアプリケーションをJava言語を用いて開発する知識や技術について実習を通して習得します。

- ◆Android概要
- ◆開発環境
- ◆アプリ開発の基本構成と実行・デバッグ
- ◆各種画面部品(ビュー)
- ◆スマートフォン/タブレットアプリ開発実習

対象者

Android向けのアプリケーション開発手法を習得したい方

持参品

筆記用具

使用機器

Androidタブレット、パソコン、開発環境(Android Studio)

担当講師(予定)

ポリテクセンター千葉

コース番号

日程

E3401 7/8(水)、7/9(木)

受講者の声

- ◆Android開発について知ることができました。
- ◆自力ではなかなか始めづらいAndroidアプリ開発のトリガーとして分かりやすかったです。
- ◆アプリ開発のよい導入になりました。



※人材開発支援助成金の「人材育成支援コース」に該当します。

IoT技術

オープンソースによる
画像処理・認識プログラム開発

New

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:10~16:00(6時間×2日間)	12,000円

PythonによるOpenCVを活用した画像処理・認識プログラム開発手法を習得するコース

コース概要

実習を通してPython言語によるオープンソース(OpenCV)を活用した画像処理・認識プログラムの開発手法を習得します。

- ◆画像処理・認識、オープンソース(OpenCV)の概要
- ◆画像の幾何学変換、濃度変換、2値化、フィルタ処理
- ◆動画像処理、物体追跡、顔検出、輪郭抽出
- ◆画像処理・認識システム構築実習

対象者

「組込み技術者のためのプログラミング(Python編)」を受講された方または同等のプログラミング知識がある方で、Pythonにおける画像処理・認識プログラム開発手法を学びたい方

持参品

筆記用具

コース番号

日程

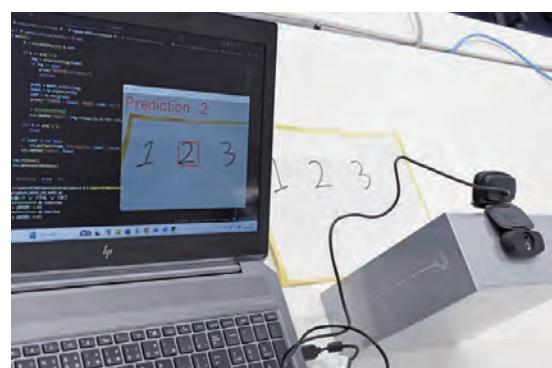
E3501 7/29(水)、7/30(木)

使用機器

パソコン、Python開発環境、USBカメラ、オープンソース(OpenCV)

担当講師(予定)

ポリテクセンター千葉



※人材開発支援助成金の「人材育成支援コース」に該当します。

IoT技術

PLCによる通信システム構築技術
(Python編)

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:10~16:00(6時間×2日間)	10,000円

Raspberry PiからPLCのデータ取得・書込を行う技術を習得するコース

コース概要

PLCを用いた生産設備においてデータ収集や送信、状態監視、遠隔制御などを可能とするRaspberry PiとPLC間の通信手法と、そのために必要なPythonのTCP/IP通信プログラム作成技術を習得します。

- ◆PLCイーサネット通信の概要・設定と通信規格(MCプロトコル)
- ◆PythonによるTCP/IPソケット通信
- ◆接点データ(ビットデバイス)の読み書き
- ◆数値データ(ワードデバイス)の読み書き

対象者

「組込み技術者のためのプログラミング(Python編)」「PLC制御の応用技術(三菱Q応用編・数値処理)」を受講された方、または同等の知識をお持ちの方

持参品

筆記用具

使用機器

Raspberry Pi、パソコン、Python開発環境、三菱PLC(Qシリーズ)、ラダーサポートソフト(GX Works2)

担当講師(予定)

ポリテクセンター千葉

コース番号

日程

E3601 8/20(木)、8/21(金)

E3602 2027年 2/18(木)、2/19(金)

受講者の声

- ◆Pythonとネットワークの知識が深まりました。



※本コースでは、Python言語によりパソコンから三菱製PLC内のデータ取得・書込を行うプログラミング手法を習得します。ラダープログラムの応用命令を用いたPLC側の通信プログラムを作成するコースではありませんのでご注意ください。

※人材開発支援助成金の「人材育成支援コース」に該当します。





建築設備施工

冷媒配管の施工と空調機器据付け技術
(ルームエアコン編)

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:10~16:00(6時間×2日間)	8,500円

効率的なルームエアコン据付け手法を習得するコース

コース概要

ルームエアコンの据付け作業に従事する場合、作業ができるることはもちろんですが、施工不良や環境破壊を未然に防止するためにも冷凍サイクルや冷媒(フルオロカーボン)の特性などを理解しておくことが欠かせません。

本講習ではルームエアコン(壁掛け)の据付け作業を通して、上記内容を実学一体で習得し、効率的な施工方法を習得します。

- ◆冷凍サイクルとフルオロカーボンについて
- ◆壁掛けルームエアコン据付け作業
- ◆冷媒配管加工作業(フレア加工)
- ◆試運転作業(計測)

壁掛け式ルームエアコンを据付けし、試運転・測定後、撤去までの作業を行っていただきます。

対象者

これからルームエアコンの据付け作業に携わる方

持参品

筆記用具 エアコン据付け作業が可能な服装

使用機器

ルームエアコン、フレアツール、ゲージマニホールド、真空ポンプ等

担当講師(予定)

ポリテクセンター千葉

コース番号

日程

H0101 5/18(月)、5/19(火)

H0102 8/27(木)、8/28(金)

H0103 11/9(月)、11/10(火)

H0104 2027年2/8(月)、2/9(火)

受講者の声

- ◆不明な点をすべて解決できたので、価値ある講習会でした。
- ◆大変合理的かつ、丁寧にご教授くださいました。
どんな質問にも丁寧にご回答くださいました。



※人材開発支援助成金の「人材育成支援コース」に該当します。

建築設備施工

冷媒配管の施工と空調機器据付け技術
(パッケージエアコン編)

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:10~16:00(6時間×2日間)	10,500円

パッケージエアコン据付け手法を習得するコース

コース概要

本講習ではパッケージエアコン(天井カセットタイプ)の据付け作業を通して、実学一体で習得し、効率的な施工方法を習得します。

- ◆パッケージエアコン(天井カセットタイプ)据付け作業
- ◆冷媒配管加工作業(フレア加工)
- ◆試運転作業(計測)

エアコンの据付け作業が、未経験の方は、「冷媒配管の施工と空調機器据付け技術(ルームエアコン編)」を先に受講して下さい。

対象者

これからパッケージエアコンの据付け作業に携わる方

持参品

筆記用具 エアコン据付け作業が可能な服装

使用機器

パッケージエアコン、フレアツール、ゲージマニホールド、真空ポンプ等

担当講師(予定)

ポリテクセンター千葉

コース番号

日程

H0201 9/7(月)、9/8(火)

H0202 2027年2/25(木)、2/26(金)

受講者の声

- ◆先生の教え方がうまい!「ちょっと見て!」と声をかけていただけるので、重要な点がわかり、メリハリのある指導を感じました。
- ◆未経験分野の知識を得ることができました。
- ◆冷凍2、3種の勉強をしていて、改めて、実機を見て冷凍サイクルの勉強になりました。



※人材開発支援助成金の「人材育成支援コース」に該当します。

建築設備施工管理

空調熱負荷と空気線図に基づく温熱環境計画手法

温熱環境計画手法を習得するコース

コース概要

空気線図利用実習・空調熱負荷計算を通して温熱環境計画技術を習得します。

- ◆温熱環境概論、空調設備概論
- ◆空気線図の構成(乾球・湿球・露点温度・絶対湿度・比容積・比エンタルピ・顕熱比)
- ◆空気線図上における空気の動き(加熱・冷却・加湿・除湿・空気の混合)
- ◆熱負荷計算法(冷房能力・暖房能力)

対象者

これからビル設備管理に従事しようとする方

持参品

筆記用具

使用機器

空気線図、測定器

担当講師(予定)

ポリテクセンター千葉

受講申込メールアドレス▶chiba-poly02@jeed.go.jp

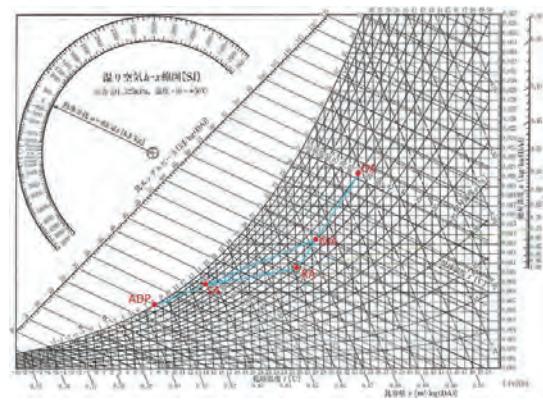
コースのお問合わせ先▶043-422-4622

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:10~16:00(6時間×2日間)	7,500円

コース番号	日程
H0301	9/29(火)、9/30(水)

受講者の声

- ◆空気線図の読み方、機器選定の計算方法が分かりました。省エネに役立てたいです。
- ◆自身の専門は電気ですが、新たに空調の知識も得られました。



※人材開発支援助成金の「人材育成支援コース」に該当します。

建築設備管理

電気設備のための計測技術

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:10~16:00(6時間×2日間)	7,500円

実習を通して電気安全・電気測定技術を習得するコース

コース概要

一般的な電気知識(第二種電気工事士程度)を習得し、電気作業、電気設備の現場作業に必要な安全対策及び測定技術について実習を通して習得します。

◆電気の知識

- (1)工場・ビルなどにおける低圧屋内配線について
- (2)機器の構造(配線用遮断器、漏電遮断器)
- (3)短絡・漏電事故と対策、感電の人体反応と対応策

◆総合実習

- (1)現場における測定実習
(負荷電流測定、漏電電流測定、絶縁抵抗測定)
屋内配線不良個所の検出と対応策
(ケーブル選定、遮断器選定、回路計の活用)

対象者

これから制御技術や建物の電気設備点検に関わる方

【参考】オフィスビルの設備管理職務、工場設備保全職務、電気工事作業職務等

持参品

筆記用具、長袖の作業服、作業帽

使用機器

回路計、絶縁抵抗計、接地抵抗計、クランプメータ、検電器等

担当講師(予定)

ポリテクセンター千葉

コース番号	日程
H0401	4/9(木)、4/10(金)
H0402	7/2(木)、7/3(金)
H0403	10/19(月)、10/20(火)
H0404	2027年1/5(火)、1/6(水)

受講者の声

- ◆電気分野の専門的な技術、知識を学べ、成長につながりました。
- ◆基本的に設備担当者が1人しかいないため、専門的な知識が未熟なため、そこを補う知識・技術が深まりました。
- ◆仕事に直につながる内容でしたので、とてもタメになりました。



※人材開発支援助成金の「人材育成支援コース」に該当します。



建築設備管理

有接点シーケンス制御の実践技術

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:10~16:00(6時間×2日間)	7,500円

シーケンス制御回路の図面の読み方から配線まで、実習を通して習得するコース

コース概要

リレーシーケンス(有接点シーケンス)制御回路を構成する機器の構造やシーケンス図(展開接続図)の見方・書き方、配線方法を学び、タイムチャートからシーケンス図を作成し配線を行います。

- ◆制御機器の種類、構造と選定
- ◆シーケンス図の見方、書き方
- ◆シーケンス制御回路の配線方法
- ◆タイムチャートとシーケンス制御回路設計
- ◆トラブルのない配線をするための工夫

対象者

シーケンス図の読み方とリレーやタイマの使い方を学びたい方

持参品

筆記用具

使用機器

リレー、タイマ、押しボタンスイッチ、表示灯、テスター、工具

担当講師(予定)

ポリテクセンター千葉

コース番号

日程

H0501 7/21(火)、7/22(水)

H0502 10/1(木)、10/2(金)

H0503 2027年1/21(木)、1/22(金)

受講者の声

- ◆生産現場(ライン)でのトラブルから復旧に至るまでの時間短縮に活かせると思います。
- ◆テスターを使ってみることができました。なぜ使うのか分かりました。機械の納入仕様図を作成するにあたり、部品の絶縁抵抗を記す理由が分かりました。
- ◆有接点シーケンスや無接点シーケンスを職場で使用する機会が多く、今回学んだことを活かすことができます。



※人材開発支援助成金の「人材育成支援コース」に該当します。

給排水衛生設備保全

建築設備機器回りの配管施工・保守技術

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	14時間	9:10~17:00(7時間×2日間)	11,000円

鋼管・塩化ビニル管・銅管等の施工技術を習得するコース

コース概要

本講習では一般住宅の給水・給湯設備の配管作業を通して、各種配管の施工技術を習得します。

- ◆材料と工具の確認
- ◆各種継手と接合方法について
- ◆配管作業
- ◆水圧試験

受講生の方々はグループ作業によって施工作業や各種点検作業を行っていただきます。

対象者

これから給水や給湯設備等の施工や保守に携わる方

持参品

筆記用具 作業が可能な服装

使用機器

パイプマシン、ガストーチ、配管工具一式、給湯用ボイラ等

担当講師(予定)

ポリテクセンター千葉

コース番号

日程

H0701 7/27(月)、7/28(火)

H0702 10/29(木)、10/30(金)

受講者の声

- ◆座学だけではなく、実習を行う事でよりわかりやすく自分の身になりました。
- ◆実際にどのように配管されているか分かっていなかったことから、大変役立ちました。
- ◆施工したことのない・触れたことのない管に触り、施工方法を知ることができました。



※人材開発支援助成金の「人材育成支援コース」に該当します。

防災設備保全

自動火災報知設備工事の施工・保守技術

【使用機器:P型2級受信機】

受講申込メールアドレス▶chiba-poly02@jeed.go.jp

コースのお問合せ先▶043-422-4622

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:10~16:00(6時間×2日間)	7,500円

P型2級受信機と感知器等の配線工事や点検試験手法を習得するコース

コース概要

本講習では自動火災報知設備(P型2級受信機、感知器、発信機、ベル)の据付けと配線作業を通して、実学を一体的に学び、施工方法と点検作業を習得します。

- ◆機器の構造役割について
- ◆設置基準と計画について
- ◆配線作業
- ◆各種点検作業

受講生の方々はグループ作業によって施工作業や各種点検作業を行っていただきます。

対象者

これから自動火災報知設備の施工や保守に携わる方

持参品

筆記用具 作業が可能な服装

使用機器

P型2級受信機、感知器、発信機、ベル、表示灯、各種試験機等

担当講師(予定)

ポリテクセンター千葉

コース番号	日程
H0601	8/20(木)、8/21(金)
H0602	11/17(火)、11/18(水)

受講者の声

- ◆実際の機器を使用しての講習は現場ではできないので良かったです。
- ◆現在の消防設備点検の仕事に利用できます。



※人材開発支援助成金の「人材育成支援コース」に該当します。

防災設備保全

自動火災報知設備工事の施工・保守技術

【使用機器:P型1級受信機】

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:10~16:00(6時間×2日間)	10,500円

P型1級受信機と感知器等の配線工事や点検試験手法を習得するコース

コース概要

P型1級受信機、感知器、発信機、ベルの取付と配線作業を通して、自動火災報知設備についての施工方法と点検作業を習得します。

- ◆機器の構造役割について
- ◆設置基準と計画について
- ◆配線作業
- ◆点検作業

受講生の方々はグループ作業にて、施工方法や点検作業を行います。

対象者

これからP型1級受信機を用いた自動火災報知設備の施工・保守に従事される方

持参品

筆記用具 作業が可能な服装

使用機器

P型1級受信機、感知器、総合盤、各種試験機

担当講師(予定)

ポリテクセンター千葉

コース番号	日程
E1601	9/9(水)、9/10(木)
E1602	2027年3/10(水)、3/11(木)

受講者の声

- ◆実際に配線作業等を行うため、体感的に理解が深まります。
- ◆改修工事を多く行うため、どうしても自火報設備がからむことがあるので、トラブル時などに役立つと思いました。
- ◆職場の設備は完成した状態のみしか見れないで、ゼロから組み立てる経験が出来てよかったです。



※人材開発支援助成金の「特定訓練コース」に該当します。



建築設計CAD・BIM

実践建築設計2次元CAD技術

【使用機器: Jw_cad】

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:10~16:00(6時間×2日間)	8,500円

Jw_cadを用いて木造住宅の平面図の作図技術を習得するコース

コース概要

建築設計の効率化・最適化をめざして、建築一般図の作成手法を習得します。

- ◆建築一般図について
- ◆建築図面に用いる用紙、図面尺度と図面範囲設定
- ◆建築図面に用いる線種と線種設定
- ◆建築図面に用いる要素とレイヤー設定
- ◆記号及び寸法と寸法設定
- ◆印刷設定と印刷

対象者

2次元CADによる建築図面作成に関する知識・技術を習得したい方

持参品

筆記用具、テキスト(※注 右記参照)

使用機器

Jw_cad

担当講師(予定)

ポリテクセンター千葉

コース番号

日程

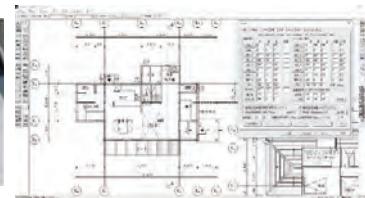
H0801	4/15(水)、4/16(木)
H0802	8/19(水)、8/20(木)
H0803	11/11(水)、11/12(木)
H0804	2027年1/13(水)、1/14(木)

受講者の声

- ◆テキストだけでは分からぬ所が理解できました。
- ◆全く操作の仕方も分からなかったJw_cadの操作が出来るようになりました。
- ◆通常の業務の効率化に繋がると感じました。

※本コースは使用テキストを各自ご持参して頂きます。

●Jw_cadで学ぶ建築製図の基本 [Jw_cad8対応版]
(エクスナレッジ)
ISBN: 9784767823553 定価: 3,300円+税



※人材開発支援助成金の「人材育成支援コース」に該当します。

建築設計CAD・BIM

実践建築設計2次元CAD技術

【使用機器: AutoCAD2024】

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:10~16:00(6時間×2日間)	8,500円

AutoCADを用いて木造住宅の平面図の作図技術を習得するコース

コース概要

建築設計の効率化・最適化をめざして、建築一般図の作成手法を習得します。

- ◆建築一般図について
- ◆2次元CADの概要
- ◆CADの2次元の操作及び各種設定
- ◆CADによる作図(作図、編集、寸法記入等)
- ◆印刷設定と印刷

対象者

2次元CADによる建築図面作成に関する知識・技術を習得したい方

持参品

筆記用具、テキスト(※注 右記参照)

使用機器

AutoCAD 2024

担当講師(予定)

ポリテクセンター千葉

コース番号

日程

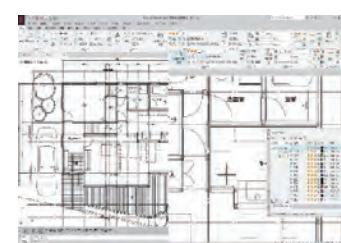
H0901	7/15(水)、7/16(木)
H0902	9/9(水)、9/10(木)
H0903	12/9(水)、12/10(木)

受講者の声

- ◆会社でCADを使うが、見るだけで使い方が分からなかったため、大変役に立ちました。
- ◆質問しやすい雰囲気で学びやすい環境だった。他の建築系コースを受講したいと思う。

※本コースは使用テキストを各自ご持参して頂きます。

●15コマンドでスラスラ描けるAutoCAD LT
【AutoCAD LT2017対応】(エクスナレッジムック)
ISBN: 9784767822327 定価: 2,500円+税



※人材開発支援助成金の「人材育成支援コース」に該当します。

建築設計CAD・BIM

実践建築設計3次元CAD技術

【使用機器:3Dマイホームデザイナー】

受講申込メールアドレス▶chiba-poly02@jeed.go.jp

コースのお問合わせ先▶043-422-4622

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:10~16:00(6時間×2日間)	8,500円

3Dマイホームデザイナーを用いた木造住宅の平面図・3Dパース図の作図技術を習得するコース

コース概要

建築設計の効率化・最適化をめざして、建築図面・3Dパース図の作成手法を習得します。

- ◆3次元CADの概要及び各種設定
- ◆設計条件及び与条件の確認等
- ◆配置・平面図作成・面積等チェック
- ◆断面・立面図・斜線等チェック
- ◆外部・内部の仕上げ材等作成及び検討
- ◆立体化による3Dパース作成

対象者

3次元CADによる建築図面・3Dパース図作成に関する知識・技術を習得したい方

持参品

筆記用具、テキスト(※注 右記参照)

使用機器

3Dマイホームデザイナー pro10

担当講師(予定)

ポリテクセンター千葉

コース番号

日程

H1001 8/26(水)、8/27(木)

H1002 10/14(水)、10/15(木)

受講者の声

- ◆独学で操作していたが、知らなかったことが身についた。
- ◆質問にも丁寧に回答してくださり、知識を深めることができました。

※本コースは使用テキストを各自ご持参して頂きます。

●3Dマイホームデザイナーで学ぶ住宅プランニング
(技術評論社)

ISBN: 9784297110512 定価: 2,780円+税



※人材開発支援助成金の「人材育成支援コース」に該当します。

建築設計CAD・BIM

実践建築設計3次元CAD技術

【(3Dオブジェクト作成)使用機器:3Dマイホームデザイナー】

New

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:10~16:00(6時間×2日間)	10,500円

3Dマイホームデザイナーを用いた3Dパーツ図の作図技術を習得するコース

コース概要

建築設計の効率化・最適化をめざして、3Dパーツ図の作成手法を習得します。

- ◆3Dパーツの概要
- ◆パーツ原点及び座標軸
- ◆モデリング及びパーツ階層
- ◆モデリング演習1(テーブル・椅子)
- ◆モデリング演習2(PCラック・飾り棚)
- ◆パーツの平面シンボル及び再利用

対象者

3次元CADによる3Dパーツ図作成に関する知識・技術を習得したい方

持参品

筆記用具

コース番号

日程

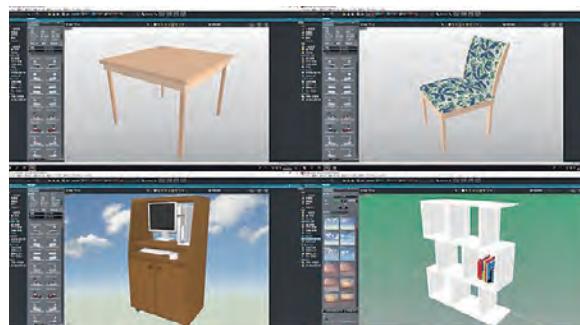
H1101 7/8(水)、7/9(木)

使用機器

3Dマイホームデザイナー pro10

担当講師(予定)

ポリテクセンター千葉



※人材開発支援助成金の「人材育成支援コース」に該当します。



建築設計CAD・BIM

住宅計画実践技術(共同住宅ボリューム算出)
【使用機器:TP-PLANER】

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:10~16:00(6時間×2日間)	12,000円

用地情報から共同住宅ボリューム算出に必要な日影規制・天空率等に関する技術を習得するコース

コース概要

建築企画・計画に関するボリューム算出手法を各種高さ規制(日影、斜線、天空率等)を理解し、用地情報を基に実践的な演習を通して知識、技能を習得します。

- ◆建築企画(用地情報等)及び各種高さ規制(日影、斜線、天空率)について
- ◆逆日影、逆斜線からの建物ボリュームの想定
- ◆面積表の検討
- ◆天空図の見方と天空図作図法
- ◆天空率算出法
- ◆空地確保等の実践的な対処法からのボリューム案の決定

対象者

建築企画・計画に関する各種高さと規制とボリューム算出の知識・技術を習得したい方

持参品

筆記用具

使用機器

建築企画 BIM : TP-PLANER

担当講師(予定)

株式会社コミュニケーションシステム 比嘉 昇秀 氏

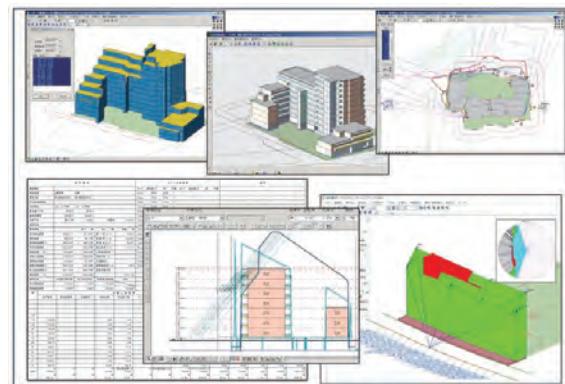
コース番号

日程

H1201 7/22(水)、7/23(木)

受講者の声

- ◆TP-PLANERの操作方法と日影・天空の考え方が勉強になりました。



※人材開発支援助成金の「人材育成支援コース」に該当します。

建築設計CAD・BIM

BIMを用いた建築設計技術
【使用機器:Autodesk Revit】

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:10~16:00(6時間×2日間)	11,500円

BIMの概要及び活用による建築設計に関する技術を習得するコース

コース概要

建築設計の効率化・最適化をめざして、各図面における作成手法を習得します。

- ◆建築設計分野におけるBIMの現状と展望
- ◆BIMの仕組みと運用
- ◆BIMモデルの作成
- ◆建築設計図面作成
- ◆パースの作成

対象者

BIMによる計画設計の知識・技術を習得したい方

持参品

筆記用具、テキスト(※注 右記参照)

使用機器

Autodesk Revit

担当講師(予定)

戸泉 協 氏

コース番号

日程

H1301 8/22(土)、8/23(日)

受講者の声

- ◆新しくBIMを導入しようとしている為、実際に触ることができて勉強になりました。
- ◆教本では得られない知識を教えて頂けた。個別に丁寧に教えて頂き、大変助かりました。
- ◆基本的なモデリングの方法を理解することで、今後のモデリングの手順などの改善につなげられます。

※本コースは使用テキストを各自ご持参して頂きます。

- 実務につなぐRevitトレーニングブック改訂版
Revit2026対応

(株式会社ワット・コンサルティング)

ISBN:978-4-88338-735-9 定価:3,960円(税込)



※人材開発支援助成金の「人材育成支援コース」に該当します。

建築設計CAD・BIM

BIMを用いた積算実践技術

【使用機器:ヘリオス(BIM連携積算システム)】

受講申込メールアドレス▶chiba-poly02@jeed.go.jp

コースのお問合わせ先▶043-422-4622

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:10~16:00(6時間×2日間)	12,000円

BIMの概要及び活用による建築積算に関する技術を習得するコース

コース概要

建築物の見積・積算の生産性の向上をめざして、BIM対応の建築数量積算システムを利用した積算技術を習得します。

- ◆建築積算概要
- ◆BIMと積算
- ◆BIMの現状と展望
- ◆積算システムの仕組みと運用
- ◆積算システム実習1(躯体等)
- ◆積算システム実習2(仕上等)
- ◆BIMを活用した事例紹介

対象者

BIMによる建築積算の知識・技術を習得したい方

持参品

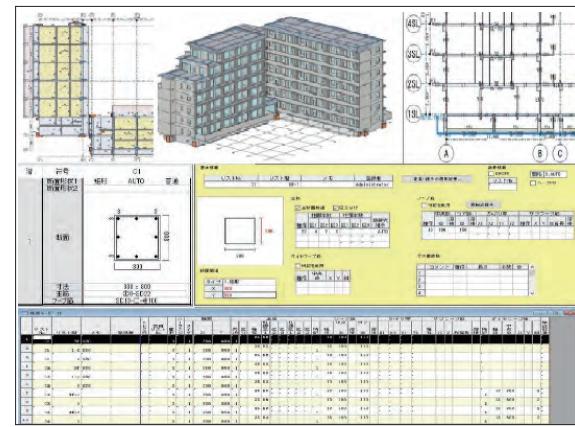
電卓、筆記用具

使用機器

ヘリオス(BIM連携積算システム)

コース番号	日程
H1401	10/21(水)、10/22(木)

担当講師(予定)

株式会社 日積サーバイ 高橋 肇宏 氏
株式会社バル・システム

※人材開発支援助成金の「人材育成支援コース」に該当します。

建築設計CAD・BIM

BIMを用いた建築生産設計技術
(躯体施工図)【使用機器:GLOOBE Construction】

New

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:10~16:00(6時間×2日間)	8,500円

BIMの活用による施工図作成・建築生産設計技術を習得するコース

コース概要

建築設計の効率化並びに建設業界の生産性の向上をめざして、BIMを用いた建築生産設計実習を通して、建築生産設計及び各図面の作成手法を習得します。

- ◆建築設計分野におけるBIMの現状と展望
- ◆BIMの仕組みと運用
- ◆BIMを活用した事例紹介
- ◆生産設計図の作成実習
- ◆建築施工図用BIMデータの作成
- ◆設備との干渉チェック
- ◆3D施工図の作成・修正等

対象者

BIMによる建築生産設計の知識・技術を習得したい方

持参品

筆記用具

コース番号	日程
H1501	10/28(水)、10/29(木)

使用機器

GLOOBE Construction

担当講師(予定)

福井コンピュータアーキテクト株式会社



※人材開発支援助成金の「人材育成支援コース」に該当します。



建築設計CAD・BIM

木造住宅における壁量計算技術

New

【使用機器・壁量等の基準(令和7年施行)に対応した表計算ツール(多機能版)ver1.0】

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:10~16:00(6時間×2日間)	8,500円

木造住宅における壁量計算技術を習得するコース

コース概要

建築設計の効率化・最適化をめざして、木造住宅における壁量計技術を習得します。

- ◆木造軸組構法住宅の構造計画概要
- ◆壁量の確保(各壁量計算等)
- ◆壁配置のバランス(四分割法)
- ◆柱頭、柱脚の接合方法(N値計算等)
- ◆柱の小計等(表計算ツール等)
- ◆演習課題1(2階建て住宅)

対象者

木造住宅における壁量計算技術に関する知識・技術を習得したい方

持参品

筆記用具、テキスト(※注 右記参照)

使用機器

壁量等の基準(令和7年施行)に対応した表計算ツール(多機能版)ver1.0

担当講師(予定)

ポリテクセンター千葉

コース番号

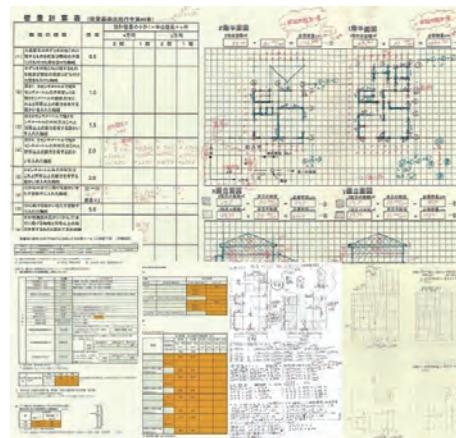
日程

H1601

4/22(水)、4/23(木)

※本コースは使用テキストを各自ご持参して頂きます。

- 木造軸組構法住宅の構造計画【令和7年4月施行対応版】
(財団法人 日本住宅・木材技術センター)
ISBN:978-4-907094-62-1 定価:3,850円(税込)



※人材開発支援助成金の「人材育成支援コース」に該当します。

建築設計CAD・BIM

木造住宅における耐震診断技術

New

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:10~16:00(6時間×2日間)	9,000円

ホームズ君を用いて耐震診断から補強手法に関する技術を習得するコース

コース概要

耐震診断業務を業として行う事を目的とした技術を習得します。

【1日目】

- ◆耐震診断の概論
- ◆耐震性能の変遷(キーポイントになる年と改定内容)
- ◆間違いやすいポイントの説明と解説
- ◆耐震診断に必要な調査項目
- ◆ホームズ君の基礎操作方法 ◆入力項目の選択方法

【2日目】

- ◆モデル物件の入力 ◆モデル物件の評価
- ◆お客様への解説方法や補強設計へのポイント

対象者

耐震診断に関する知識・技術を習得したい方

持参品

筆記用具、テキスト(※注 右記参照)

使用機器

ホームズ君

担当講師(予定)

株式会社 小野設計社 小野 真路 氏

コース番号

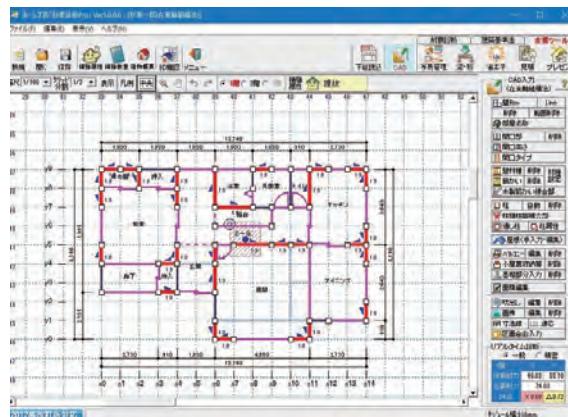
日程

H1701

6/10(水)、6/11(木)

※本コースは使用テキストを各自ご持参して頂きます。

- 世界で一番やさしい木造耐震診断 最新改訂版
著者名 保坂 貴司 (技術評論社)
ISBN:9784767829449 定価:3,000円+税



※人材開発支援助成金の「人材育成支援コース」に該当します。

建築設計CAD・BIM

ARを活用した建築プレゼンテーション
技法(クロスリアリティ)【使用機器:Gyro Eye】

New

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:10~16:00(6時間×2日間)	9,000円

Gyro Eye を用いて耐震診断からAR・VR手法に関する技術を習得するコース

コース概要

設計データを現実空間に実寸大で投影し、現実のものと設計データが一体のものとして可視化します。BIM/CIMの3Dデータのみならず、2D図面も活用可能なので、素早く手軽なAR/MR活用手法を習得します。

【1日目】

- ◆AR概要説明
- ◆活用事例紹介
- ◆CADからの出力実習
- ◆コンバータによるデータ変換実習
- ◆MRデバイス基本操作

【2日目】

- ◆住宅データによる実習
- ◆土木データによる実習
- ◆設備施工実習
- ◆インテリア計画実習

対象者

AR・VRに関する知識・技術を習得したい方

持参品

筆記用具

使用機器

Gyro Eye

担当講師(予定)

株式会社 インフォマティクス 川口 智也 氏

コース番号	日程
H1801	5/13(水)、5/14(木)



※人材開発支援助成金の「人材育成支援コース」に該当します。

施工管理

ネットワーク工程管理実践技術

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:10~16:00(6時間×2日間)	8,000円

ネットワーク工程表の各種計算演習を通して工程表作成技術を習得するコース

コース概要

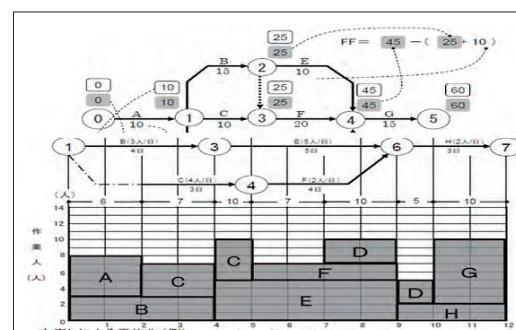
建設業における施工管理の効率化をめざして、各種時刻計算演習を通して実践的なネットワークプランニング手法による工程表作成技術を習得します。

- ◆ネットワーク工程表の概要及びルール等
- ◆各時刻の計算演習(EST、EFT、LST、LFT、CP)
- ◆余裕時刻の計算演習(TF、FF、DF)
- ◆スケジューリング演習
(工期短縮・マンパワースケジューリング・
エキストラコスト・山積み山崩しによる平均化)
- ◆ネットワーク工程表作成演習

コース番号	日程
H1901	2027年1/20(水)、1/21(木)

受講者の声

- ◆バーチャルでの工程表作成では、わかりにくかった前後の流れがわかりやすくなった。
- ◆細かいデータで工程を管理することで作業の流れを止めることなく、早く工事を終わらせることにつながると学べました。
- ◆ネットワーク工程表の名前は知っていたが、やり方が分からなかったが、理解できました。



※人材開発支援助成金の「人材育成支援コース」に該当します。

対象者

建設業(土木・建築・設備・電気)に従事している方

持参品

電卓、筆記用具

使用機器

特になし

担当講師(予定)

ポリテクセンター千葉



生産管理

仕事と人を動かす現場監督者の育成

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:10~16:00(6時間×2日間)	8,000円

ものづくり=人づくり

コース概要

製造現場における作業の段取りや指示、後進育成の技能継承をめざして、現場のリーダーとして身につけておくべきスキルを確認し、監督者として生産性向上を実践する担当者との関わり方や現場を動かすための技能を習得します。

- ◆オリエンテーション ◆任せる技術
- ◆製造現場監督(主任)の役割 ◆自己啓発計画の作成
- ◆製造現場監督(主任)に求められている仕事
- ◆管理監督者心得69ヶ条
- ◆より良い現場監督(主任)

対象者

製造現場監督に従事する技能・技術者であって、指導的・中核的な役割を担う方、またはその候補者の方

持参品

筆記用具

使用機器

プロジェクター等

担当講師(予定)

NPOテクノサポート

コース番号	日程
S0101	7/9(木)、7/10(金)
S0102	10/1(木)、10/2(金)
S0103	12/3(木)、12/4(金)
S0104	2027年2/4(木)、2/5(金)

受講者の声

- ◆課題解決に向けた取り組み方、考え方を知ることが出来ました。
- ◆実践知識、経験を踏まえた話で参考になりました。
- ◆今後の現場の環境改善に役に立つ内容でした。



※人材開発支援助成金の「人材育成支援コース」に該当します。

生産管理

実践生産性改善

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:10~16:00(6時間×2日間)	9,500円

全体最適化視点からのムダ取りでローコスト体質へ

コース概要

生産工程の効率化・最適化をめざして、多種少量、短納期といった市場の要望に低コストですばやく対応するため、生産現場の見えない問題を見える化する際の視点と考え方並びに全体最適を考慮に入れた生産性の高い生産現場の構築方法について習得します。

- ◆製造業の背景
- ◆生産性向上のための現場運営の視点
- ◆生産現場の評価と視点と改善方法
- ◆生産現場の構築演習
- ◆生産性改善実習
- ◆改善性計画の立て方
- ◆まとめ

対象者

生産現場の運営・管理・改善業務に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う方、またはその候補者の方

コース番号	日程
S0201	7/1(水)、7/2(木)
S0202	11/10(火)、11/11(水)

持参品

筆記用具、電卓

使用機器

ポストイット、A3白紙、電卓、パソコン、PC用OHP等

担当講師(予定)

NPOテクノサポート

受講者の声

- ◆生産性に関して数値やグラフで作成する事ができるようになりました。
- ◆生産、管理的な業務にて改善をして行けるのではないかと思いました。また、その知識を部下に指導でき、意識してくれると思います。
- ◆自社内もあるが、対取引先を評価する際の指標として活用できます。

※人材開発支援助成金の「人材育成支援コース」に該当します。

生産管理

原価管理から見た生産性向上

受講申込メールアドレス▶chiba-poly02@jeed.go.jp

コースのお問合せ先▶043-422-4622

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:10~16:00(6時間×2日間)	9,500円

製品コストが分かれれば削減できる

コース概要

原価管理のコスト(費用削減)と生産性(業務効率向上)の2軸でとらえ、企業収益力向上のポイントを習得します。

- ◆原価管理とは(原価の3要素、原価で工程を管理する、演習)
- ◆標準原価と実際原価(標準原価の設定方法、直接費・間接費、材料費と労務費と経費、チャージレートの設定、間接費の配布基準、実際原価と標準原価の差異分析、演習)
- ◆コストを下げるには(材料費、労務費、経費、演習)
- ◆コスト低減と生産性向上(材料費、労務費、経費と生産性の関連、演習)
- ◆総合演習(演習を通じたコスト削減と生産性向上策のまとめ、演習)

対象者

原価管理に携わっている方またはその候補者あるいはコストダウンを検討されている指導者または中核的な役割を担う方

コース番号	日 程
S0301	7/22(水)、7/23(木)
S0302	12/1(火)、12/2(水)

持参品

筆記用具

使用機器

パソコン、プロジェクター、OHP、ポストイット(4色)、A3コピー用紙

担当講師(予定)

NPOテクノサポート

受講者の声

- ◆原価やそれに付随する金額見える化し、ムダを無くす方法について学べました。
- ◆他社の課題なども参考になりました。設計分野でも改善の学びがありました。
- ◆設備総合効率の計算方法を学べました。

※人材開発支援助成金の「人材育成支援コース」に該当します。

生産管理

5Sによるムダ取り・改善の進め方

コース概要

生産現場における現場改善の技能伝承をめざして、現場の問題把握・改善技法及び後輩育成のための指導技法を習得します。

- ◆5Sによる現場の改善(5Sの考え方、モノの置き方の改善、ほか)
- ◆ムダ取りの実践(事例紹介、赤札作戦、VM法、段取り改善、ほか)
- ◆やさしい作業改善とコストダウン・自職場の課題を抽出し、解決策を考える。
- ◆改善心得37ヶ条
- ◆総合演習(ケーススタディ=生産現場の改善活動事例(5S、ムダ取り、生産性向上))

対象者

製造現場や生産管理の業務に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う方、またはその候補者の方

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:10~16:00(6時間×2日間)	8,500円

コース番号	日 程
S0401	5/13(水)、5/14(木)
S0402	7/16(木)、7/17(金)
S0403	10/15(木)、10/16(金)
S0404	2027年2/2(火)、2/3(水)

使用機器

ポストイット、A3白紙、電卓、パソコン、PC用OHP等

担当講師(予定)

NPOテクノサポート

受講者の声

- ◆今まで5Sに取り組む時に、どのようにしたらいいかが分からなかったが、今回のセミナーを受け、解決策のヒントになりました。
- ◆見えてなかった視点から考え、管理・清掃・生産向上につなげることが出来ると思いました。
- ◆無駄を省くという目線で各種案件を進めたいと思います。

※人材開発支援助成金の「人材育成支援コース」に該当します。



生産管理

安全確保のための現場改善手法

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:10~16:00(6時間×2日間)	9,500円

ゼロ災害に必要な安全確保のための現場改善のポイントを習得するコース

コース概要

グローバル化の加速で技術・技能の向上と安全の確保が絶対条件です。現場工程に於ける本質の見える化と改善取組を[演習]を通じ習得します。

- ◆SEQCDの必要性:環境の変化と安全管理の課題
- ◆ヒヤリハット、KY & TBM活動で不足:カバー出来ない領域を補てん
- ◆「事故・トラブルデータベース」活用:失敗から改善対策を学ぶ
- ◆「4M4E分析」:ステップアップした見える化と本質的改善
- ◆安全・改善活動の継続:課題解決に向き合い、PDCAを回す
- ◆フォローアップ&レビュー

対象者

ものづくり製造現場に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う方、またはその候補者の方

持参品

筆記用具

コース番号

日程

S0501	7/30(木)、7/31(金)
S0502	9/17(木)、9/18(金)
S0503	11/26(木)、11/27(金)
S0504	2027年1/21(木)、1/22(金)

使用機器

パソコン、プロジェクター等

担当講師(予定)

NPOテクノサポート

受講者の声

- ◆生産現場での安全分析の手法を理解することができました。
- ◆今まで漫然としてた安全衛生活動が今回のセミナーを受講して、これまでの仕事を頭の中で体系的に出来るような気がしました。
- ◆知らなかった知識を知れて良かったです。

※人材開発支援助成金の「人材育成支援コース」に該当します。

生産管理

生産現場に活かす品質管理ツール

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:10~16:00(6時間×2日間)	10,000円

QC7つ道具を中心にして

コース概要

生産現場における業務の効率化・最適化(改善)による生産性向上を目指して、製造現場で発生する問題について、QC7つ道具・品質管理手法を使用し、定量的・定性的な問題分析を行い、解決していくための手法を習得します。

1)品質管理の概要

- ◆品質管理の重要性

2)製造業における品質管理技法

- ◆QC7つ道具の使い方
- ◆演習、QC7つ道具体験

3)品質管理演習

- ◆活用事例
- ◆問題・データ分析・発表、講評

4)総合演習(統計的な手法を用いた管理図作成、ほか)

コース番号

日程

S0601	7/9(木)、7/10(金)
S0602	8/20(木)、8/21(金)
S0603	11/19(木)、11/20(金)
S0604	2027年1/14(木)、1/15(金)

持参品

筆記用具、電卓

使用機器

パソコン、プロジェクター、OHP、電卓

担当講師(予定)

NPOテクノサポート

受講者の声

- ◆新たなQC7つ道具を学ぶことが出来ました。
- ◆課題解決するための手順(どこから手を付けたらよいか)を知ることができました。
- ◆会社の業務では得られない知識が身につきました。

対象者

製造現場で品質管理や品質改善に携わっている方、指導的・中核的な役割を担う者、またはその候補者で、QC7つ道具や品質管理手法を研修したい方

※人材開発支援助成金の「人材育成支援コース」に該当します。

よくあるご質問

Q & A

※セミナー受講お申し込みの際に、必ずご一読くださいますようお願いいたします。

Q1 受講申し込みはどのようにしたらよいですか？

A

「能力開発セミナー受講申込書」(66ページ)に必要事項をご記入の上、メール、FAXまたは郵送にてお申し込みください。

Q2 申し込む場合の条件はありますか？

A

各コースに関する基礎知識を有する方としてあります。ただし、コースによってはより詳細な受講条件を設定している場合があります。セミナーパンフレット・ホームページにてご確認ください。

Q3 受講申込書になぜ生年月日を記入する必要があるのですか？

A

所定の要件を満たした方にセミナー修了証書を発行しており、そこに記載するためです。

Q4 コースの詳しい内容について聞けませんか？

A

各コースの詳しい内容についてご質問がございましたら、お問い合わせ先までご連絡ください。

Q5 希望するコースが定員に達している場合はどのようにしたらよいですか？

A

「キャンセル待ち」としてお申し込みを受け付けることが可能です。空席が生じた場合には、順次お電話にてご連絡いたします。

Q6 申し込んだコースが中止・変更になることはありますか？

A

受講申し込みが一定の人数に達していない場合や講師の都合等、やむを得ない事情により中止または日程変更させていただく場合がございます。あらかじめご了承ください。なお、中止コースの受講料を既にお支払い済の場合は、返金させていただきます(宿泊費、交通費等に係る費用はお客様負担となりますので、ご了承ください)。

Q7 申し込んだ後で、受講者を変更することはできますか？

A

受講者の変更は、開講日前日までに「能力開発セミナー受講取消・受講者変更届」(67ページ)に必要事項をご記入の上、メールまたはFAXにてご連絡ください。

Q8 申し込んだコースをキャンセルしたいのですがどのようにしたらよいですか？

A

受講の取消は、コース開講日から起算して14日前までに「能力開発セミナー受講取消・受講者変更届」(67ページ)に必要事項をご記入の上、メールまたはFAXにてご連絡ください。
それ以降の取消は、受講料の全額を申し受けますのでご注意ください。

Q9 受講料の支払いはどのようにしたらよいですか？

A

開講が決定(開講日の14日前までに決定)した後、「受講案内文」及び「請求書」をお送りいたします(キャンセル待ちの方には送付されません)。
受講料は、指定日までにお振込ください。なお、払込手数料はお客様負担となります(※受講料には消費税が含まれております)。

Q10 申し込んだコースを欠席する場合はどのようにしたらよいですか？

A

お電話にてご連絡ください。使用するテキスト等を送付いたします。

Q11 受講する際の服装・持ち物はどのようにしたらよいですか？

A

服装について特に決まりはございません。ただし、セミナーパンフレットやホームページ等の「持参品」欄に作業服等の指定がある場合は、ご確認の上ご持参願います。また、その他持ち物に関しましては「持参品」欄をご確認の上、当日までにご準備願います。

Q12 セミナー会場（教室）への案内はありますか？

A

事前に送付する受講票に会場を記載しております。また、セミナー当日までに会場の変更がある場合がございます。セミナー当日は、本館1階の電光掲示板にて会場を確認の上、直接会場へお越しください。

Q13 駐車場はありますか？

A

ポリテクセンター千葉では、十分な駐車場を確保しております。受講案内と一緒に送付する施設案内図に従ってご利用ください。なお、駐車場での事故等については一切責任を負いませんので、ご了承ください。

Q14 昼食についてどのようにしたらよいですか？

A

ポリテクセンター千葉では、あらかじめ昼食をご用意いただきか、本館1階ロビーで平日のみお弁当を販売しておりますのでご利用ください。その際は11時までに券売機にて食券をご購入ください(550円程度)。なお、都合により弁当販売が中止になることがありますので、ご了承ください。

Q15 宿泊施設はありますか？

A

ポリテクセンター千葉には宿泊施設がございません。ご宿泊の必要がある方は、お手数ですが、近隣の宿泊施設を各自でご予約ください。(JR稻毛駅、JR千葉駅周辺等)

Q16 セミナー修了証書の交付条件はありますか？

A

修了証書は、出席時間が12時間以上かつ訓練時間の80%以上を満たしており、受講者が修了に値すると認められる場合に交付いたします。なお、修了証書の再発行はできませんのでご了承ください。

Q17 受講中セミナー会場で電話の取次や録音・撮影してもよいですか？

A

受講中のお電話のお取次、写真・ビデオ等の撮影・録音等はお断りしておりますので、ご了承ください。

お問い合わせ先

ポリテクセンター千葉 訓練第二課
(能力開発セミナーに関すること)

TEL 043-422-4622 FAX 043-304-2132

(コピーしてご使用ください)

令和8年度 能力開発セミナー受講申込書

※お申込みの前に必ずご一読ください。

- お申込みは、本紙に必要事項をご記入の上、メールアドレス(chiba-poly02@jeed.go.jp)またはFAX(043-304-2132)にお送りください。
- FAXが届きましたらお電話またはメールにて申込み内容の確認をさせていただきます。お申込み後3日間(土日、祝日除く)を過ぎても当センターから連絡がない場合は、お手数ですが、窓口(043-422-4622)まで必ずご連絡ください。
- 受講を取消す場合は、速やかに別紙の「能力開発セミナー受講取消・受講者変更届」をFAXにてお送りください。開講コースの初日から起算して14日前までに届出がない場合は、受講料の全額を申し受けます。

ポリテクセンター千葉所長 殿

次のセミナーについて、訓練内容と受講要件(ある場合のみ)を確認の上、申し込みます。

※ 太枠内をご記入ください。(個人でお申し込みの方はご自身の郵便番号、ご住所、電話番号等を下記にご記入ください。)

ふりがな		業種 (※)			
法人名 (個人の方は氏名)				法人番号	
ふりがな				法人番号が無い場合はいすれかに○	
事業所名 (個人の方は記入不要)				1. 団体、2. 個人事業主、3. 個人	
所在地 (個人の方は住所)		〒			
勤務先	所属部署	ふりがな		氏名	
	TEL			FAX	
	E-mail				
	E-mailアドレスあてに、当センターで開催される各種セミナー情報・イベント等のメールマガジンを配信させていただきます(不定期配信)。メール配信を希望されない方は、右記[希望しない]に○をつけてください。				メルマガ配信 (希望しない方は○) 希望しない
企業規模(該当に○)		□ ~29人 □ 30~99人 □ 100~299人 □ 300~499人 □ 500~999人 □ 1,000人以上			
受講区分(該当に○)		□ 会社からの指示による受講(※1) □ 個人での自己受講			

※ 業種は、以下の20種のうち該当するものを1つ選んでください。

A. 農業、林業 B. 漁業 C. 鉱業、採石業、砂利採取業 D. 建設業 E. 製造業 F. 電気・ガス・熱供給・水道業 G. 情報通信業 H. 運輸業、郵便業 I. 卸売業、小売業
J. 金融業、保険業 K. 不動産業、物品販賣業 L. 学術研究、専門・技術サービス業 M. 宿泊業、飲食サービス業 N. 生活関連サービス業、娯楽業 O. 教育、学習支援業
P. 医療、福祉 Q. 複合サービス事業 R. サービス業 S. 公務 T. 分類不能の産業

※ 受講票、請求書等は、上記申込担当者様あて(個人の方は申込者様あて)に送付いたします。

なお、別途送付場所を指定される場合は、下記通信欄にご記入ください。

コース番号	コース名	開講初日	ふりがな 受講者名	生年月日(西暦) 及び性別	就業状況(※2) (該当に○)	センター記入欄
		月 日		年 月 日 男・女	<input type="checkbox"/> 正社員 <input type="checkbox"/> 非正規雇用 <input type="checkbox"/> その他(自営業等)	
		月 日		年 月 日 男・女	<input type="checkbox"/> 正社員 <input type="checkbox"/> 非正規雇用 <input type="checkbox"/> その他(自営業等)	
		月 日		年 月 日 男・女	<input type="checkbox"/> 正社員 <input type="checkbox"/> 非正規雇用 <input type="checkbox"/> その他(自営業等)	

通信欄(受講案内送付先、訓練に関連する経験・技能等(※3)、連絡通信事項を記入してください。)

参考までにお伺いします。今回のコースをどのようにしてお知りになりましたか。(該当するものに○)

- ホームページ セミナーパンフレット ダイレクトメール(チラシ) メルマガジン 他の団体からの紹介(団体名:)
- 所属企業(上司・同僚)からの紹介 知人からの紹介 ポスター 新聞・その他広告媒体 その他()

(連絡事項)

- 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構は、「個人情報の保護に関する法律」(平成15年法律第57号)を遵守し、保有個人情報を適切に保管し、個人の権利利益を保護いたします。
- ご記入いただいた個人情報については、能力開発セミナーの受講に関する事務処理(連絡、修了証書の交付、修了台帳の整備)及び業務統計、当機構の能力開発セミナーや関連するセミナー・イベント等の案内に使用するものであり、それ以外に使用することはございません。
- ※1 受講区分の「1. 会社からの指示による受講」を選択された場合は、受講者が所属する会社の代表者の方(事業主、営業所長、工場長等)にアンケート調査へのご協力をお願いしております。
- ※2 就業状況の非正規雇用とは、一般的にパート、アルバイト、契約社員などが該当しますが、様々な呼称があるため、貴社の判断で差し支えありません。
- ※3 訓練を進める上での参考とさせていただくため、今回受講するコース内容に関連した職場経験、資格、教育訓練受講歴等をお持ちの方については差し支えない範囲で区分して通信欄にご記入ください。(例: 切削加工の作業に約5年間従事)
- (注)訓練内容等のご不明な点、あるいは安全面・健康上においてご不安な点などございましたら、あらかじめご相談ください。

能力開発セミナー受講取消・受講者変更届

※届出の前に必ずご一読ください。

- 受講の取消しは、本紙に必要事項をご記入の上、**メールアドレス(chiba-poly02@jeed.go.jp)**又は**FAX(043-304-2132)**にお送りください。
- 記入にあたっては、楷書で濃くご記入ください。
- メール又はFAXが届きましたらお電話にて取消し内容の確認をさせていただきます。FAX送信後**3日間(土日、祝日除く)**を過ぎても当センターから連絡がない場合は、お手数ですが、窓口**(043-422-4622)**まで必ずご連絡ください。
- **開講コースの初日から起算して14日前**までに届出がない場合は、**受講料の全額**を申し受けされることになりますのでご注意ください。
- 開講コースの初日から起算して14日前までの届出において、受講料を既にお振込みされている場合は、取消したコースの受講料を返金いたします。

ポリテクセンター千葉所長 殿

以下のとおり能力開発セミナーについて、受講取消・受講者変更したいので連絡します。

太枠内をご記入ください。

ふりがな		
事業所名 (個人の方は氏名)		
所在地 (個人の方は住所)	〒 (TEL: - - - -) (FAX: - - - -)	
申込担当者名	部署課名:	氏名:

※備考欄の取消・受講者変更のどちらかに○印を明記してください。

※受講料振込状況も各コース毎に明記してください。

コース番号	コース名	開講初日	変更前		変更後		備考欄
			ふりがな	受講者名	ふりがな	受講者名	
		月 日				年 月 日 男・女	取消・ 受講者変更
	受講料振込状況		<input type="checkbox"/> 未振込み	<input type="checkbox"/> 振込済 振込日: 月 日			
		月 日			年 月 日 男・女	取消・ 受講者変更	
	受講料振込状況		<input type="checkbox"/> 未振込み	<input type="checkbox"/> 振込済 振込日: 月 日			
		月 日			年 月 日 男・女	取消・ 受講者変更	
	受講料振込状況		<input type="checkbox"/> 未振込み	<input type="checkbox"/> 振込済 振込日: 月 日			

通信欄 (補足事項などがあればご記入ください。)

〈連絡事項〉

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構は、「個人情報の保護に関する法律」(平成15年法律第57号)を遵守し、保有個人情報を適切に保管し、個人の権利利益を保護いたします。

ご記入いただいた個人情報は、能力開発セミナーの受講に関する事務処理(連絡、修了証書の交付、修了台帳の整備)及び業務統計、当機構の能力開発セミナーや関連するセミナー・イベント等の案内に使用するものであり、それ以外に使用することはありません。

生産性向上支援訓練のご案内

「生産性向上支援訓練」とは、企業の生産性向上に係る課題解決のための知識やスキルを習得するための職業訓練です。

新任層から管理者層まで、幅広い階層に対する**カリキュラムモデル134**コース(令和7年11月現在)の中から、最適なカリキュラムをご提案し生産性向上のための課題解決のお手伝いをいたします。

ものづくり分野を中心とした在職者訓練と併せて生産性向上支援訓練の活用もご検討ください。

訓練内容	<p>幅広い職務階層の方を対象に、様々な課題の解決や現場力の強化を支援するカリキュラムをご用意し、座学と演習を組み合わせて訓練を実施します。</p> <p>具体的には、「生産管理」、「組織マネジメント」、「マーケティング」、「データ活用」などがあります。</p> <p>また、70歳までの就業機会の確保に向けた従業員教育「ミドルシニアコース」では、企業の定年延長や継続雇用等における課題の解決に効果的なカリキュラムを用意しています。</p> <p>令和4年度からは、現行のカリキュラムの中からDX(デジタルトランスフォーメーション)に資する要素を含むコースを「DX対応コース」として選定し、中小企業等のDX人材育成を支援しています。</p>
実施方式	<p>オーダーコース 貴社の会議室等を会場とし、コースや日時など貴社の都合に合わせて実施することができます。また、貴社の課題等に合わせた内容にカスタマイズして実施することができます。複数の部署が同じ課題に取り組むことで、訓練後の部署間コミュニケーションのきっかけとしてご活用いただいた実績もあります。</p> <p>オープンコース ポリテクセンター千葉等を会場として開催するコースの中でご希望のコースを受講します。様々な企業の皆様と同じ会場で受講するため、情報交換の場としてもご活用いただけます。実施コースやスケジュールは下記のホームページからご確認ください。</p> <p>事業取組団体方式 事業協同組合等、団体としてご活用いただく方式です。</p> 
オンライン訓練	<p>オーダーコースは、集合型の訓練だけでなく、訓練の全部又は一部を同時双方向通信による「オンライン訓練」として実施することができます。</p> <p><オンラインの実施方法(例)></p> <ul style="list-style-type: none"> ●貴社会議室(講師訪問) ←オンライン→ 支社、工場、自宅(テレワーク先) ●講師 ←オンライン→ 貴社会議室 ←オンライン→ その他会場
訓練時間	4時間～30時間
受講料	1人あたり、 2,200円～6,600円 (税込。コースの訓練時間数により異なります。)
対象者	企業(事業主)から受講指示された方のみ。個人での受講はできません。
講師	専門的な知識やノウハウを持つ民間機関等(委託先)が訓練を担当。
会場	<p>オーダーコース:ご要望に合わせて設定できます(自社会議室や外部の施設等)。</p> <p>オープンコース:指定された会場(千葉県内)</p>

※上記内容は変更になる場合があります。最新情報はホームページ等でご確認ください。

※予算に限りがありますので、ご希望に添えない場合があります。

お問い合わせ先

生産性センター業務課(生産性向上支援訓練に関すること)

TEL 043-422-4631 FAX 043-422-4768

メール chiba-seisan@jeed.go.jp



生産性向上支援訓練に関する詳細は、ホームページでご紹介しています。最新の情報を掲載していますので、ご確認ください。

令和 8 年度 生産性向上支援訓練コース一覧 (1) (67/134 コース)

目的	分野	小分類	カリキュラム番号・コース名	DX・ミドル	推奨対象者			
					初任層	中堅層	管理者層	中高年齢層
A 生産・業務プロセスの改善	生産管理	生産・開発計画	048 ものづくりの仕事のしくみと生産性向上		●			
			001 生産性分析と向上			●		
		工程管理	002 生産現場の問題解決			●		
			003 生産性向上のための課題とラインバランシング			●		
		管理手法	004 生産計画と工程管理			●		
			005 サービス業におけるIE活用				●	
		原価管理	129 製造分野におけるDX推進	DX	●	●		
			006 原価管理とコストダウン				●	
		製品出荷・在庫管理	007 在庫管理システムの導入	DX	●			
			134 在庫管理の進め方	NEW	●	●		
	品質保証・管理	品質保証・管理手法	008 購買・仕入れのコスト削減			●		
			009 POSシステムの活用技術	DX	●			
			010 品質管理基本		●			
	流通・物流	流通・物流	011 品質管理実践			●		
			053 サービスマネジメントによる品質改善と向上			●		
			015 3PLとSCM	DX	●			
			016 物流のIT化	DX	●			
			013 流通システム設計	DX		●		
	バックオフィス	クラウド・IoT導入	014 物流システム設計	DX		●		
			012 卸売業・サービス業の販売戦略	DX		●		
			017 SCMの現状と将来展望	DX			●	
			018 クラウド活用入門	DX		●		
			019 IoT活用によるビジネス展開	DX		●		
			020 クラウドを活用したシステム導入	DX		●		
			021 IoT導入に係る情報セキュリティ	DX		●		
			054 クラウドを活用した情報共有能力の拡充	DX		●		
			087 導入コストを抑えるクラウド会計・モバイルPOSレジ活用	DX	●	●		
			083 テレワークを活用した業務効率化	DX		●		
	新技術活用	新技術活用	088 テレワーク活用	★ DX	●			
			130 経理業務の効率化につながるDXの実践	DX		●	●	
			056 ITツールを活用した業務改善	DX		●		
			089 データ活用で進める業務連携	DX		●	●	
			090 失敗しない社内システム導入	DX		●	●	
			091 企業内でIT活用を推進するために必要な技術理解	DX		●	●	
			092 企業内でIT活用を推進するために必要なマネジメント	DX		●	●	
			117 DX(デジタルトランスフォーメーション)の導入	DX		●	●	
			118 ベンダーマネジメント力の向上	DX		●		
			093 IT新技術による業務改善	DX		●	●	
B 横断的課題	組織マネジメント	経営戦略	094 AI(人工知能)活用	DX		●	●	
			132 生成AIの活用	NEW	DX	●	●	
			095 ビッグデータ活用	DX		●	●	
		リスクマネジメント	055 RPAを活用した業務効率化・コスト削減	DX		●		
			096 RPA活用	★ DX	●	●		
			119 DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進	DX			●	
			120 データサイエンス入門	★ DX		●		
			131 GX(グリーントランスフォーメーション)の推進			●	●	
		ナレッジマネジメント	133 Pythonを活用した事務業務の効率化	NEW	★ DX	●	●	
			037 企業価値を上げるための財務管理			●		
			022 IoTを活用したビジネスモデル	DX			●	
		組織力強化	084 ダイバーシティ・マネジメントの推進				●	
			121 ビジネスとSDGs(持続可能な開発目標)の融合	DX		●	●	
			038 事故をなくす安全衛生活動				●	
			023 個人情報保護と情報管理				●	
			064 高年齢労働者のための安心・安全な職場環境の構築				●	
		組織力強化	039 リスクマネジメントによる損失防止対策				●	
			059 災害時のリスク管理と事業継続計画				●	
			040 eビジネスにおけるリーガルリスク	DX			●	
			057 ネット炎上時のトラブル対応	DX			●	
			024 ナレッジマネジメント				●	
		組織力強化	025 知的財産権トラブルへの対応(1)				●	
			026 知的財産権トラブルへの対応(2)				●	
			058 現場社員のための組織行動力向上		●			
			041 業務効率向上のための時間管理			●		
			062 顧客満足度向上のための組織マネジメント			●		
		組織力強化	060 企画力向上のための論理的思考法			●		
			042 成果を上げる業務改善			●		
			043 組織力強化のための管理				●	

令和8年度 生産性向上支援訓練コース一覧 (2) (67/134コース)

目的	分野	小分類	カリキュラム番号・コース名	DX・ミドル	推奨対象者			
					初任層	中堅層	管理者層	中高年齢層
B 横断的課題	組織マネジメント	組織力強化	061 職場のリーダーに求められる統率力の向上				●	
			051 管理者のための問題解決力向上				●	
			044 プロジェクト管理技法の向上				●	
			052 プロジェクトマネジメントにおけるリスク管理				●	
			065 繼続雇用者のキャリア形成と管理者の役割				●	
			085 従業員満足度の向上				●	
			086 ストレスチェック制度を用いた職場環境改善と生産性向上				●	
			097 ムダを見つけるための業務プロセスの見える化と業務改善			●	●	
			122 テレワーク業務における労務管理	DX	●	●	●	
			126 DX人材育成の進め方	DX	●	●	●	
			127 物流現場のリーダー育成		●			
			128 ファシリテーションを活用した合意形成の効率化		●	●		
			066 中堅・ベテラン従業員のためのキャリア形成	ミドル				●
			067 チーム力の強化と中堅・ベテラン従業員の役割	ミドル				●
			068 後輩指導力の向上と中堅・ベテラン従業員の役割	ミドル				●
C 売上げ増加	マーケティング	顧客拡大	069 中堅・ベテラン従業員による組織の活性化のための相談技法	ミドル				●
			070 SNSを活用した相談・助言・指導	ミドル				●
			071 フォローアップによる組織力の向上	ミドル				●
			072 経験を活かした職場の安全確保（未然防止編）	ミドル				●
			073 経験を活かした職場の安全確保（対策編）	ミドル				●
			074 クラウドを活用したノウハウの蓄積と共有	ミドル				●
			075 職業能力の整理とノウハウの継承	ミドル				●
			076 職業能力の体系化と人材育成の進め方	ミドル				●
			077 経験に基づく営業活動の見える化と継承	ミドル				●
			078 効果的なOJTを実施するための指導法	ミドル				●
			079 ノウハウの継承のための研修講師の育成	ミドル				●
			080 作業手順の作成によるノウハウの継承	ミドル				●
			081 若手従業員に気づきを与える安全衛生活動（実施編）	ミドル				●
			082 若手従業員に気づきを与える安全衛生活動（点検編）	ミドル				●
D IT業務改善	情報発信	セキュリティ対策	049 提案型営業手法			●		
			063 ビジネス現場における交渉力		●			
			050 提案型営業実践			●		
			027 マーケティング志向の営業活動の分析と改善	DX	●			
			028 統計データ解析とコンセプトマイキング	DX	●			
			123 オンライン営業技術	★ DX	●	●		
			029 顧客分析手法	DX		●		
			045 顧客満足向上のためのCS調査とデータ分析	DX		●		
			030 実務に基づくマーケティング入門		●			
			031 マーケティング戦略概論			●		
			032 マーケット情報とマーケティング計画（調査編）		●			
			033 マーケット情報とマーケティング計画（販売編）		●			
			046 インターネットマーケティングの活用	DX		●		
			034 製品・市場戦略			●		
			035 新サービス・商品開発の基本プロセス			●		
D IT業務改善	セキュリティ対策	セキュリティ対策	036 プロモーションとチャネル戦略	DX		●		
			047 チャンスをつかむインターネットビジネス	DX		●		
			098 ワイヤレス環境に必要となる無線LANとセキュリティ	★ DX				
			099 社内ネットワークに役立つ管理手法	★ DX				
			100 表計算ソフトを活用した業務改善	★ DX				
			101 業務に役立つ表計算ソフトの関数活用	★ DX				
			102 表計算ソフトを活用した効率的なデータの可視化	★ DX				
			103 効率よく分析するためのデータ集計	★ DX				
			104 ピボットテーブルを活用したデータ分析	★ DX				
			105 品質管理に役立つグラフ活用	★ DX				
			106 表計算ソフトを活用した統計データ解析	★ DX				
			107 表計算ソフトのマクロによる定型業務の自動化	★ DX				
			108 データベースを活用したデータ処理（基本編）	★ DX				
			109 データベースを活用したデータ処理（応用編）	★ DX				
			110 データベースを活用した高度なデータ処理	★ DX				
D IT業務改善	セキュリティ対策	セキュリティ対策	111 業務効率を向上させるワープロソフト活用	★ DX				
			112 相手に伝わるプレゼン資料作成	★ DX				
			113 集客につなげるホームページ作成	★ DX				
			114 SNSを活用した情報発信	★ DX				
			124 オンラインプレゼンテーション技術	★ DX				
			115 脅威情報とセキュリティ対策	DX				
			116 情報漏えいの原因と対応・対策	★ DX				
			125 テレワークに対応したセキュリティ対策	DX				

【表記について】

DX: DX 対応コース

ミドル: ミドルシニアコース (生涯キャリア形成分野)

★: パソコン使用等条件あり

DX: 新規選定 DX 対応コース

IT を活用した業務改善に取り組む方

IT を活用した情報発信に取り組む方

IT におけるセキュリティ対策に取り組む方

施設設備貸出サービスのご案内

従業員の職業訓練や人材育成を目的とした研修の会場を必要とされる事業主団体様・事業主様等へ、ポリテクセンター千葉における事業の空き状況に応じ、施設の教室・実習場・機械設備等を貸出し致します。

【貸出し可能な主な施設】

会議室

イベントホール2階E21(定員24名)、イベントホール2階E22(定員32名)、イベントホール2階E23(定員20名)、イベントホール2階E24(定員162名)、イベントホール2階E27(定員16名)

実習場

イベントホールE15アリーナ(多目的実習場) ※空調設備あり

機械設備

1号棟機械実習場(旋盤・フライス盤) ※技能検定の1か月前からは貸出しできません。

3号棟溶接実習場(各種溶接機) ※各種溶接機の利用については、別途指導員派遣料が必要です。



イベントホールE15アリーナ



イベントホール2階E24



イベントホール2階E22

【使用時間について】

- 施設の使用時間は、原則として **午前9時から午後5時まで** (準備及び片付け時間も含みます)
※使用後は持参の清掃用具で片付け・清掃及び原状回復をお願い致します。
- 1時間単位でのご使用が可能です。

【使用料金等について】

- 使用料金・警備料金は毎年見直されます。最新の料金につきましてはお問い合わせください。
- ご利用については、**平日、土日祝日ともに別途警備料金をご負担いただきます。**
※令和8年度警備料金:300円(税込) / 時間
- マイクセット・プロジェクターは、無料でお貸出し致します。**(事前に申請が必要です)**

＜令和8年度使用料金(税込)＞

教室・実習場所	使用料金(円)／1時間当たり		面積 (m ²)	通常 定員	区分	主な設備等
	5月～10月	11月～4月				
イベントホールE15アリーナ	4,550	4,400	1,161	—	実習用	冷暖房設備あり
イベントホール2階E21	850	750	52	24	座学用	机(12)、椅子(24)、ホワイトボード
イベントホール2階E22	850	750	75	32	座学用	机(16)、椅子(32)、ホワイトボード
イベントホール2階E23	850	750	37	20	座学用	机(10)、椅子(20)、ホワイトボード
イベントホール2階E24	3,100	3,450	270	162	座学用	机(54)、椅子(162)、ホワイトボード
イベントホール2階E27	550	500	40	16	座学用	机(8)、椅子(16)、ホワイトボード

【ご使用手続き】

- ①事前にお電話にて空き状況をお問い合わせください。
(問い合わせ先:ポリテクセンター千葉 訓練第二課 TEL:043-422-4622)
- ②施設使用日・目的を確認した後、随時仮予約ができます。
ただし、正式に申込みが可能なのは、使用日の2か月前からとなります。
- ③仮予約後、所定の「施設設備使用申請書」をご提出いただきます。
- ④申請書の審査後、承認の場合は、「施設設備使用承諾書」及び「請求書」を発行します。
- ⑤指定の支払い期日迄に使用料を当センター指定口座にお振込みください。

【注意点】

- ①仮予約期間中は、日程変更の相談をする場合があります事をご了承くださいますようお願い致します。
(当センターで行う事業の日程変更が生じた時等、施設の運営上やむを得ない場合等)
- ②物品の搬入及び搬出は、原則として使用者自身の責任において使用日当日にお願い致します。宅配便等の受け取りも致しかねます。
- ③承認された使用目的以外での利用はできません。
- ④施設の使用に当たっては、火気や作業安全面に十分注意を払ってください。
- ⑤施設設備等を破損、または、消失した場合は、その損害を賠償いただきます。
- ⑥ご使用中の一切の事故については責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- ⑦許可なく当センターの資材等を移動するのはご遠慮ください。移動の必要がある場合には、事前に下見を行い、申請書の備考にご記入願います。移動前に写真を撮影して頂き、元の状態に戻していただきます。
- ⑧勧誘・営業活動等のための利用はできません。その他、ご不明な点はお問い合わせください。

指導員派遣のご案内

社員教育や研修等の内容に応じ、訓練指導のノウハウを持った専門の職業訓練指導員を講師として派遣・紹介しています。

訓練内容についても幅広い分野に対応することができ、施設内での実施だけでなく事業所へ出向いての実施も可能です。

【利用に当たっての日程・時間・料金・手続き等】

詳細については、下記の部署までお問い合わせください。

【注意点】

- ①承認された利用目的以外での利用はできません。
- ②指導員派遣の費用については、当機構指導員1人1時間当たり5,000円です。
- ③事業所へ出向いて実施する場合は交通費等の実費が別途かかります。
- ④その他、ご不明な点はお問い合わせください。

お問い合わせ先

ポリテクセンター千葉 訓練第二課
TEL 043-422-4622 FAX 043-304-2132

各種ご案内

(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構 関東圏の訓練施設一覧

＼らしく、はたらく、ともに／

JEED



ポリテク栃木



関東ポリテクカレッジ



ポリテク埼玉



ポリテク茨城



ポリテク山梨



ポリテク群馬



高度ポリテク



ポリテク千葉



ポリテク関東



港湾カレッジ



ポリテク君津

ポリテクカレッジ千葉
(千葉キャンパス・成田キャンパス)

- ① ポリテクセンター群馬（群馬職業能力開発促進センター）
〒370-1213 群馬県高崎市山名町 918 TEL.027-347-3905
- ② ポリテクセンター栃木（栃木職業能力開発促進センター）
〒320-0072 栃木県宇都宮市若草 1-4-23 TEL.028-621-0581
- ③ ポリテクセンター茨城（茨城職業能力開発促進センター）
〒303-0033 茨城県常総市水海道高野町 591 TEL.0297-22-8819
- ④ ポリテクセンター埼玉（埼玉職業能力開発促進センター）
〒336-0931 埼玉県さいたま市緑区原山 2-18-8 TEL.048-882-4003
- ⑤ ポリテクセンター山梨（山梨職業能力開発促進センター）
〒400-0854 山梨県甲府市中小河原町 403-1 TEL.055-242-3066
- ⑥ ポリテクセンター関東（関東職業能力開発促進センター）
〒241-0824 神奈川県横浜市旭区南希望が丘 78 TEL.045-391-2819
- ⑦ 高度ポリテクセンター（千葉職業能力開発促進センター高度訓練センター）
〒261-0014 千葉県千葉市美浜区若葉 3-1-2 TEL.043-296-2582
- ⑧ ポリテクセンター千葉（千葉職業能力開発促進センター）
〒263-0004 千葉県千葉市稻毛区六方町 274 TEL.043-422-4622
- ⑨ ポリテクセンター君津（千葉職業能力開発促進センター君津訓練センター）
〒299-1142 千葉県君津市坂田 428 TEL.0439-57-6313

ポリテク群馬 検索
FAX.027-347-6668

ポリテク栃木 検索
FAX.028-622-9498

ポリテク茨城 検索
FAX.0297-22-8822

ポリテク埼玉 検索
FAX.048-882-4070

ポリテク山梨 検索
FAX.055-242-3068

ポリテク関東 検索
FAX.045-391-9699

高度ポリテク 検索
FAX.043-296-2585

ポリテク千葉 検索
FAX.043-304-2132

ポリテク君津 検索
FAX.0439-57-6386

- ① 関東職業能力開発大学校（関東ポリテクカレッジ）
〒323-0813 栃木県小山市横倉 612-1 TEL.0285-31-1733 FAX.0285-27-0240
- ② 千葉職業能力開発短期大学校千葉校（ポリテクカレッジ千葉 千葉キャンパス）
〒260-0025 千葉県千葉市中央区問屋町 2-25 TEL.043-242-4193 FAX.043-248-5072
- ③ 千葉職業能力開発短期大学校成田校（ポリテクカレッジ千葉 成田キャンパス）
〒286-0045 千葉県成田市並木町 221-20 TEL.0476-22-4351 FAX.0476-22-4347
- ④ 港湾職業能力開発短期大学校横浜校（港湾カレッジ）
〒231-0811 神奈川県横浜市中区本牧ふ頭 1 TEL.045-621-5932 FAX.045-623-7171

関東ポリテクカレッジ 検索
FAX.0285-27-0240

ポリテクカレッジ千葉 検索
FAX.043-248-5072

ポリテクカレッジ千葉 検索
FAX.0476-22-4347

港湾カレッジ 検索
FAX.045-623-7171

各種ご案内

全国の能力開発セミナー検索サイトのご案内

能力開発セミナーのコースの詳細情報は、各道府県の実施期間（ポリテクセンター及びポリテクカレッジ）のWebサイトで確認できます。

この検索サイトでは、全国から収集した在職者向けの情報から気になるコースの内容や実施時期、会場をまとめて検索することができます。

当機構で実施している能力開発コースを“コース名”、“能力開発分野”、“道府県”で検索でき、必要な能力開発コースの“コース概要”“日程”“受講料”“実施している機関の概要”などの情報を調べることができます。

※各コースの詳細、お申込については実施機関にお問い合わせください。

https://www.tetras.uitec.jeed.go.jp/noukai/wp5/wp5_1.php



【利用上の注意】

公開されている情報は、各能力開発・教育機関から登録された内容に基づき掲載しています。

本データベースは、隨時データの更新を行っていますが、必ずしも利用時点で最新情報ではない場合があります。

本データベース情報を営利、営業等を目的に無断で使用することを禁止します。

(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構は、この検索サービスに起因する一切の損害・不利益等について責任を負いません。利用者の責任においてご利用ください。

さらなるスキルアップ[°]を
目指すなら！

高度 ポリテクセンター

高度ポリテクセンターは、職業能力開発支援業務における先導的な役割を担う施設として、全国の企業等を対象とした年間700コース以上の豊富な在職者訓練を実施している施設です。



様々な技術分野のコース

高度ポリテクセンターって
どうなってる？



紹介ページ

切削・研削加工	塑性加工・金型	射出成形・金型	溶接	測定・検査・計測	材料・表面処理
機械保全	現場運営・改善	環境・安全	機械設計	自動化	電気設備
自動制御	パワーエレクトロニクス	電子回路	画像・信号処理	組込み・ICT	通信システム



人気コースの例

- 5軸制御マシニングセンタによる加工技術
- 見て触って理解する金型技術
- 設計者CAEを活用した伝熱・熱応用解析
- ロボットシステム設計技術
- 実習で学ぶ生成AIと実践的RAGアプリケーション開発
- マイコン制御システム開発技術

※詳しくは、公式サイトをご覧ください。



お問合せ先

高度ポリテクセンター

〒 千葉県千葉市美浜区若葉3-1-2
043-296-2582
kodo-poly02@jeed.go.jp



公式サイト

各種ご案内

能力開発セミナーを実施している千葉県内の施設のご案内

ポリテクセンター千葉以外に、千葉県内で(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構の能力開発セミナーを実施している施設をご案内いたします。詳しい内容については、各施設のホームページなどをご覧ください。

◆ポリテクセンター君津(千葉職業能力開発促進センター君津訓練センター)

URL <https://www3.jeed.go.jp/kimitsu/poly/>

〒299-1142 千葉県君津市坂田428

お問い合わせ先 訓練課 TEL 0439-57-6313

◆ポリテクカレッジ千葉(関東職業能力開発大学校附属千葉職業能力開発短期大学校)

URL <https://www3.jeed.go.jp/chiba/college/>

【千葉キャンパス】

〒260-0025 千葉県千葉市中央区問屋町2-25

お問い合わせ先 学務援助課

TEL 043-242-4192

【成田キャンパス】

〒286-0045 千葉県成田市並木町221-20

お問い合わせ先 学務援助課

TEL 0476-22-4351

◆高度ポリテクセンター(千葉職業能力開発促進センター高度訓練センター)

URL <https://www.apc.jeed.go.jp/>

〒261-0014 千葉県千葉市美浜区若葉3-1-2

お問い合わせ先 事業課 TEL 043-296-2582

「ちば企業人スキルアップセミナー」について

(千葉県が実施する在職者向け職業訓練)

千葉県立テクノスクール※では、職業に必要な技能や知識を習得しようとする方を対象に、能力向上などを短期間で目指す「ちば企業人スキルアップセミナー」を開催しています。

訓練内容、申込方法(インターネットでの申込みも可)や費用については、次のホームページでご確認の上、実施校までお問い合わせください。

URL <https://www.pref.chiba.lg.jp/sanjin/kunren/skillup/>



●実施校は次のとおりです。

実施校名	所在地	電話番号
市原テクノスクール	〒290-0053 市原市平田981-7	0436-22-0403
船橋テクノスクール	〒273-0014 船橋市高瀬町31-7	047-433-2790
我孫子テクノスクール	〒270-1163 我孫子市久寺家682-1	04-7184-6411
旭テクノスクール	〒289-2505 旭市鎌数5146-18	0479-62-2508
東金テクノスクール	〒283-0804 東金市油井1061-6	0475-52-3148

※令和6年4月1日から校名が「千葉県立高等技術専門校」から「千葉県立テクノスクール」に変わりました。

千葉県商工労働部産業人材課職業能力開発班 TEL 043-223-2754

各種ご案内

各種助成金制度について

人材開発支援助成金

人材開発支援助成金は、労働者の職業生活設計の全期間を通じて段階的かつ体系的な職業能力開発を効果的に促進するため、事業主等が雇用する労働者に対して職務に関連した専門的な知識及び技能の習得をさせるための職業訓練等を計画に沿って実施した場合に、訓練経費や訓練期間中の賃金の一部等を助成する制度です。

※詳しい申請要件・方法、必要な申請書類等は、厚生労働省ホームページをご覧いただくか、お近くの都道府県労働局へお問い合わせください。

お問い合わせ先 千葉労働局 職業安定部 職業対策課分室
TEL 043-441-5678

人材開発支援助成金

検索

千葉市中小企業人材育成・能力開発推進支援補助金(令和8年度)

千葉市中小企業人材育成・能力開発推進支援補助金は、中小企業者を対象として、業務に必要な技術や知識を習得するために行われる研修制度を利用した場合、若しくは、資格取得のための学習・受験に必要な各種研修制度を利用した場合に、その経費の一部を補助する制度です。



- ◆千葉市内に事業所がある中小企業者が対象です。
- ◆企業1社あたりの上限額については、研修計画を策定する場合は10万円、策定しない場合は5万円となります。 (申請回数に上限はありません。)
- ◆令和8年度の制度内容や詳しい申請要件・方法、必要な申請書類等は、千葉市ホームページをご覧いただくか、千葉市へお問い合わせください。

千葉市 人材育成補助金 検索



お問い合わせ先 千葉市 経済農政局 経済部 雇用推進課 TEL 043-245-5278

ポリテクセンター千葉 就職のための公共職業訓練

人材が
ここにいます

人材募集をお考えなら

採用のご予定がありましたら、ポリテクセンター千葉の訓練受講者をぜひご検討ください。ポリテクセンター千葉では、求職中の方を対象に、基礎的な技能を身につける半年間の職業訓練を実施しています。

年間約**600人**
以上受講

幅広い
経験、年齢

未経験職種へ
転職を目指し受講中

「人材六方」で気になる人材に指名求人

修了者の半数が当センターに頂く求人で就職しています

訓練受講者の自己PRを冊子にした人材情報誌「人材六方」を
ポリテクセンター千葉ホームページに掲載しています。

1 「人材六方」で貴社のニーズにあった
人材をチェック

2 チェック人材を指名
以下2点と一緒にポリテクセンター千葉
あてファックスしてください。
●FAX送信票
●求人申込票(ハローワークの求人票写しでも可)
FAX 043-422-4821

3 応募の有無を受講者に確認
応募の意思がある場合のみ、就職相談
室からご担当者様にご連絡します。

4 応募者が、応募書類を貴社のご担当者
様宛にご提出します。

5 選考の実施
応募者に直接連絡をしてください。

6 採否通知
採否の結果を本人に通知してください。



ポリテクセンター千葉 事業主の方へ

検索



★受講者に広く公開する求人票(公開求人)も隨時受け付けています。

ポリテクセンター千葉 就職のための公共職業訓練

企業
実習

溶接技術科



3種類の溶接と接合技術を学ぶ

CAD・NC オペレーション科



2次元・3次元CAD、機械加工を通してものづくりの流れを学ぶ

電気設備 メンテナンス科



電気設備の工事、保守管理
自動制御回路を学ぶ

電気制御 エンジニア科



制御盤配線、プログラム、保守
を企業実習を通して学ぶ

生産システム・ ネットワーク技術科



Java言語によるシステム開発と
コンピュータネットワークを学ぶ

IoTシステム技術科



DXを推進するための
デジタルスキルを学ぶ

ビル設備サービス科



ビル管理に必要な電気
空調設備、給排水設備を学ぶ

建築CAD・ サービス科



木造住宅の構造、法規、
図面作成、内装施工を学ぶ

企業実習受入れのお願い

ポリテクセンター千葉では、受講者の職場体験（企業実習）を受け入れて頂ける企業を探しています。
17日間企業の現場で受け入れて頂き、現場力の付与、不足要素の習得を目指します。

企業実習付き訓練	実習受入れ期間（17日間）	実習例
電気制御 エンジニア科 概ね55歳未満	令和7年度12月生	令和8年 5月12日～ 6月 3日
	令和8年度 6月生	令和8年11月 2日～11月26日
	令和8年度12月生	令和9年 5月12日～ 6月 3日

企業実習のメリット

- 採用予定がある企業様にとって人材発掘のチャンスとしてご活用いただけます。
- 雇用義務はありませんが、採用につながる可能性もあります。
- 面接だけではわからない技術力、人となりを実習中に見極めることができます。

企業実習について

- 受入企業様には訓練委託費（6万円（税抜）／人）をお支払します。
- 賃金や交通費のご負担はありません。
- 実習中は当センターの労災保険が適用されます。また、不慮の事故に備えて損害賠償責任保険に加入しています。

お問い合わせ先

ポリテクセンター千葉 訓練第一課
TEL 043-422-4810

Access 交通アクセス



ポリテクセンター千葉

〒263-0004 千葉市稲毛区六方町274番地

交通機関



自動車

国道16号線長沼十字路から約2km



バス

●JR稲毛駅

JR総武線「稲毛駅」東口2番乗り場から
京成バス(山王町行)乗車約25分
「ヴィルフォーレ稲毛」下車 徒歩約10分
京成バス(千葉センター行)乗車約30分

●JR西千葉駅

京成バス千葉イースト(山王町行またはみつわ台車庫行)
乗車約25分「愛生町」下車 徒歩約7分
京成バス千葉イースト(ポリテクセンター千葉行)乗車約30分

●JR四街道駅

京成バス千葉イースト(草野車庫行)乗車約15分
「ポリテクセンター千葉入口」下車 徒歩約6分 または
京成バス千葉イースト(ポリテクセンター千葉行)乗車約16分

※上記の路線バスは、いずれも道路渋滞が予想されます。

受講開始時間をご確認いただき、余裕を持ってお越しください。



千葉都市モノレール

「スポーツセンター駅」から京成バス(山王町行)乗車
「ヴィルフォーレ稲毛」下車 徒歩約10分



タクシー

●JR稲毛駅、JR西千葉駅から約20分
●JR四街道駅・千葉都市モノレール
「スポーツセンター駅」から約10分



お問い合わせ先

ポリテクセンター千葉 (千葉職業能力開発促進センター)

●訓練第二課

TEL 043-422-4622/FAX 043-304-2132

●生産性センター業務課

TEL 043-422-4631/FAX 043-422-4768

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



当機構は、持続可能な開発目標 (SDGs) を支援し、気候変動への対応などの環境的課題および社会的課題に取り組む千葉県サステナビリティボンドへ投資しています。